

船 橋 市 人 口 ビ ジ ョ ン

(素案)

平成 28 年 2 月
船 橋 市

【目次】

1	船橋市人口ビジョンの策定にあたって	1
(1)	背景	1
(2)	船橋市人口ビジョンの位置づけ	1
(3)	対象期間	1
2	船橋市の人口の現状	2
(1)	人口動向分析	2
①	総人口の推移	2
②	年齢3区分別人口の推移	3
③	総人口の推移に与えてきた社会増減の影響	4
④	総人口の推移に与えてきた自然増減の影響	5
⑤	年齢階級別・地域間の人口移動の状況	6
⑥	就業者・滞在人口等に関する分析	8
⑦	合計特殊出生率の推移	10
⑧	地区別の人口動向	13
(2)	将来人口推計	16
①	総人口の推計	17
②	年齢別人口の推計	18
③	将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響	22
④	地区別の推計	23
(3)	人口の変化が船橋の将来に与える影響	32
3	船橋市の人口の将来展望	33
(1)	市民等の意識・希望	33
①	居住に関する意識・希望	33
②	結婚・出産・子育てに関する意識・希望	36
(2)	目指すべき将来の方向	39
(3)	人口の将来展望	40
①	総人口の将来展望	41
②	年齢区分別人口の将来展望	42
4	参考資料（将来人口推計結果）	48

1 船橋市人口ビジョンの策定にあたって

(1) 背景

日本は、2008(平成 20)年に人口減少が始まった。現在の人口減少数は毎年 20 万人程度であるが、2020 年代初めには毎年 60 万人程度、2040 年代頃には毎年 100 万人程度になると推計されている¹。人口減少による消費・経済力の低下は、日本の経済社会に対して大きな重荷となっていくと言われている。

このような中、人口減少克服と地方創生を併せて行うことにより、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目指し、国は「まち・ひと・しごと創生法」(平成 26 年法律第 136 号。)を制定した。さらに平成 26 年 12 月 27 日に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定し、「東京一極集中」の是正、若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現、地域の特性に即した地域課題の解決に取り組むことにより、2060(平成 72)年に 1 億人程度の人口を確保する中長期展望を掲げた。

そして都道府県及び市町村に対しては、その趣旨を理解のうえ、地域の実情に沿った地域性のある「地方人口ビジョン」及び「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」を 2015(平成 27)年度中に策定することを求めている²。

(2) 船橋市人口ビジョンの位置づけ

「船橋市人口ビジョン」(以下「人口ビジョン」という。)は、国の趣旨を理解し、「地方人口ビジョン」として策定するものであり、本市の人口の現状と将来の姿を示し、今後目指すべき将来の方向を提示することを目的としている。

また、人口ビジョンは「船橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策を企画立案するにあたり重要な基礎として位置づけられるものである。

(3) 対象期間

人口ビジョンの対象期間は、2015(平成 27)年から 2060(平成 72)年までとする。

¹ 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来人口推計(平成 24 年 1 月推計)(出生中位(死亡中位))」。

² 平成 26 年 12 月 27 日付内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局長代理通知閣副第 979 号。

2 船橋市の人口の現状

(1) 人口動向分析

① 総人口の推移

全国では人口減少局面に入ったが、本市は人口増加が続き、2015(平成 27)年に 62 万人を超えた。

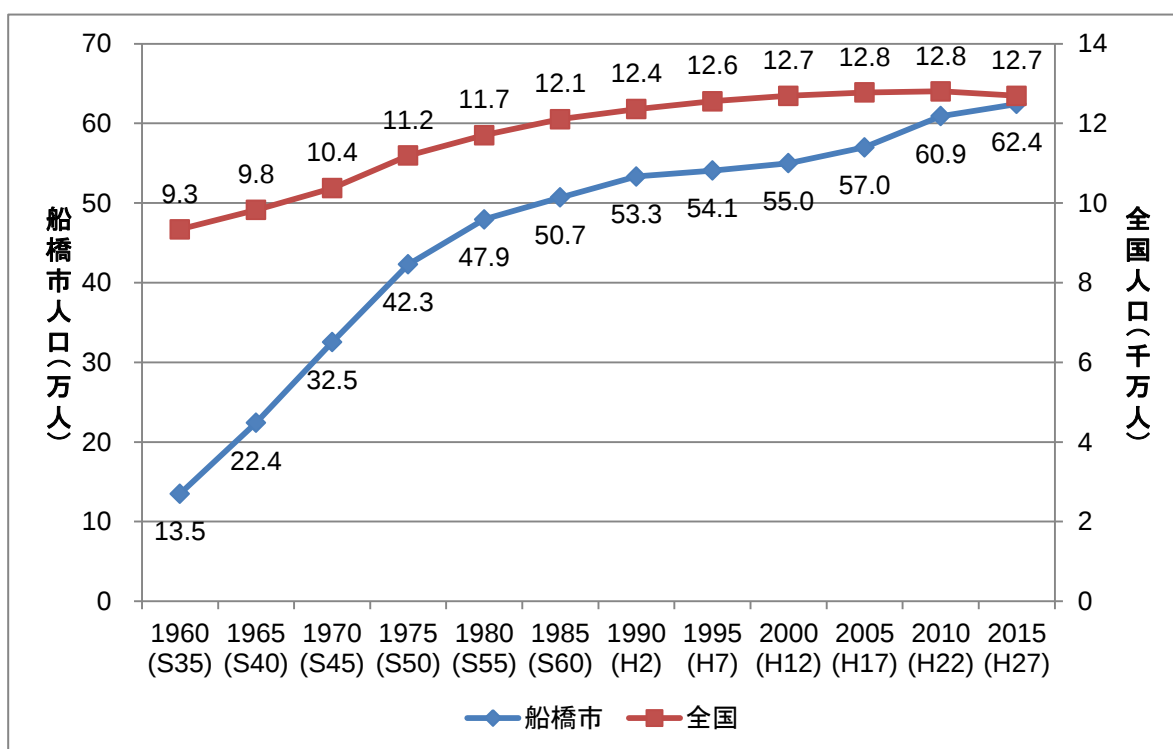
本市が市制施行した 1937(昭和 12)年当時、42,981 人だった人口は、東京に近い立地と交通利便性の高さを背景に増加を続け、2015(平成 27)年に 62 万人を超えた(図表 1)。

特に、1960 年代から 1970 年代前半の高度成長期に、団地や宅地が相次いで造成され、本市の人口は、全国の増加ペースを上回って急増した。

全国の人口は 2008(平成 20)年をピークに減少局面に入り、人口が減少している市区町村が 7 割以上となっている³。そのような中、本市は現在もなお緩やかな人口増加が続いている。

本市の人口は、2015(平成 27)年現在、全市町村の 21 番目、県内では千葉市に次ぎ 2 番目、全中核市の中では最も多い。

図表 1 総人口の推移



出所：国勢調査（2015(平成 27)年のみ、全国人口は総務省統計局「人口推計」（平成 27 年 4 月確定値）、船橋市人口は 4 月 1 日時点の住民基本台帳人口による）

³ 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（平成 27 年 1 月 1 日現在）」

② 年齢3区分別人口の推移

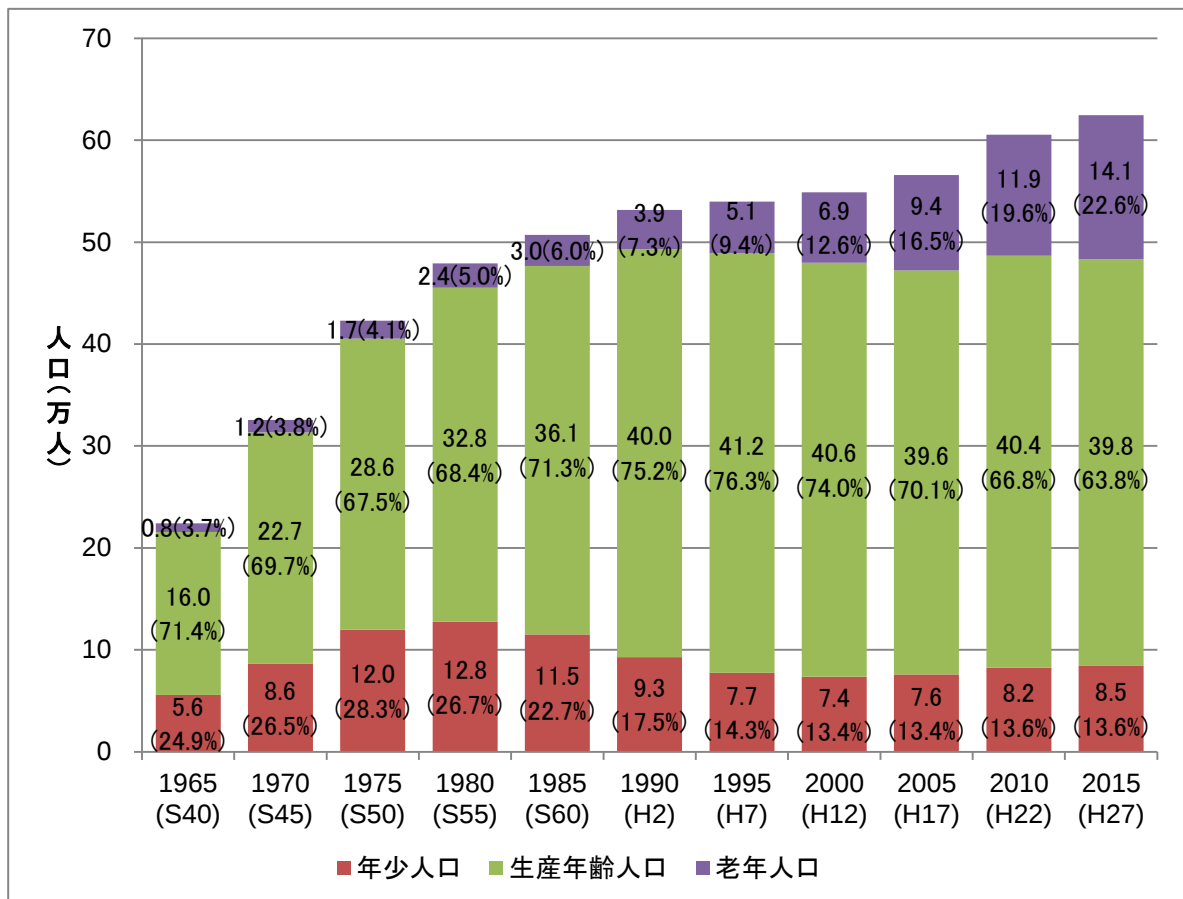
年少人口及び生産年齢人口は、微増または横ばい状態だが、老年人口は年々増加しており、高齢化が進行している。

年齢階層別の人口推移を見ると、生産年齢人口（15～64歳の人口）は、1960年代～1990年代半ばにかけて増加したが、その後は現在まで、40万人前後でほぼ横ばいに推移している（図表2）。

年少人口（15歳未満の人口）は、1960年代から1970年代にかけて増加したが、1980（昭和55）年の12.8万人をピークに、その後は2000（平成12）年の7.4万人まで減少した。2000（平成12）年以降は、再び緩やかに増加し、2015（平成27）年は8.5万人となっている。

老年人口（65歳以上の人口）は年々増加しており、1995（平成7）年まで10%に満たなかった高齢化率は、2015（平成27）年には22.6%となっている。なお、全国の高齢化率は26.0%（2014（平成26）年10月1日時点）⁴と本市を上回っている。

図表2 年齢3区分別人口の推移



出所：国勢調査（2015（平成27）年のみ4月1日時点の住民基本台帳人口）

※ カッコ内は各年齢区分の総人口（年齢不詳を除く）に占める構成比。

⁴ 内閣府「平成27年版高齢社会白書」。

③ 総人口の推移に与えてきた社会増減⁵の影響

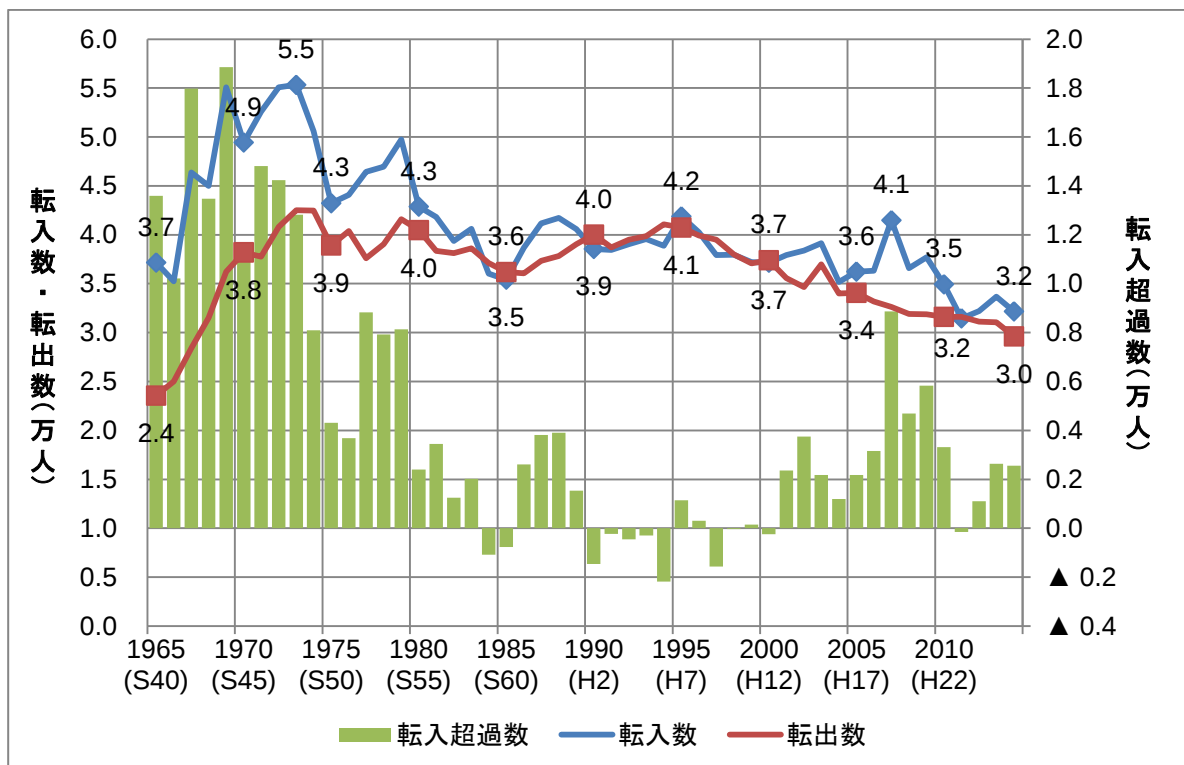
全国の市町村の 7 割以上が転出超過である中、本市は近年転入超過が続いている。

本市では、1960 年代から 1970 年代前半の高度成長期に、団地や宅地が相次いで造成され、転入超過数が 1 万人を超える年が続いた(図表 3)。1980 年代に入ると転入数が落ち着きを見せ始めた一方、転出数が 1980 年代後半より都心回帰を背景に増加し、1990 年代は転出超過となる年が多くなった。2001(平成 13)年以降は、東日本大震災が起きた 2011(平成 23)年を除き、再び転入超過となる年が続いている。特に 2005(平成 17)年から 2010(平成 22)年にかけては、住宅の大規模開発が多くあった影響で、転入数が増え、大幅な転入超過となった。

全国の市町村のうち 7 割以上が転出超過である中⁶、本市の転入超過数は、2013(平成 25)年は全国 11 位、2014(平成 26)年は同 17 位となっている。

なお転入数・転出数とも、1990 年代後半以降、年によってバラつきはありつつも、減少傾向にあり、人口移動が鈍化してきていることが伺える。

図表 3 転入数・転出数・転入超過数の推移



出所：船橋市統計書

⁵ 転入数と転出数の差により生じる人口増減。転入数が転出数を上回る場合は社会増加（転入超過）、転出数が転入数を上回る場合は社会減少（転出超過）という。

⁶ 総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」（2015 年 2 月）。

④ 総人口の推移に与えてきた自然増減⁷の影響

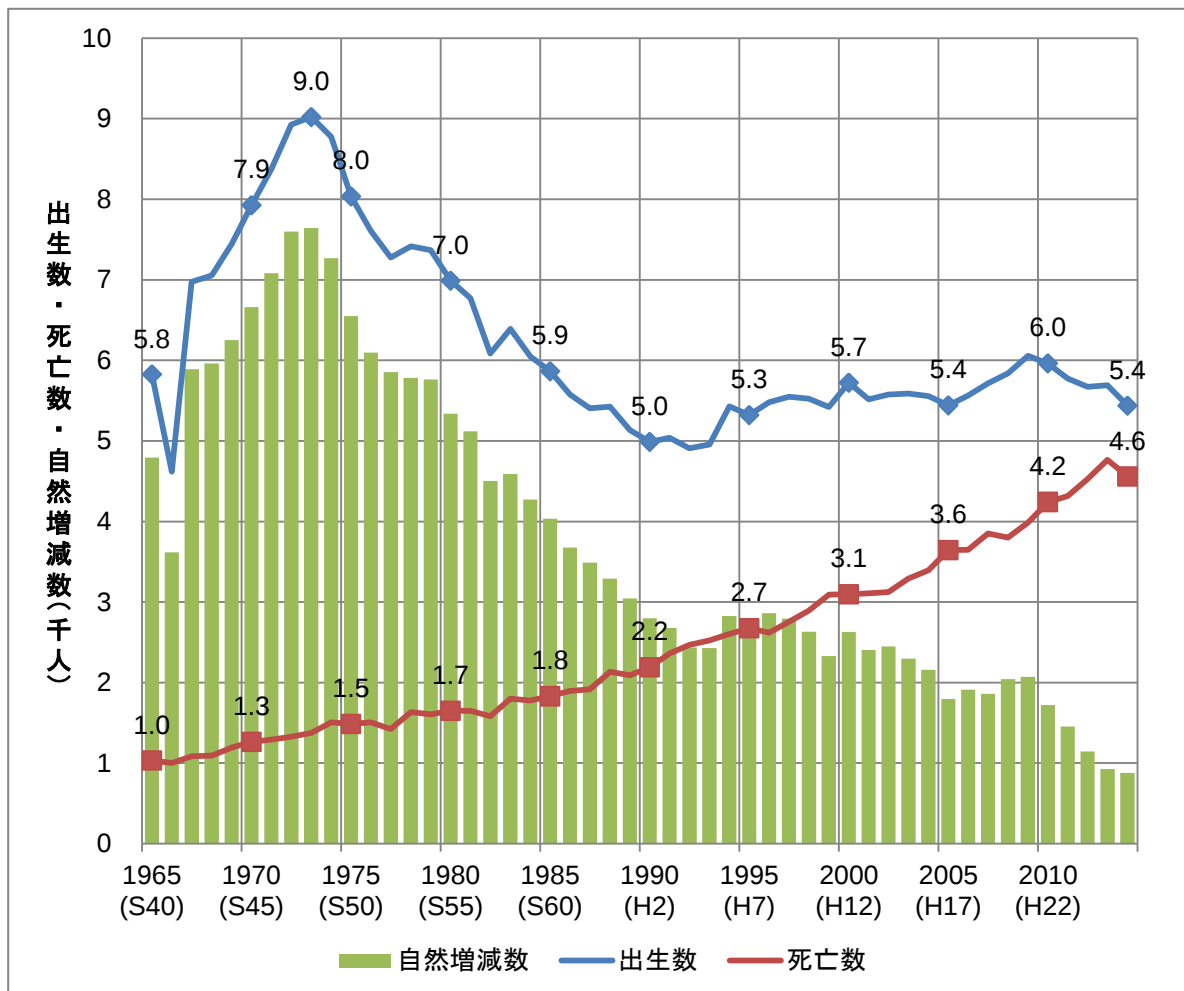
自然増加が続いているが、死亡数が出生数に迫りつつある。

1965(昭和40)年以降、一貫して出生数が死亡数を上回っており、自然増加の状態が続いている(図表4)。特に、1970年代前半の第2次ベビーブーム時には、毎年7千人前後の自然増加があった。

出生数は、1973(昭和48)年の9.0千人をピークに、1990年代半ばまで減少し、以降は5千人から6千人程度で推移している。

一方、死亡数は年々増加傾向にあり、出生数に迫りつつある。このため、自然増加数は減少傾向にあり、2013(平成25)年には1千人を下回った。高齢化の進行により死亡数の増加は今後も続き、やがて死亡数が出生数を上回り、自然減少に転じることが見込まれる。

図表4 出生数・死亡数・自然増減数の推移



出所：船橋市統計書

⁷ 出生数と死亡数の差により生じる人口増減。出生数が死亡数を上回る場合は自然増加、死亡数が出生数を上回る場合は自然減少という。

⑤ 年齢階級別・地域間の人口移動の状況

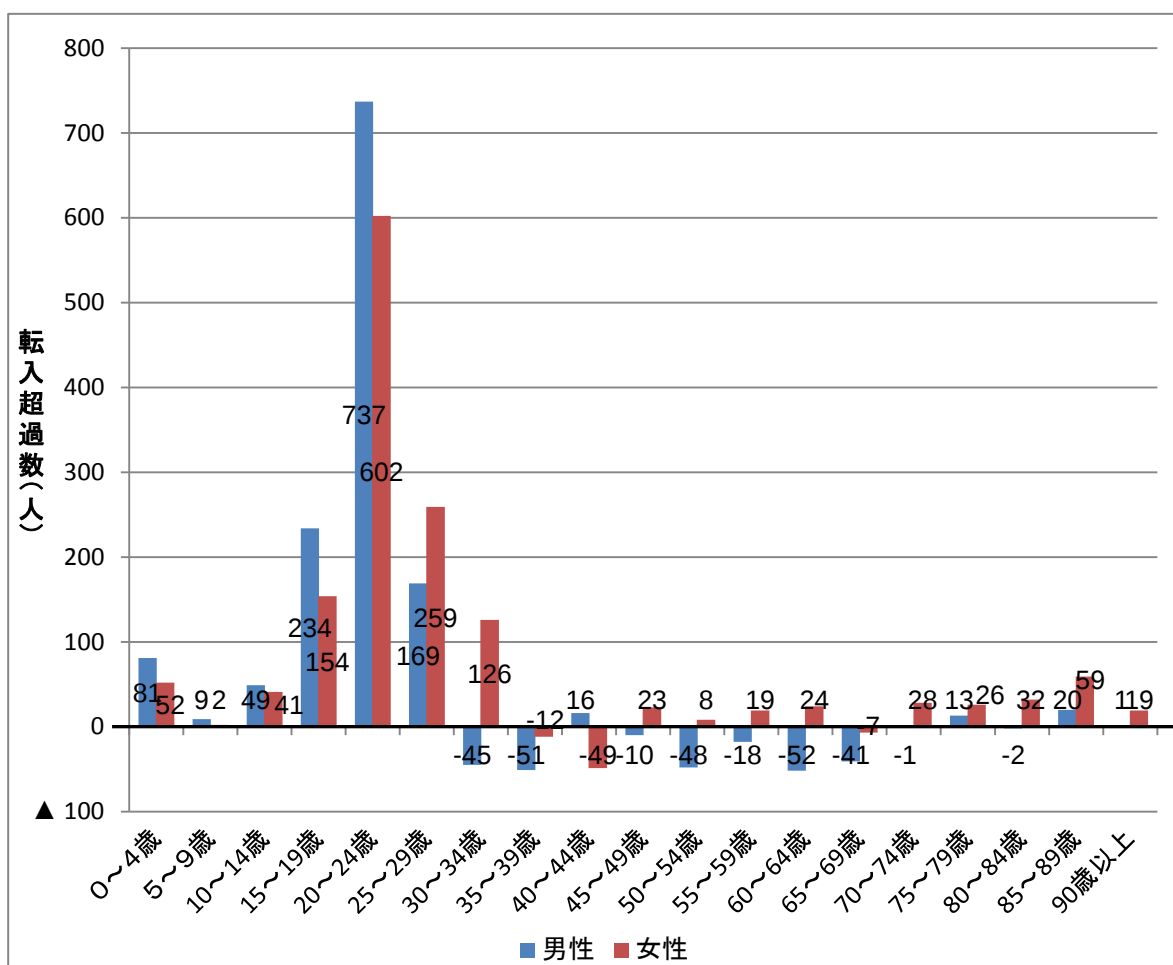
若い世代の東京圏以外・県内他市町村からの転入超過が目立つ。一方、東京都については、20歳代から40歳代で転出超過が多い。

社会増減の状況について、年齢階級別で見ると、15～29歳の若い世代の転入超過が、他の年代と比べて突出して多い(図表5)。30歳代後半以上の年代は、転入数と転出数が概ね均衡している。

さらに、地域間別の社会増減の状況を見ると、東京圏（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）以外の地方部と県内他市町村からの転入超過が多い(図表6)。一方、東京都については、20歳代から40歳代で転出超過が多い。

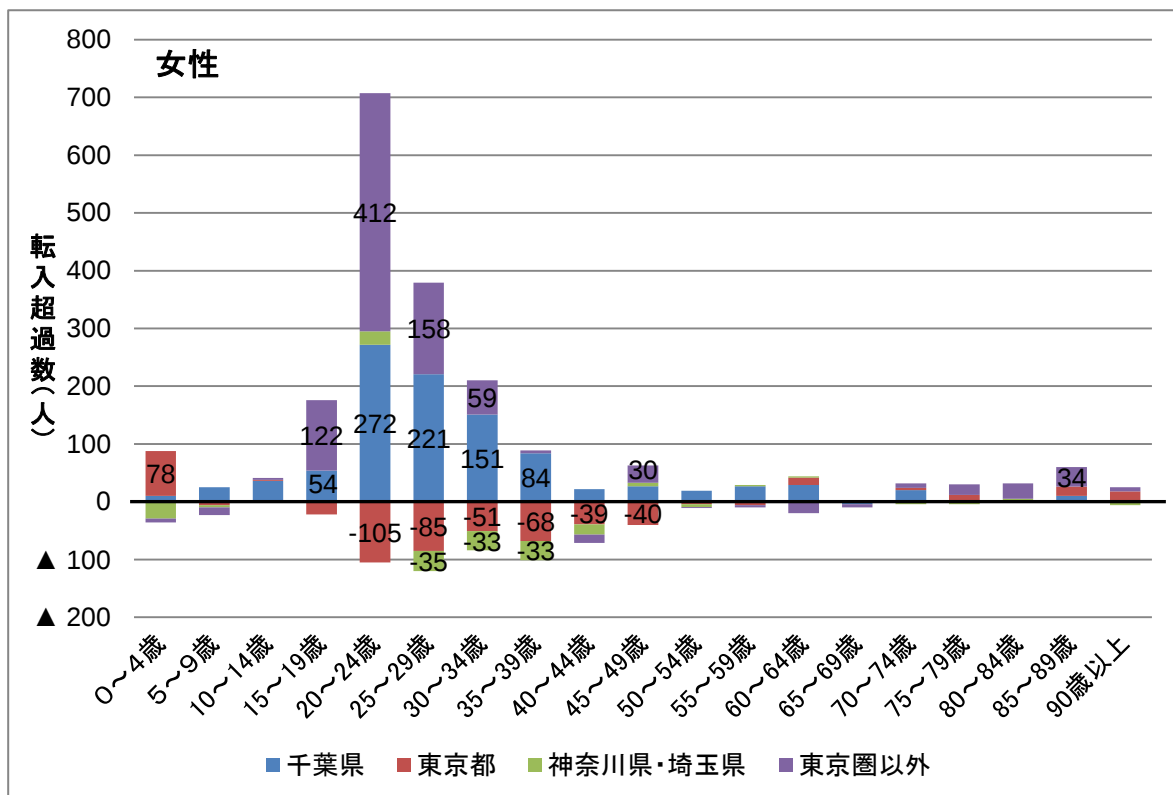
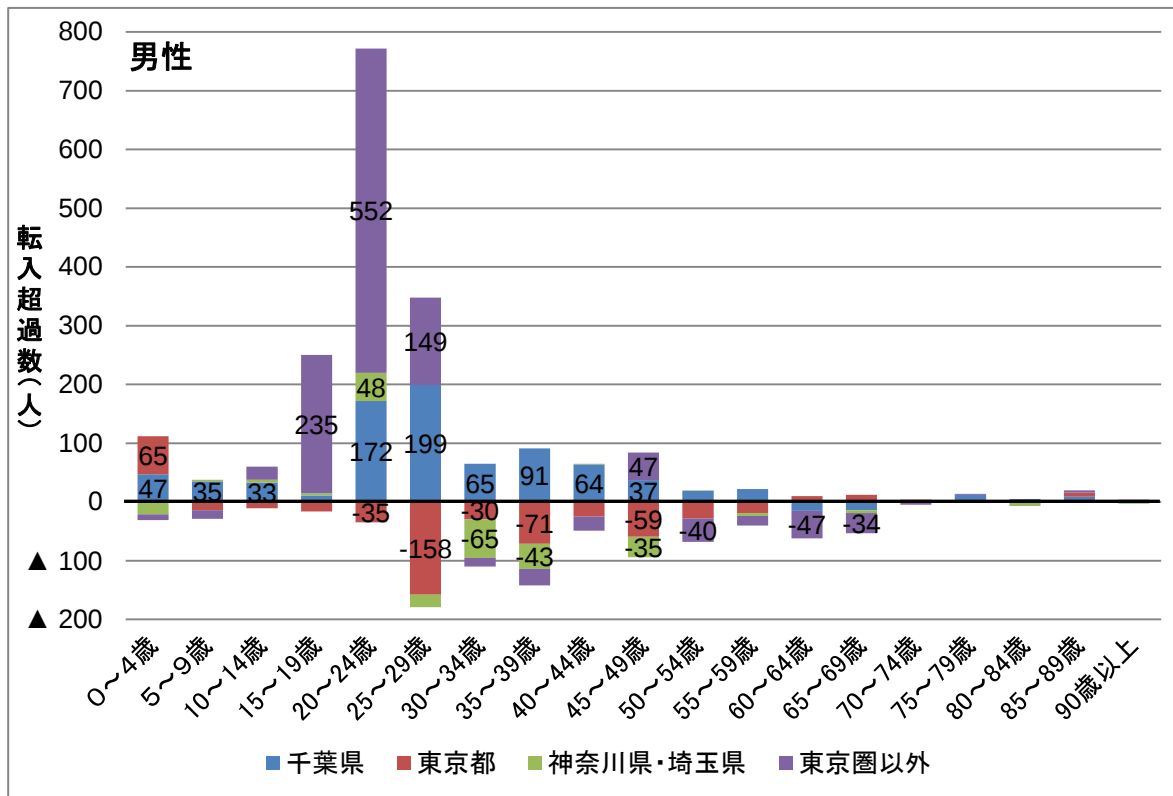
この傾向から、地方部で少子化による若い世代の人口減少が進むと、本市への転入者も減ってくることが予想される。つまり、地方部での人口減少は、本市にとっても無関係の問題ではないと言える。

図表5 年齢5歳階級別転入超過の状況（2013(平成25)年）



出所：内閣府が総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」を特別集計したデータ

図表 6 年齢5歳階級別・地域間別転入超過の状況（2013(平成25)年）



出所：内閣府が総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」を特別集計したデータ

⑥ 就業者・滞在人口等に関する分析

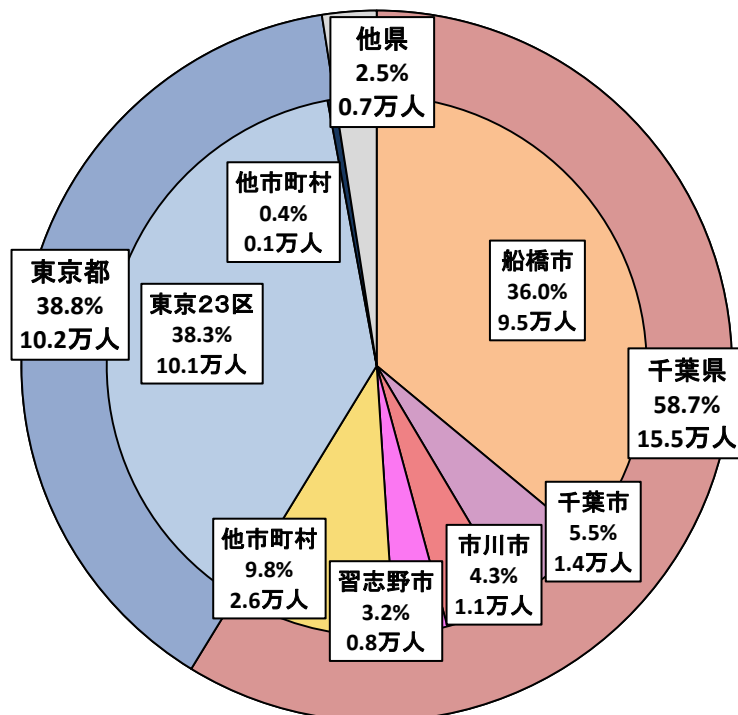
東京都で働いている人が最も多く、東京のベッドタウンとなっている。

本市在住の就業者の就業地を見ると、市内に就業している者は36.0%であり、市外に働きに出ている人の方が多い(図表7)。特に、東京23区で就業している者は38.3%と、市内就業者よりも多く、東京のベッドタウンとなっていることが伺える。

また流入人口⁸・流出人口⁹を見ると、一貫して流出人口が流入人口を上回っており、2010(平成22)年の常住人口に対する昼間人口¹⁰の割合は84.2%となっている(図表8)。1995(平成7)年までは生産年齢人口の増加に伴い、流入人口・流出人口とも増加を続けたが、その後はどちらも減少傾向にある。一方、常住人口に対する昼間人口の割合は、老年人口の増加に伴い、上昇傾向にある。

さらに本市の時間帯別の滞在人口を見ると、市外に働きに出る人が多いため、平日は日中の滞在人口が常住人口を大きく下回っている(図表9)。休日は日中の滞在人口が常住人口を若干下回っているが、夜間は若干上回っている。

図表7 船橋市民(就業者)の就業地(2010(平成22)年)



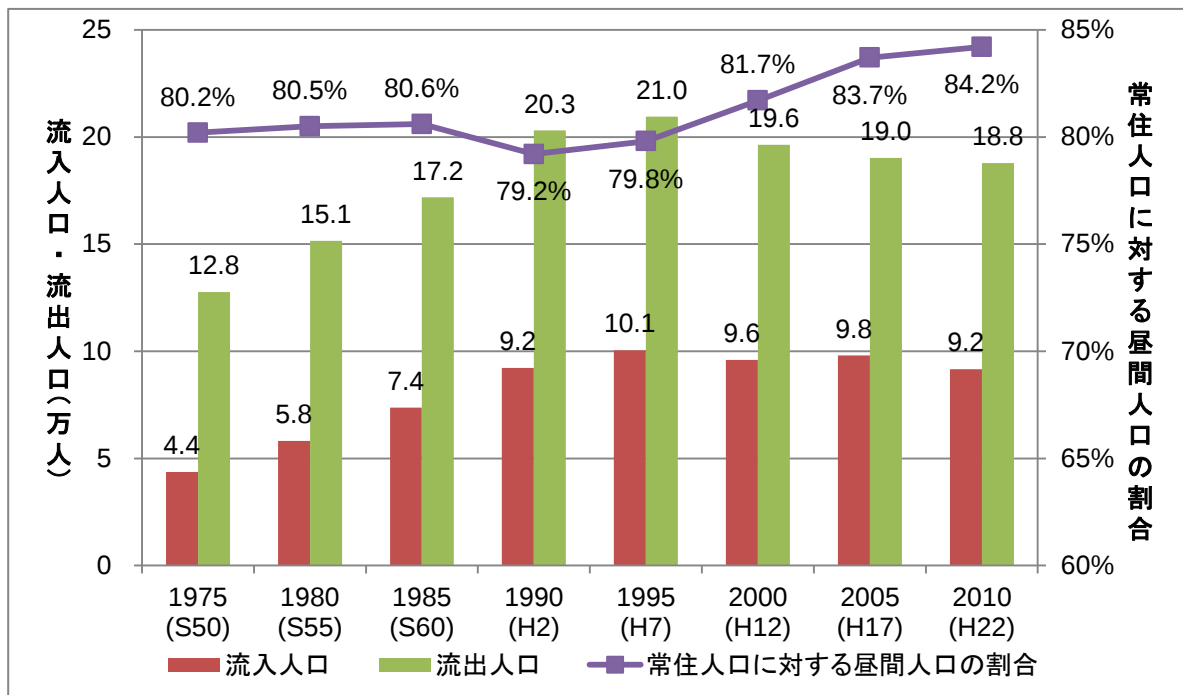
出所：国勢調査（就業地不詳は除く。）

⁸ 市外在住者で本市に就業・通学している人の数。

⁹ 市内在住者で市外に就業・通学している人の数。

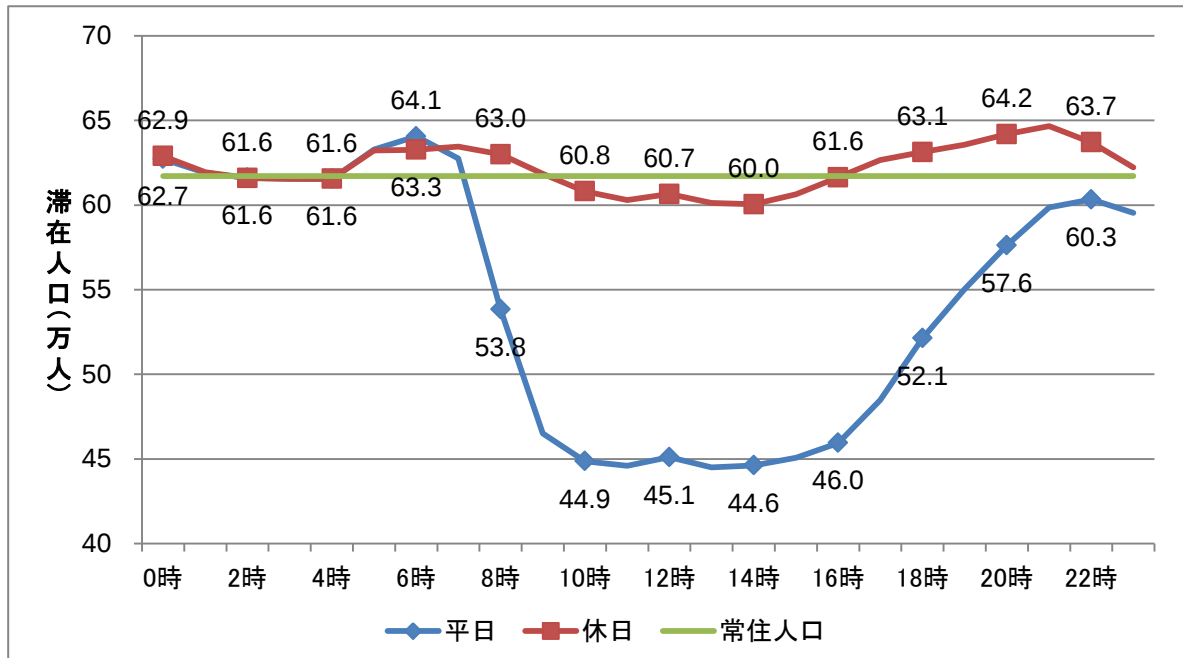
¹⁰ 昼間人口＝常住人口＋流入人口－流出人口

図表 8 流入人口・流出人口・常住人口に対する昼間人口の割合の推移



出所：船橋市統計書

図表 9 船橋市の滞在人口の時間別推移（2014（平成 26）年）



出所：地域経済分析システム（RESAS）¹¹

※ 滞在人口は、各時点における滞在時間が2時間以上の人口。

※ 常住人口は、2014(平成 26)年 4 月時点の人口（61.7 万人）。

¹¹ 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部が、地方自治体による様々な取り組みを情報面・データ面から支援するために提供するシステム。

⑦ 合計特殊出生率¹²の推移

合計特殊出生率は回復傾向にあるが、全国平均には及んでいない。また晩産化・未婚化が進んでいる。

1995(平成 7)年に 1.30 だった本市の合計特殊出生率は、2004(平成 16)年に 1.18 まで落ち込んだ。その後は回復傾向にあり、2013(平成 25)年は 1.39 まで上昇している(図表 10)。

全国平均の 1.43 には届いていないものの、千葉県平均の 1.33 を上回っており、県内の市町村では 9 番目に高い。近隣市と比べても、千葉市(1.35)、市川市(1.32)、松戸市(1.35)、習志野市(1.36)、柏市(1.31)、鎌ヶ谷市(1.33)、浦安市(1.11)を上回っている¹³。しかしながら、現在の日本の人口置換水準¹⁴である 2.07 には遠く及んでいない。

さらに近年の合計特殊出生率の回復について、母の年齢階級別出生率¹⁵で見ると、30 歳代の出生率上昇の寄与が大きいことが伺える(図表 11)。一方で、20 歳代は下降傾向にある。晩産化は全国的に進んでいる傾向であるが、2013(平成 25)年の本市と全国平均¹⁶の値を比較すると、30～34 歳は本市 0.52・全国 0.50、35～39 歳は本市 0.30・全国 0.27 と、本市が全国平均を上回っている。一方、20～24 歳は本市 0.11・全国 0.16、25～29 歳は本市 0.39・全国 0.43 と、本市が全国平均を下回っている。

一方、未婚率は近年 25～29 歳と 30～34 歳で回復の兆しが見られるが、1980～1990 年代と比べると、いずれの年代も高い水準となっている(図表 12)。

¹² 15 歳から 49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので(本市の値は 5 歳階級で算出し、5 倍したもの)、一人の女性が一生の間に生む子供の数を示す指標。

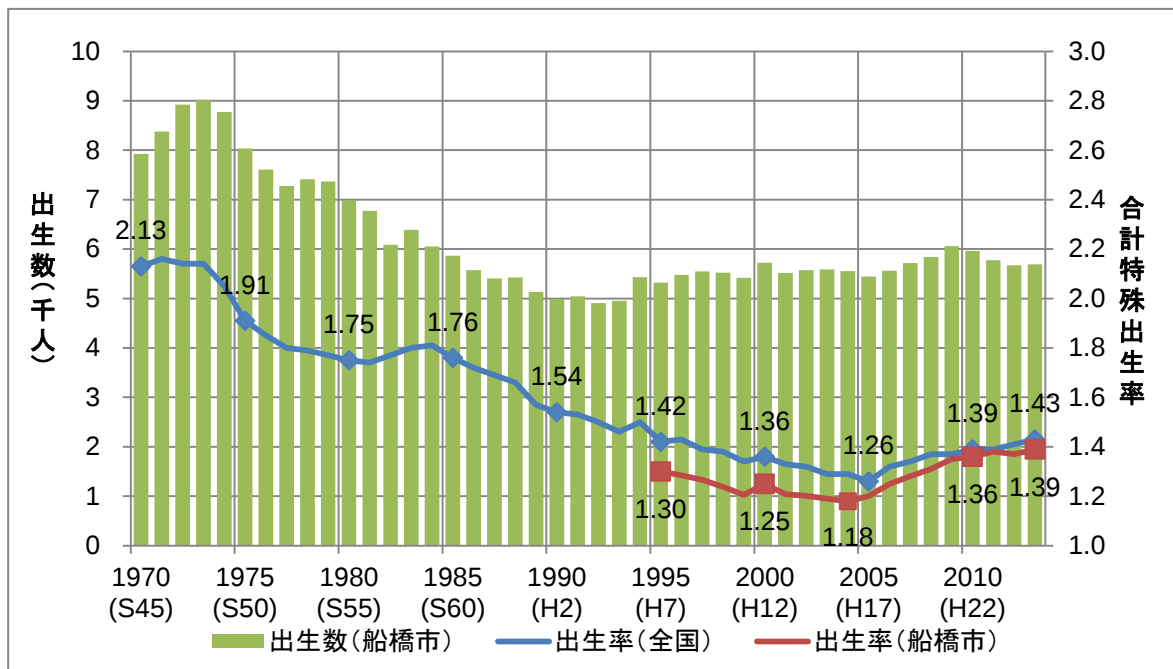
¹³ 千葉県「平成 25 年市町村別合計特殊出生率」。

¹⁴ 人口規模が長期的に維持される合計特殊出生率の水準。

¹⁵ 母の各歳別出生率を足し上げたもの(本市の値は 5 歳階級で算出し、5 倍したもの)。

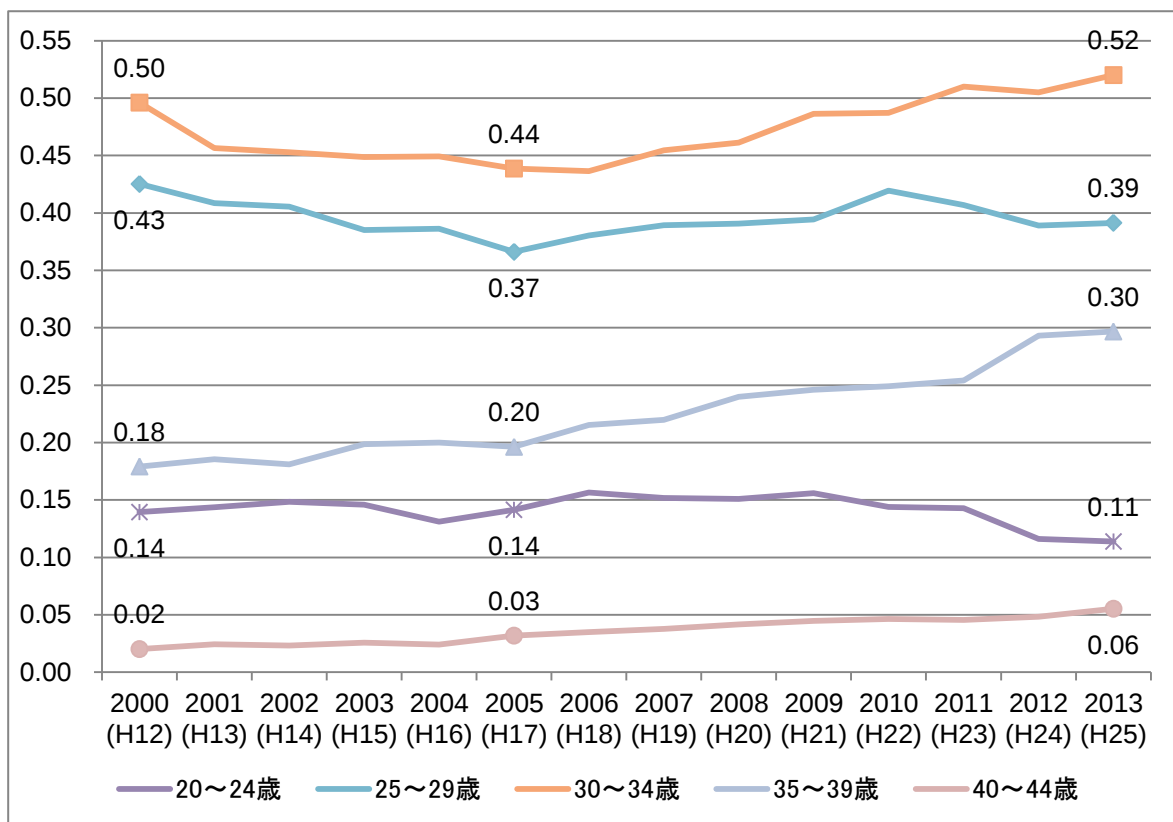
¹⁶ 厚生労働省「平成 25 年我が国の人口動態」。

図表 10 合計特殊出生率の推移



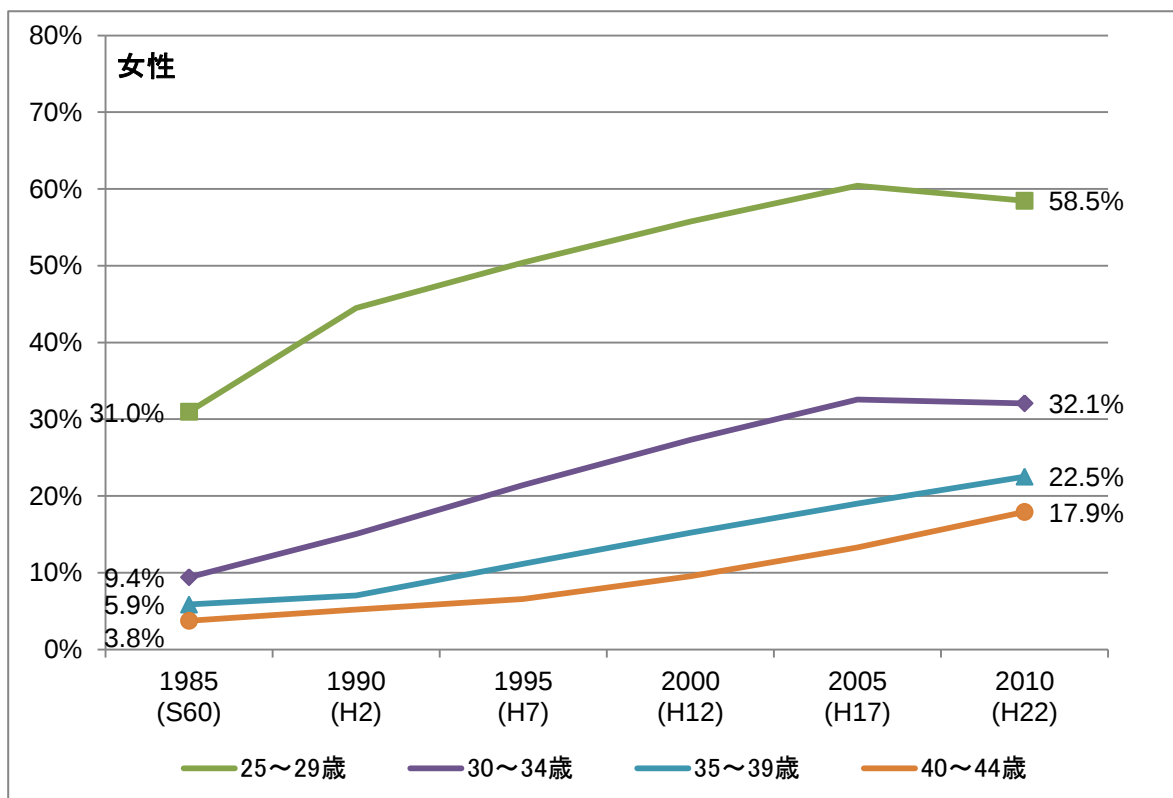
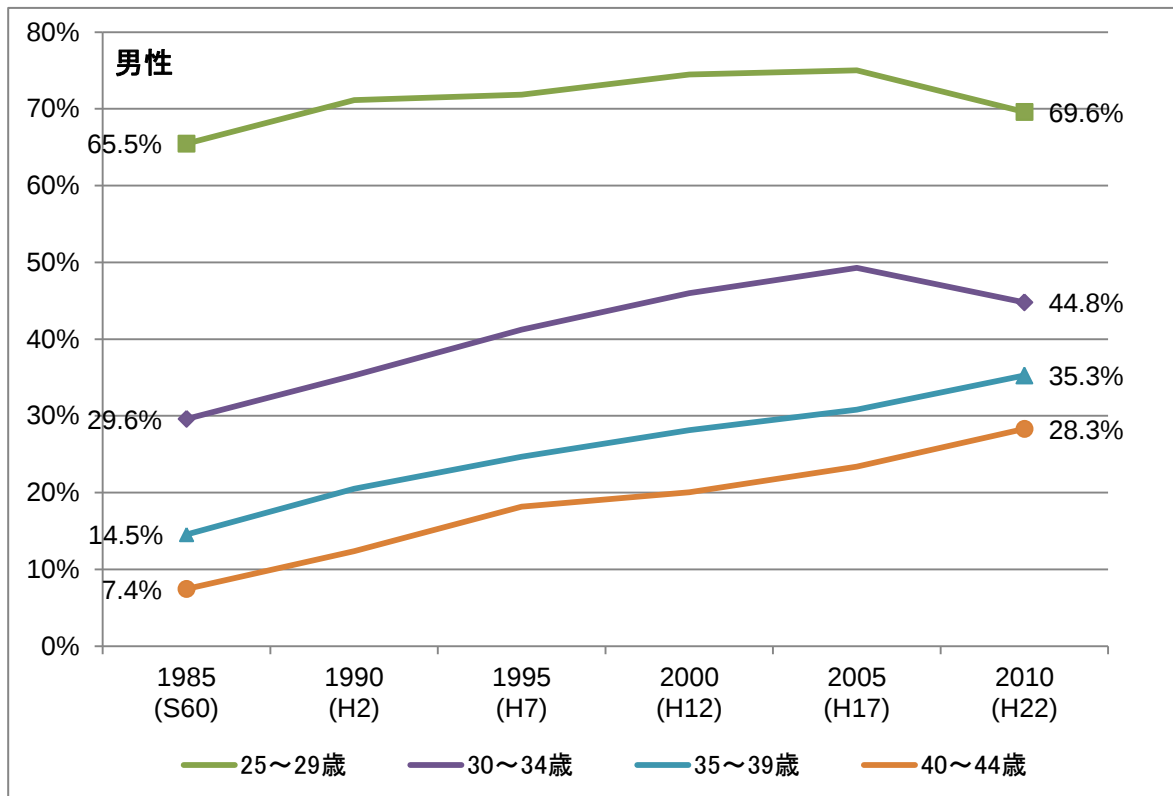
出所：船橋市統計書

図表 11 母の年齢階級別出生率の推移



出所：千葉県「衛生統計年報」及び総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」（母の年齢階級別出生数及び女性の年齢階級別人口により作成）

図表 12 男女別年齢階級別未婚率の推移



出所：船橋市統計書（年齢階級別人口及び未婚者数より作成）

⑧ 地区別の人口動向

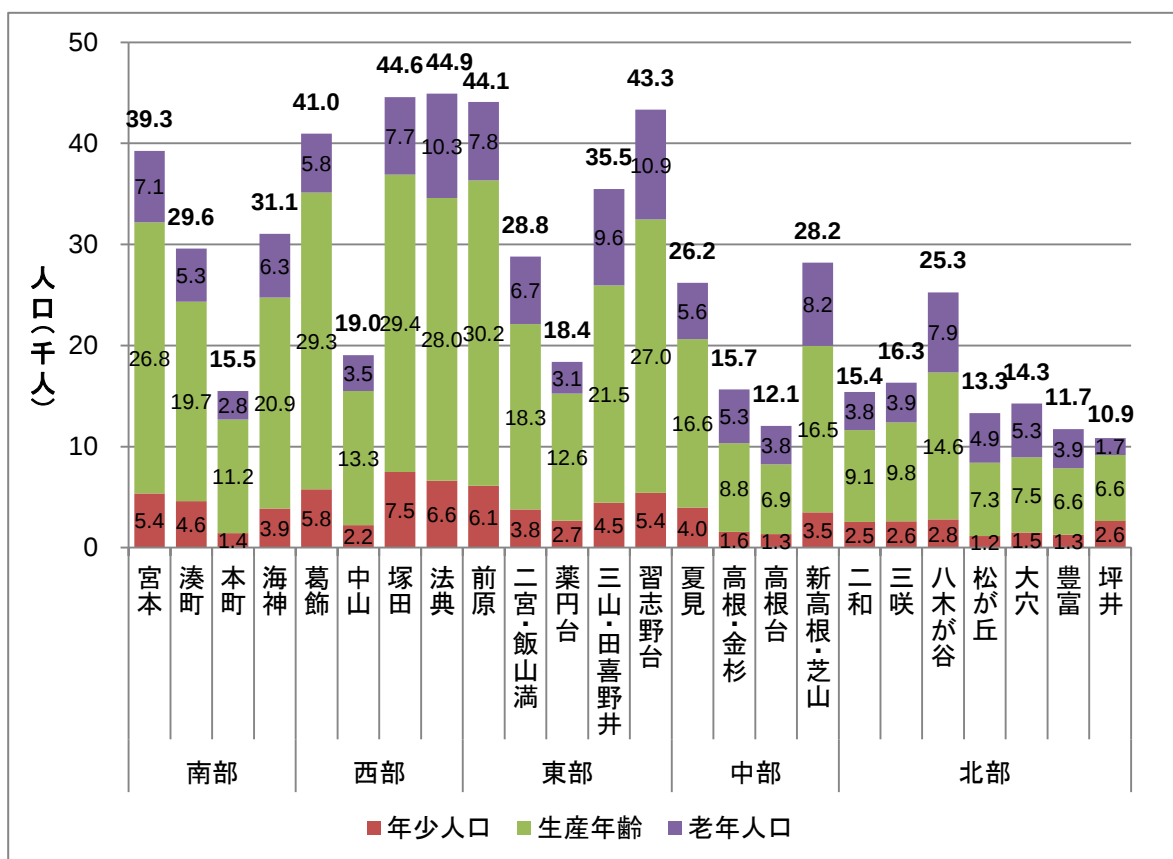
人口が増加し若い世代が多い南部・西部地域と、人口が減少し高齢化が進む北部・東部・中部地域で、二極化が進んでいる。

市全体では緩やかな人口増加が続いているが、地区別では、人口動向の傾向は異なっている(図表 13～17)。

2010(平成 22)年から 2015(平成 27)年にかけての人口増減数を地区別に見ると、開発が盛んな J R 総武線沿線の南部・西部地域では、人口が増加している地区が目立つのに対し、北部・東部・中部地域では、減少している地区が目立つ。

2015(平成 27)年 4 月時点の高齢化率は市平均では 22.6%であるが、地区別に見ると、人口が減少している地区が多い北部・東部・中部地域では、高齢化率が市平均を超える地区が多い。これに対し、人口が増加傾向にある南部・西部地域では市平均以下の地区が多い。

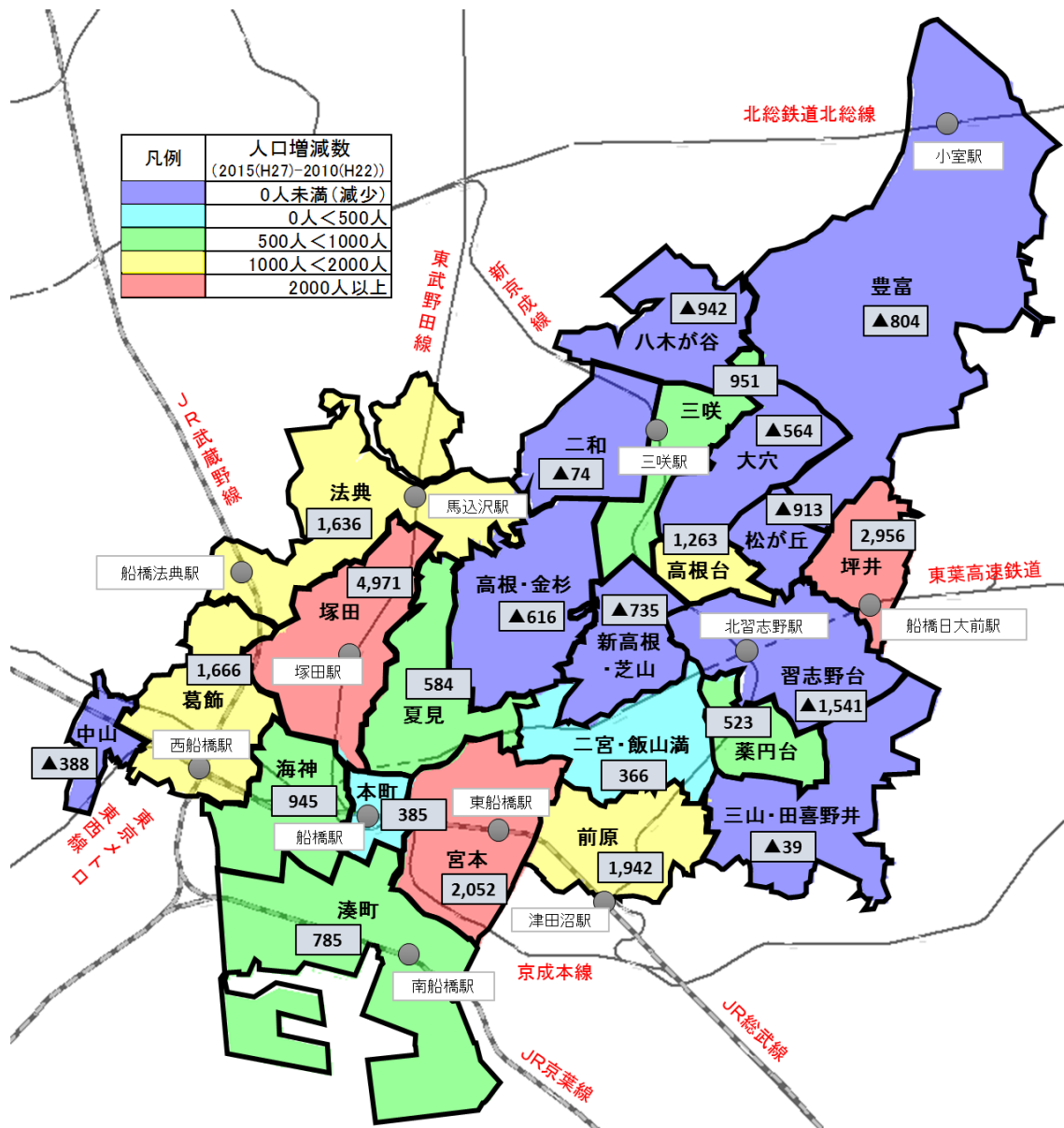
図表 13 24 地区コミュニティ別の年齢 3 区分別人口 (2015(平成 27)年)



出所：住民基本台帳 (2015(平成 27)年 4 月 1 日時点)

※ グラフ上部の数字は、当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

図表 14 24 地区コミュニティ別の人口増減数（2010（平成 22）年⇒2015（平成 27）年）

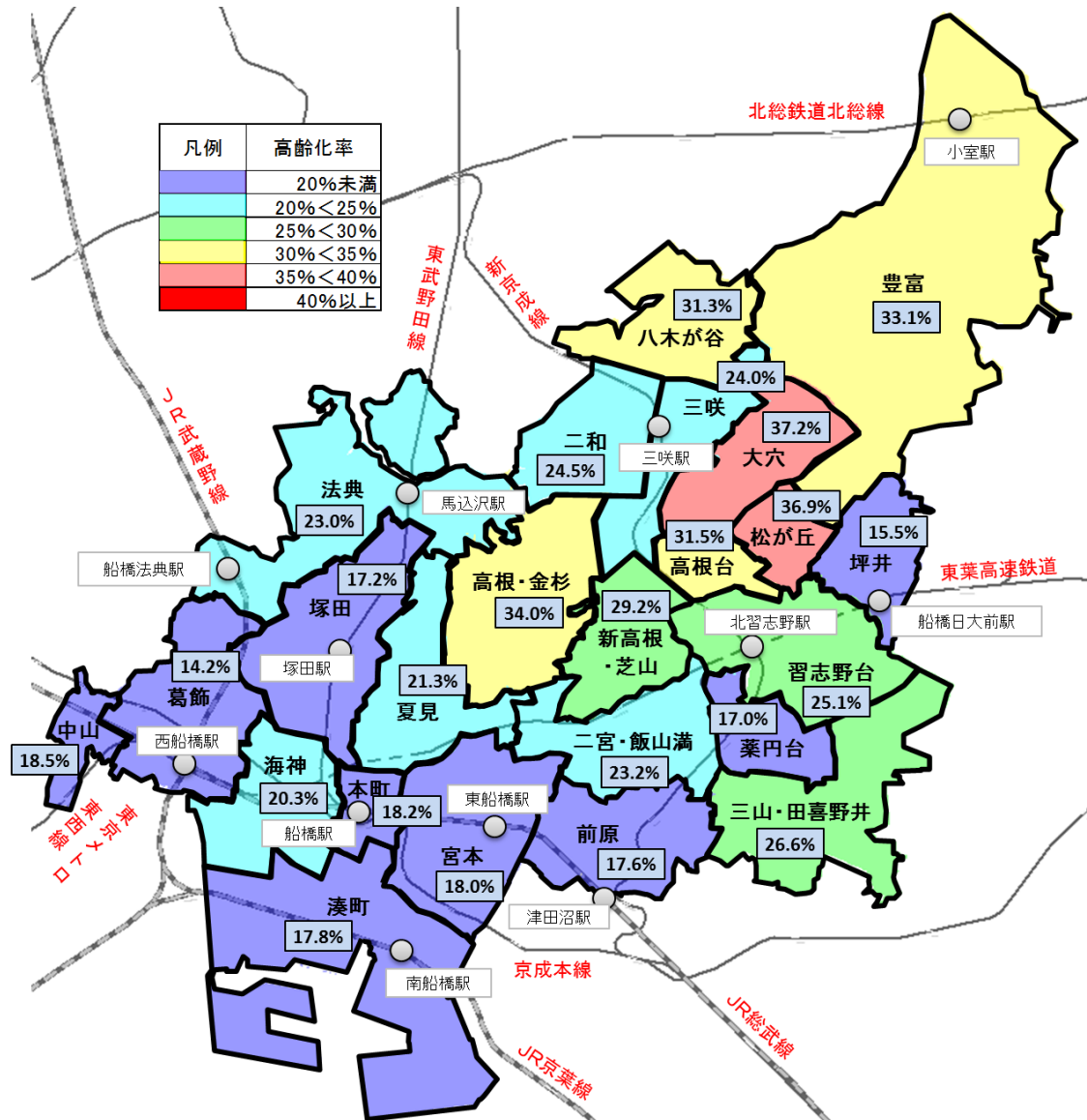


出所：住民基本台帳（2015（平成 27）年 4 月 1 日時点と 2010（平成 22）年 4 月 1 日時点と比較した人口増減数により作成）

図表 15 人口増減数上位・下位の地区コミュニティ（2010（平成 22）年⇒2015（平成 27）年）

順位	上位		下位	
	地区	増減数	地区	増減数
1	塚田	4,971	習志野台	▲ 1,541
2	坪井	2,956	八木が谷	▲ 942
3	宮本	2,052	松が丘	▲ 913
4	前原	1,942	豊富	▲ 804
5	葛飾	1,666	新高根・芝山	▲ 735

図表 16 24 地区コミュニティ別の高齢化率（2015（平成 27）年）



出所：住民基本台帳（2015（平成 27）年 4 月 1 日時点）

図表 17 高齢化率上位・下位の地区コミュニティ（2015（平成 27）年）

順位	上位		下位	
	地区	高齢化率	地区	高齢化率
1	大穴	37.2%	葛飾	14.2%
2	松が丘	36.9%	坪井	15.5%
3	高根・金杉	34.0%	薬円台	17.0%
4	豊富	33.1%	塚田	17.2%
5	高根台	31.5%	前原	17.6%

(2) 将来人口推計

ここまでの人口動向分析を踏まえ、人口ビジョンの対象期間である 2060(平成 72)年までの将来人口推計をコーホート要因法¹⁷により行う。

2015(平成 27)年 4 月時点の住民基本台帳人口を基準として、将来の人口移動率と合計特殊出生率を、以下のとおり仮定し、推計を行った。

なお、人口推計は年を経るにつれ、基準人口や仮定値が実績値とかい離が生じ、誤差が大きくなる可能性があることから、人口ビジョン策定後も定期的に、見直しを図っていくこととする。

○人口移動率の仮定

全国ではすでに人口減少が始まっており、地方部ではそれが顕著となってきた。本市は、特に若い世代の地方部からの転入超過が多いことから、地方部で若い世代が減少すると、それに伴い本市への転入者も減ることが予想される。そして、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、今後全ての都道府県において、年少人口及び生産年齢人口が減少していくと見込まれている¹⁸。

このことから、人口移動率については、2010(平成 22)年から 2015(平成 27)年までの直近 5 か年の平均純移動率¹⁹を基準とし、地方部で今後見込まれる人口減少を勘案し、この移動率が 2040(平成 52)年までに 20%程度収束していくとした。

なお、2005(平成 17)年から 2010(平成 22)年にかけては、大規模開発等により特に転入超過が多かった期間であり、直近 10 か年の平均純移動率が、将来にわたって続くとは考えづらいことから、仮定値として使用しない。

○合計特殊出生率の仮定

2013(平成 25)年実績の合計特殊出生率 1.39 が、2060(平成 72)年まで一定で続くとした。

¹⁷ 出生、死亡、移動等の人口の変動要因に基づいて、コーホート（同じ年又は同じ期間に生まれた人々の集団）毎に将来人口を投影する方法。日本のように詳細な人口統計が得られる場合には、コーホート要因法が最も信頼性が高く、公的将来人口推計の標準的な方法とされている。

¹⁸ 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 25 年 3 月推計）」。

¹⁹ 年齢別の人口に占める社会増減数（転入数－転出数）の比率。

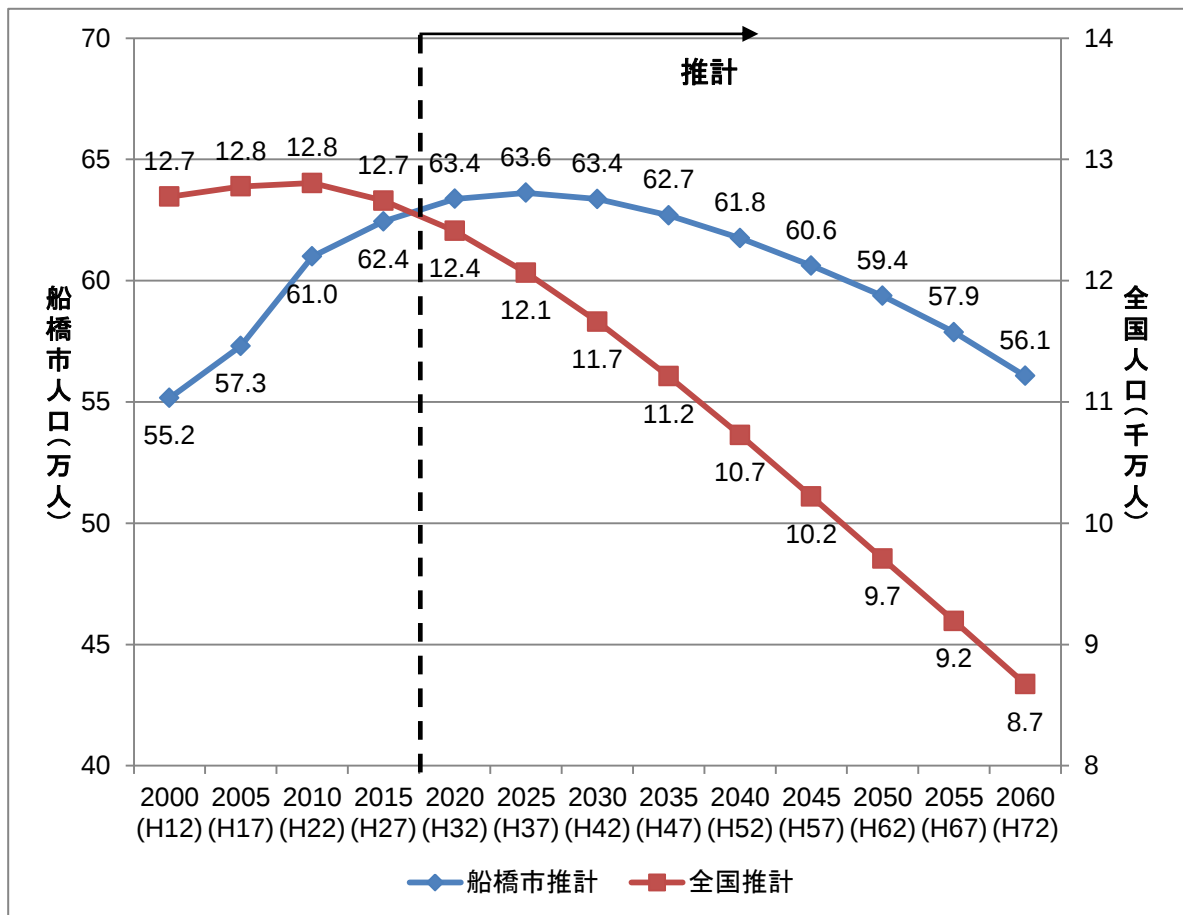
① 総人口の推計

総人口は、2025(平成 37)年まで緩やかに増加を続け、63.6 万人をピークに以降は減少し、2060(平成 72)年には 56.1 万人となる見込み。

総人口は、2025(平成 37)年まで緩やかに増加を続け、63.6 万人をピークに以降は減少し、2040(平成 52)年には 61.8 万人、2060(平成 72)年には 56.1 万人となる見込みである(図表 18)。

なお全国では、すでに人口減少局面に入っており、2030(平成 42)年以降は年約 100 万人のペースで人口が減少していく見込みである。人口減少カーブは、本市推計よりも急なものとなっている。

図表 18 総人口の将来推計



出所(全国推計)：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成 24 年 1 月推計)」(出生中位(死亡中位))

※ 2010(平成 22)年以前の人口は、国勢調査による。2015(平成 27)年は、全国人口は総務省統計局「人口推計」(平成 27 年 4 月確定値)、船橋市人口は 4 月 1 日時点の住民基本台帳人口による。

② 年齢別人口の推計

年少人口及び生産年齢人口は徐々に減少していく一方、老年人口は増加し、高齢化率は、2050(平成 62)年に 30.9%となる見込み。

年齢階層別の人口推計を見ると、生産年齢人口（15～64 歳の人口）は、2030(平成 42)年まで 40 万人前後で推移するが、その後は減少していき、2040(平成 52)年は 36.5 万人、2060(平成 72)年は 33.0 万人となる見込みである(図表 19)。

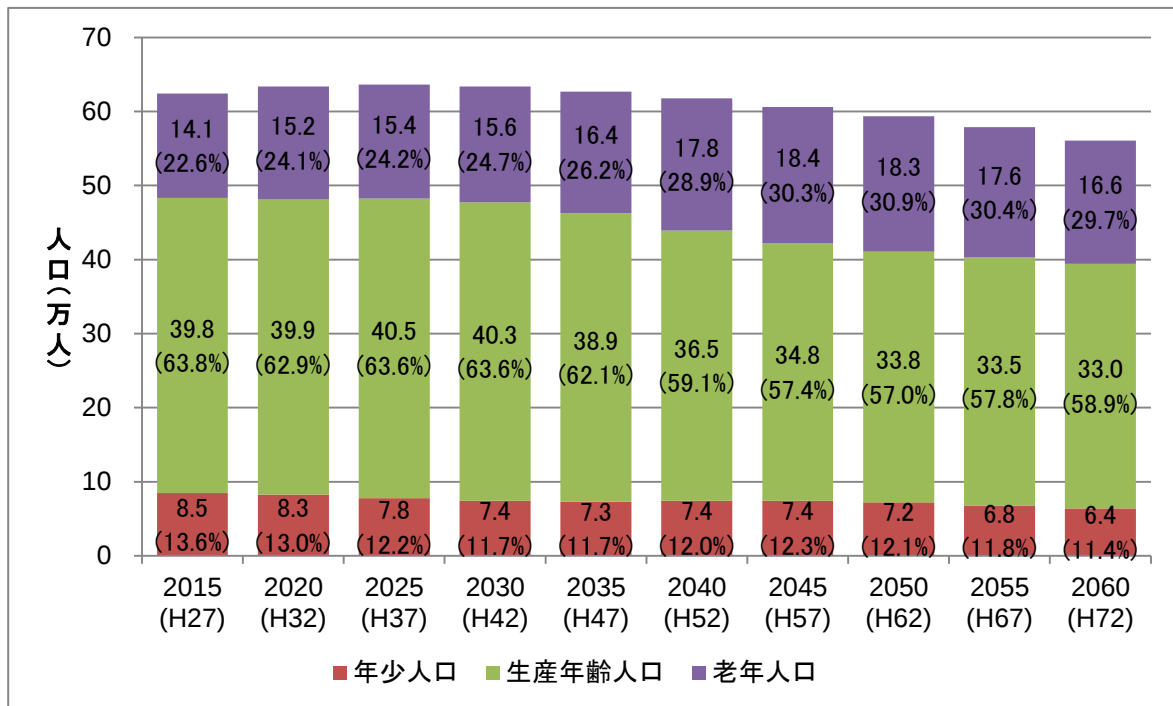
年少人口（15 歳未満の人口）は、今後緩やかに減少していき、2040(平成 52)年は 7.4 万人、2060(平成 72)年は 6.4 万人となる見込みである。

老年人口（65 歳以上の人口）は、2015(平成 27)年の 14.1 万人から、2025(平成 37)年には 15.4 万人、2040(平成 52)年には 17.8 万人となり、2045(平成 57)年に 18.4 万人となるまで増加を続ける見込みである。75 歳以上の人口で見ると、2015(平成 27)年の 6.2 万人から、団塊世代の高齢化を受け、2030(平成 42)年の 9.4 万人まで急増する見込みである(図表 20)。その後、一旦は減少するものの再び増加に転じ、2055(平成 67)年には 11.1 万人と、2030(平成 42)年に迎える最初のピークを越える見込みである。

また高齢化率で見ると、2015(平成 27)年の 22.6%から、2025(平成 37)年には 24.2%、2040(平成 52)年には 28.9%となり、2050(平成 62)年に 30.9%となるまで上昇を続ける見込みである。

また、生産年齢人口の中でも働き盛りである 35～49 歳の人口は、2015(平成 27)年の 15.6 万人から、2040(平成 52)年は 11.2 万人、2060(平成 72)年は 10.1 万人と、2015(平成 27)年の 3 分の 2 程度まで減少する見込みである(図表 21)。

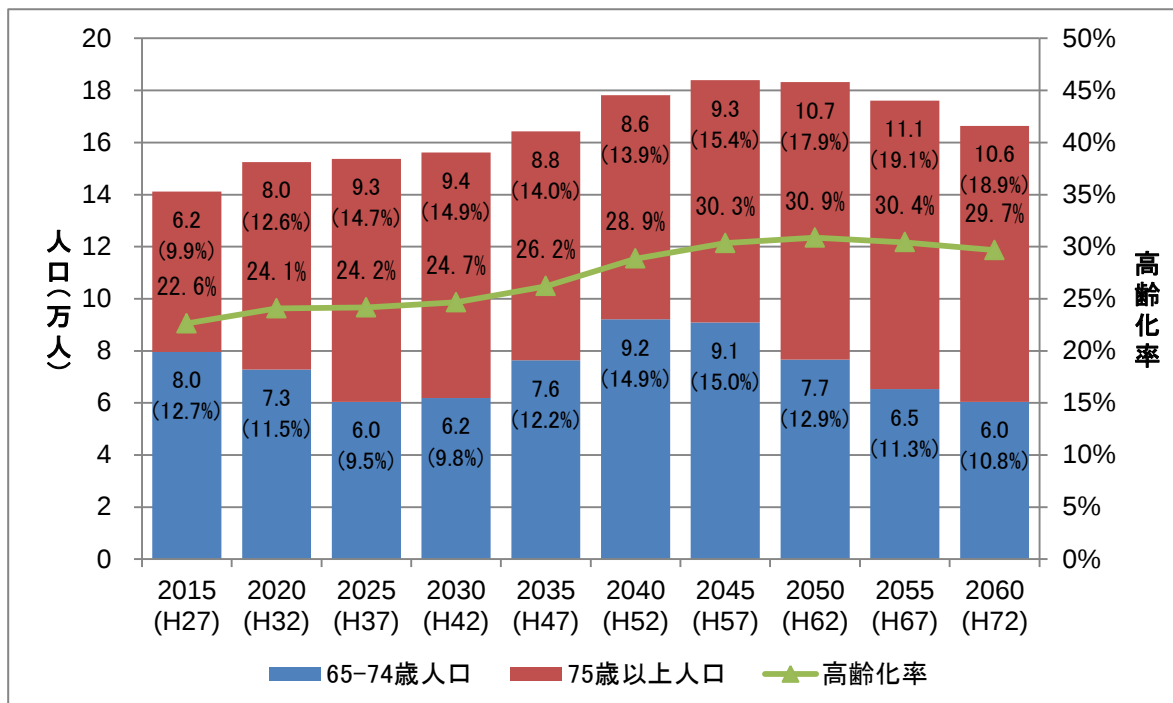
図表 19 年齢3区分別人口の将来推計



※ カッコ内は各年齢区分の総人口に占める構成比。

※ 2015(平成 27)年は、4 月 1 日時点の住民基本台帳人口。

図表 20 高齢者人口と高齢化率の将来推計



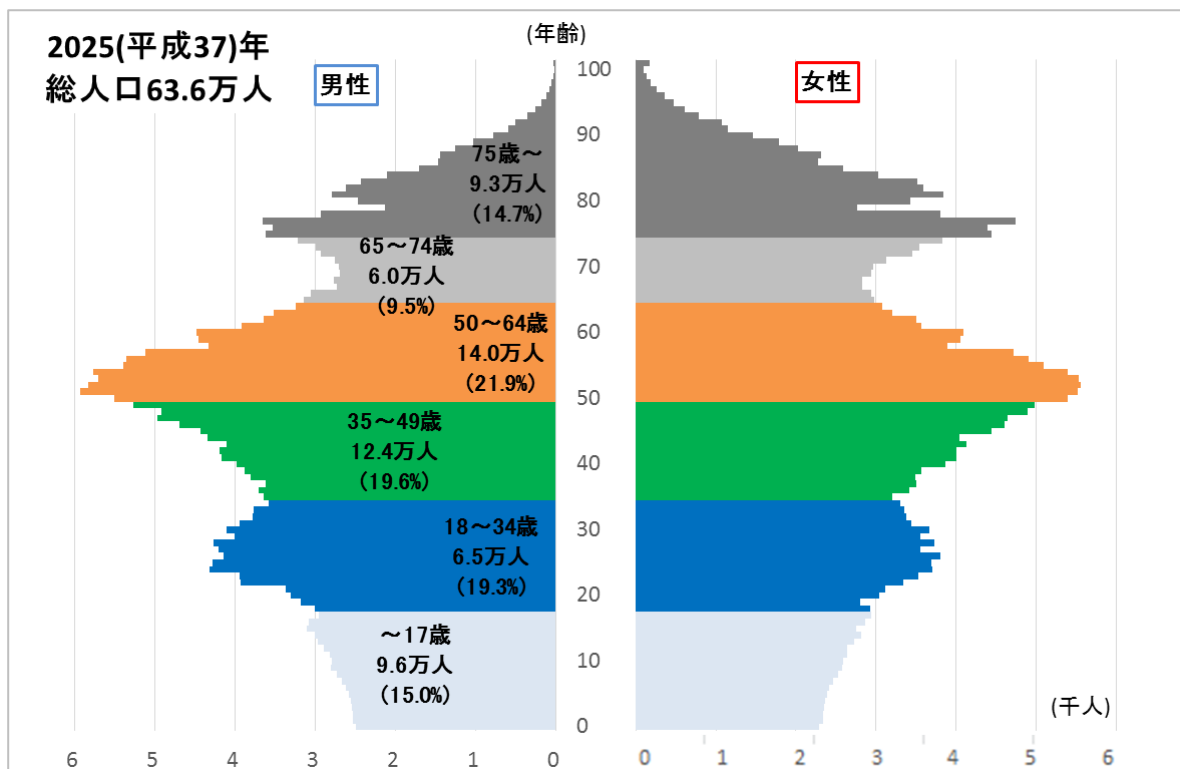
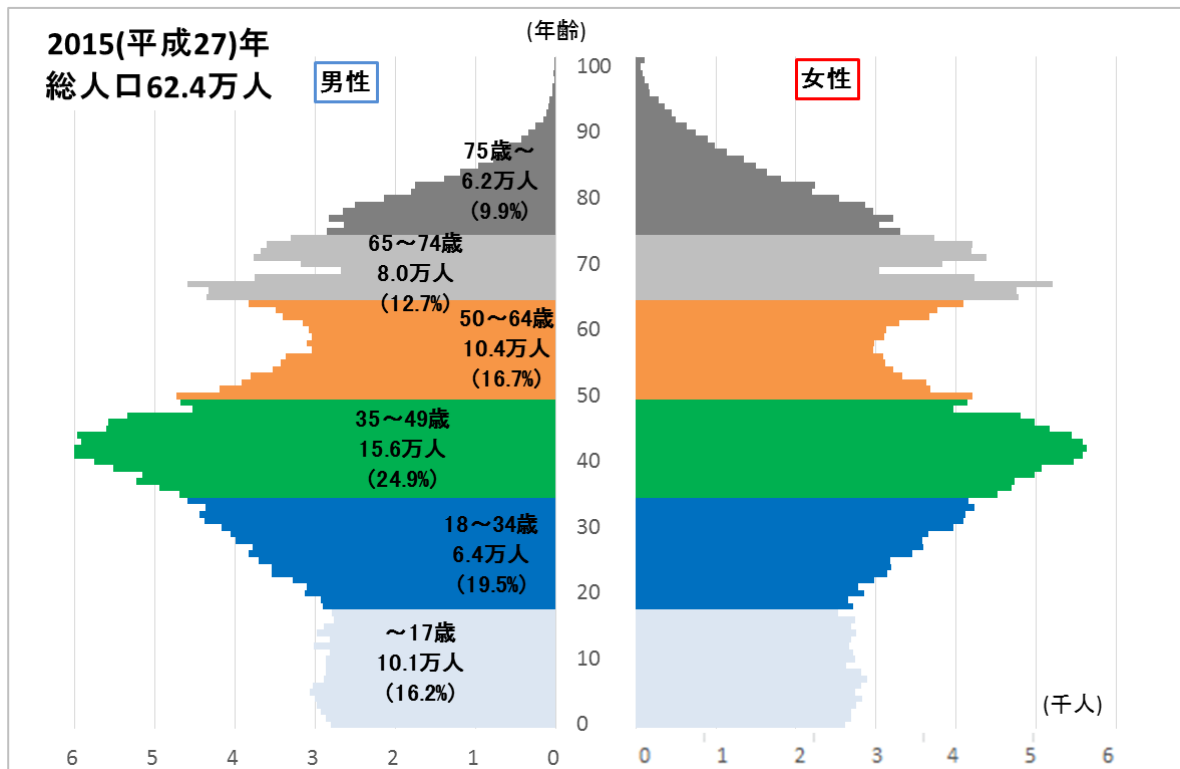
※ カッコ内は 65-74 歳人口または 75 歳以上人口の総人口に占める構成比。

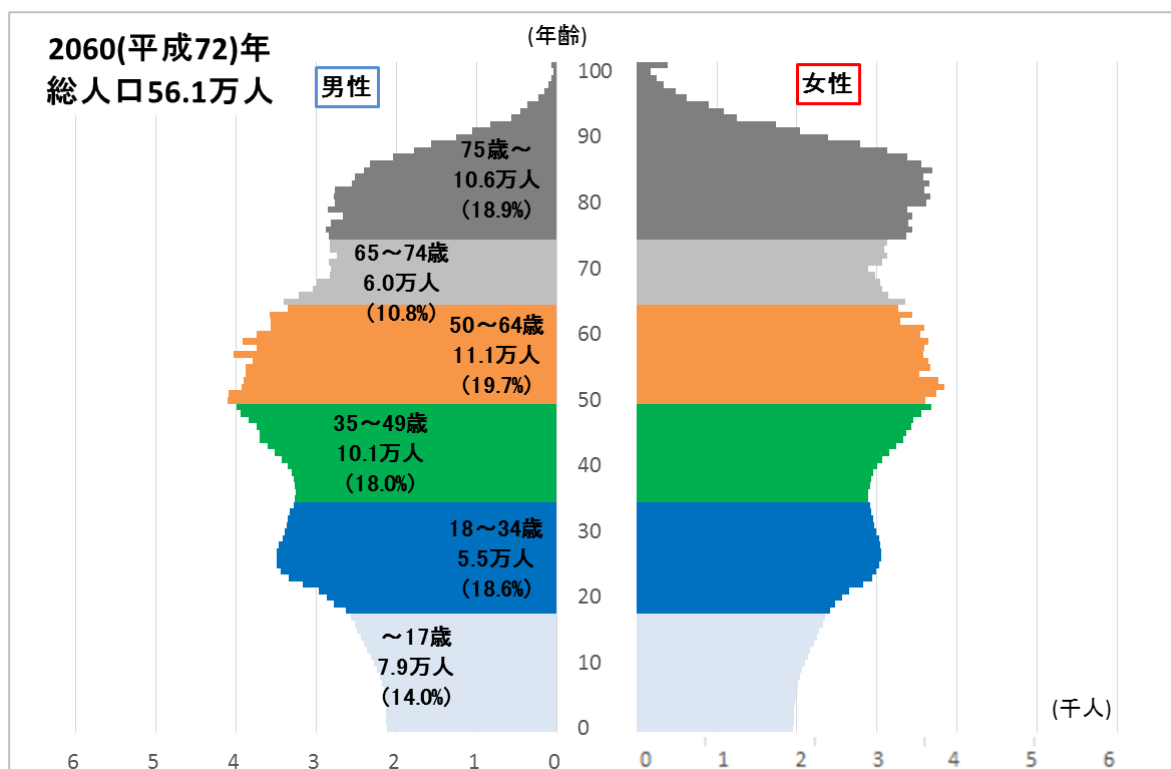
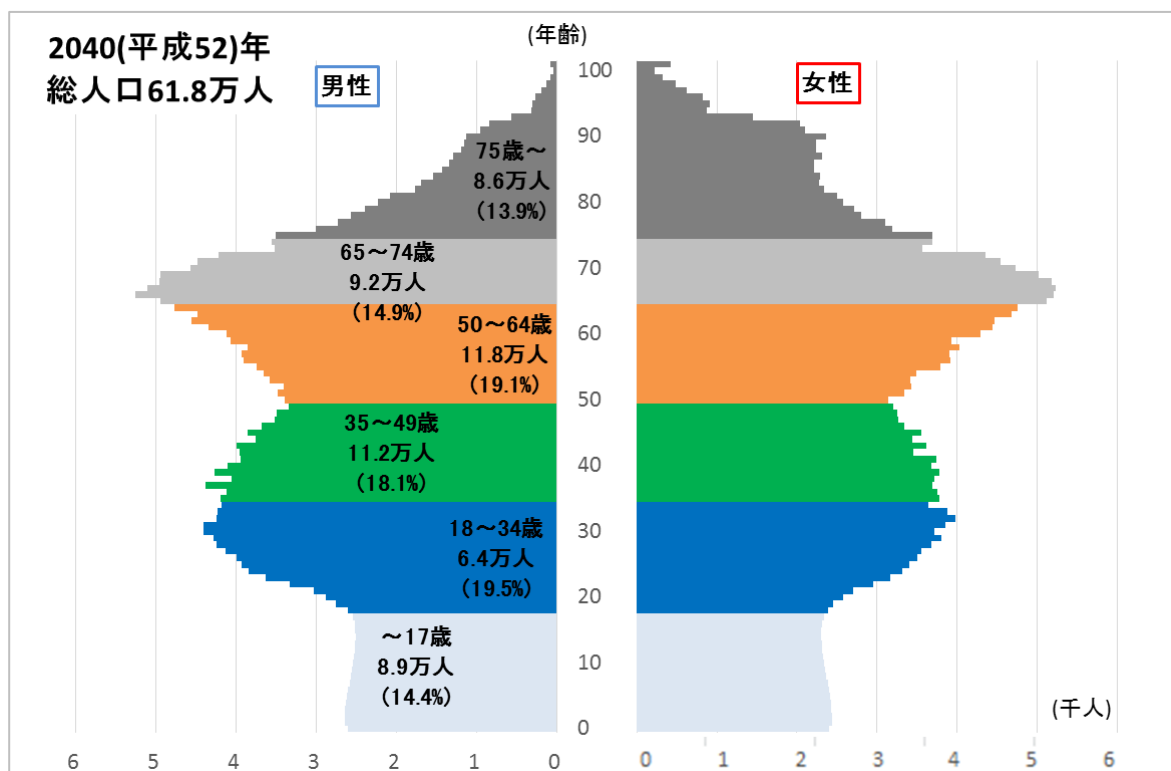
※ 2015(平成 27)年は、4 月 1 日時点の住民基本台帳人口。

※ 端数処理の関係上、合計が図表 19 の老年人口数と一致しない場合がある。

図表 21 人口ピラミッド

(2015(平成 27) 年、2025(平成 37) 年、2040(平成 52) 年、2060(平成 72) 年)





※ カッコ内は各年齢区分の総人口に占める構成比。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

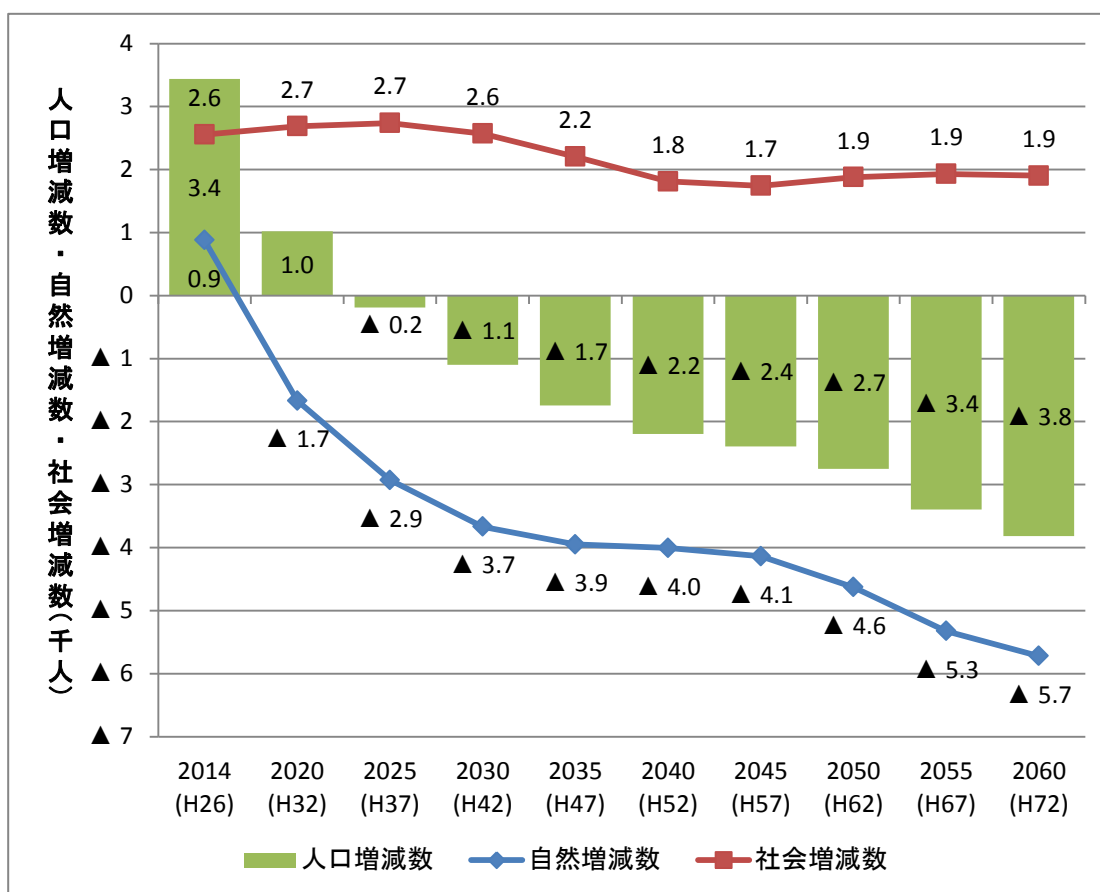
③ 将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響

社会増加は今後も続いていくが、間もなく自然減少に転じ、2025(平成 37)年に人口減少局面に入る見込み。

現在は自然増加及び社会増加の状態が続いている。今後の社会増加数は、人口移動が収束する影響で、2045(平成 57)年に 1.7 千人まで減少するが、その後は 1.9 千人程度で推移し、社会増加の状態が維持される見込みである(図表 22)。

一方、自然増加数は、今後死亡数が増加する影響で縮小していく。2020(平成 32)年には死亡数が出生数を上回り、自然減少に転じる見込みである。その後年々、自然減少数は拡大していき、2025(平成 37)年には社会増加数を上回り、人口減少局面に入ると予想される。2040(平成 52)年は 4.0 千人、2060(平成 72)年は 5.7 千人の自然減少となり、人口減少スピードが年々加速していく見込みである。

図表 22 船橋市の人口増減数・自然増減数・社会増減数の将来推計



※ 2014(平成 26)年は「船橋市統計書」による。

※ 人口増減数=自然増減数+社会増減数。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

④ 地区別の推計

南部・西部地域の人口増加、北部・東部・中部地域の人口減少及び高齢化は、今後さらに進んでいく見込み。

図表 23 24 地区コミュニティ別の将来人口推計

単位：千人

地区コミュニティ		2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
南部	宮本	39.3	41.1	42.8	44.5	45.9	47.2	48.0	48.4	48.6	48.5
	湊町	29.6	30.6	31.4	32.2	32.9	33.3	33.3	33.0	32.5	31.7
	本町	15.5	16.3	17.0	17.5	17.8	17.9	17.9	17.9	18.0	18.0
	海神	31.1	32.3	33.4	34.3	35.0	35.6	35.8	35.9	35.9	35.7
西部	葛飾	41.0	43.1	45.0	46.7	47.9	48.6	49.0	49.1	49.0	48.7
	中山	19.0	18.9	18.6	18.1	17.4	16.6	15.8	14.9	14.0	13.0
	塚田	44.6	47.2	49.2	50.8	52.1	53.1	53.8	54.3	54.3	54.0
	法典	44.9	46.5	47.5	48.0	48.3	48.4	48.3	48.0	47.4	46.5
東部	前原	44.1	46.4	48.4	50.2	51.6	52.7	53.4	53.9	54.0	53.9
	二宮・飯山満	28.8	29.2	29.3	29.0	28.5	27.7	26.9	26.1	25.2	24.2
	薬円台	18.4	19.1	19.5	19.8	19.9	19.8	19.6	19.4	19.1	18.7
	三山・田喜野井	35.5	35.3	34.6	33.4	31.9	30.3	28.8	27.3	25.7	24.1
	習志野台	43.3	41.9	39.8	37.5	35.0	32.6	30.1	27.7	25.1	22.5
中部	夏見	26.2	26.8	27.1	27.2	27.2	27.0	26.7	26.2	25.6	24.8
	高根・金杉	15.7	15.0	14.1	13.0	11.8	10.7	9.7	8.9	8.1	7.4
	高根台	12.1	12.3	12.2	12.0	11.7	11.4	11.1	10.8	10.5	10.0
	新高根・芝山	28.2	27.4	26.1	24.6	22.9	21.2	19.7	18.3	16.9	15.5
北部	二和	15.4	15.2	14.8	14.1	13.5	12.8	12.2	11.5	10.7	9.9
	三咲	16.3	16.7	16.8	16.8	16.7	16.6	16.5	16.2	15.9	15.5
	八木が谷	25.3	24.2	22.8	21.0	19.1	17.2	15.6	14.1	12.7	11.3
	松が丘	13.3	12.4	11.3	10.0	8.8	7.6	6.6	5.8	5.0	4.3
	大穴	14.3	13.6	12.7	11.6	10.3	9.2	8.3	7.6	6.9	6.2
	豊富	11.7	11.1	10.3	9.4	8.3	7.3	6.4	5.6	4.9	4.2
	坪井	10.9	11.2	11.5	11.8	12.2	12.5	12.7	12.8	12.6	12.3
小計	南部	115.4	120.3	124.7	128.5	131.7	133.9	135.0	135.3	134.9	133.8
	西部	149.5	155.7	160.3	163.6	165.7	166.8	166.9	166.3	164.8	162.2
	東部	170.1	171.9	171.7	169.9	166.9	163.2	158.9	154.3	149.2	143.3
	中部	82.1	81.4	79.5	76.8	73.6	70.3	67.2	64.3	61.1	57.7
	北部	107.2	104.4	100.1	94.7	88.9	83.3	78.2	73.5	68.7	63.7
市全体		624.4	633.7	636.2	633.7	626.9	617.5	606.2	593.7	578.7	560.7

※ 2015(平成 27)年は、4月1日時点の住民基本台帳人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

現在、人口が増加し若い世代が多い南部・西部地域と、人口が減少し高齢化が進む北部・東部・中部地域と、市内で人口動向の二極化が進んでいるが、この傾向がさらに進んでいく見込みである（図表 23～36）。

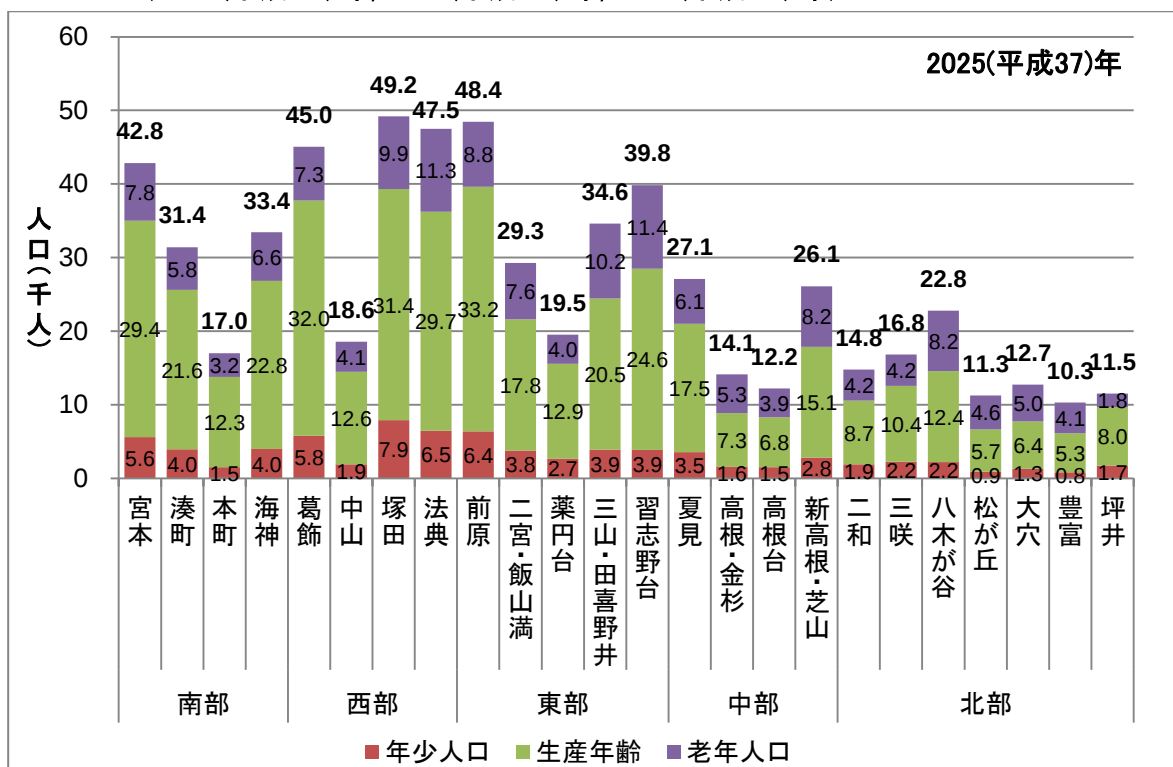
市内で最も高齢化率が高い地区は、2015(平成 27)年は 37.2%の大穴であるが、2025(平成 37)年は 41.2%の松が丘、2040(平成 52)年は 49.2%の豊富、2060(平成 72)年は 54.0%の同じく豊富となる見込みである。

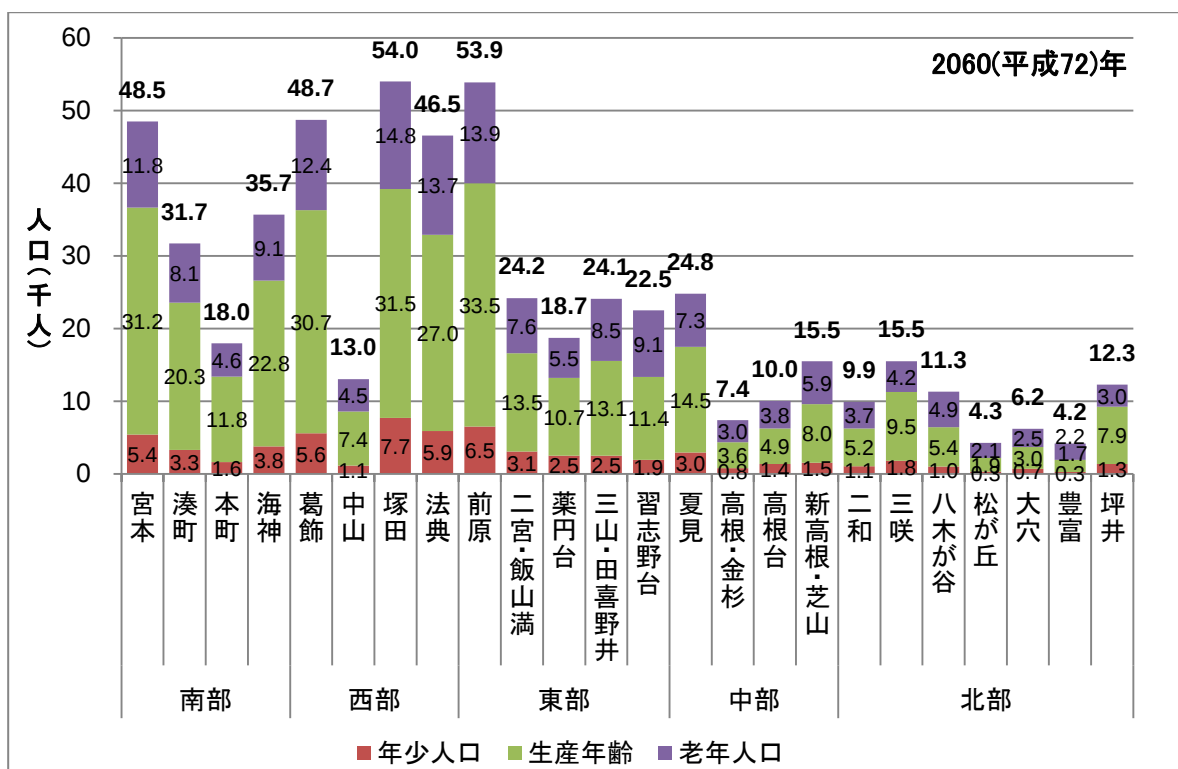
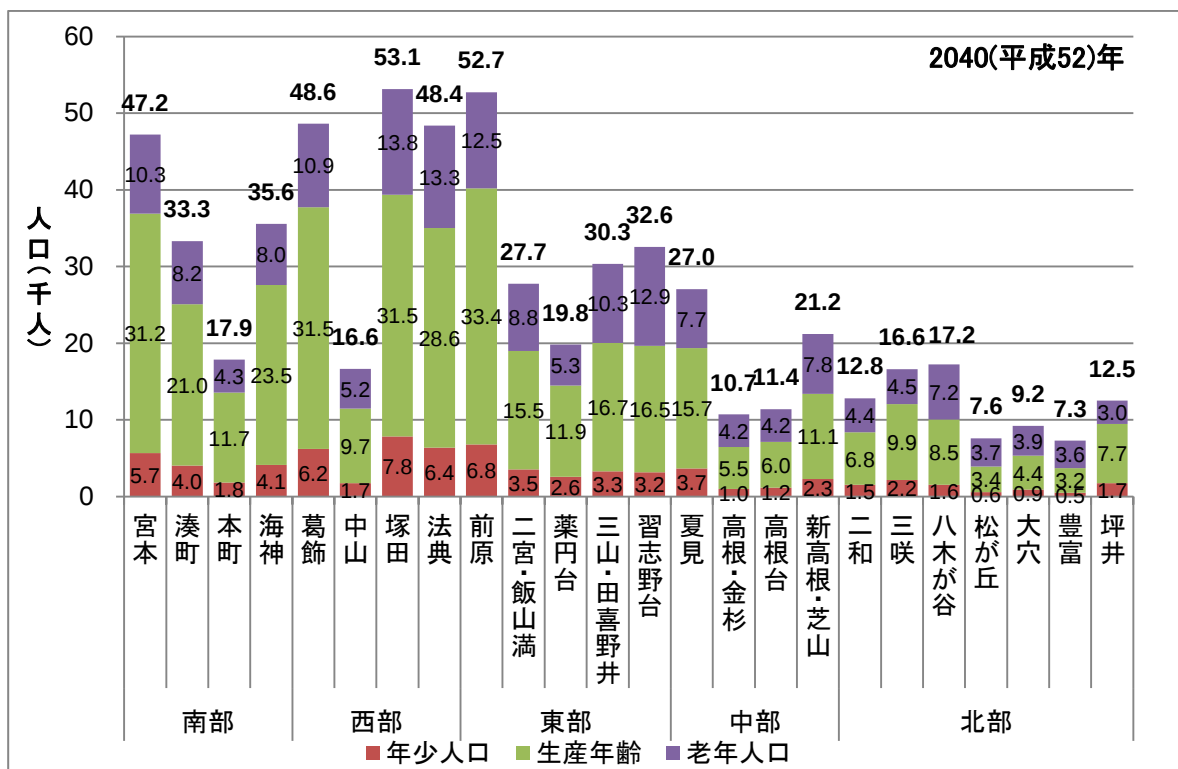
また、2015(平成 27)年に対し、人口が 6 割以下になる地区が、2040(平成 52)年には 1 地区（松が丘）、2060(平成 72)年には 7 地区（高根・金杉、新高根・芝山、習志野台、八木が谷、松が丘、大穴、豊富）となる見込みである。

一方で、南部・西部地域の多くの地区では、人口が増加または横ばいで推移し、高齢化も北部・東部・中部地域と比べると緩やかに進む見込みである。

なお、これは 2(2)で行った市全体の人口推計と基本的に同じ仮定により、24 地区コミュニティ別に人口推計を行った結果である。人口移動率は地区別に直近 5 か年の平均純移動率を算出したものを使用している。ただし、大規模マンション開発等で人口が急増した地区では、当該期間を除外して平均純移動率を算出するなど調整を図っている。合計特殊出生率は、2013(平成 25)年実績 1.39 を全地区共通で使用している。また、全地区の人口推計値の合計が、市全体の人口推計値と一致するように、最終的に補正を行っている。

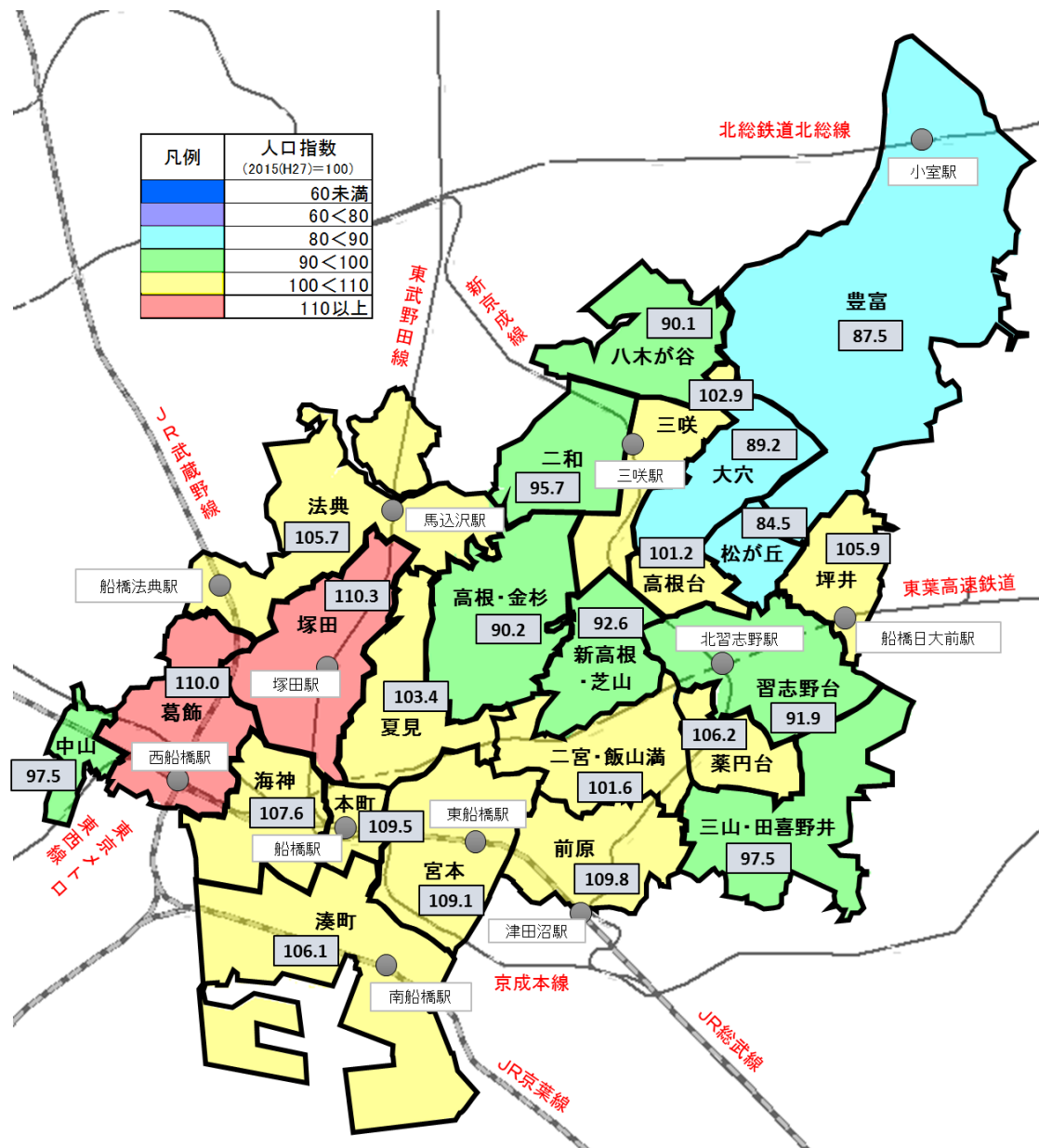
図表 24 24 地区コミュニティ別の年齢 3 区分別人口推計
(2025(平成 37)年, 2040(平成 52)年, 2060(平成 72)年)





※ グラフ上部の数字は、当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

図表 25 24 地区コミュニティ別の人口増減の推計（2015（平成 27）年⇒2025（平成 37）年）

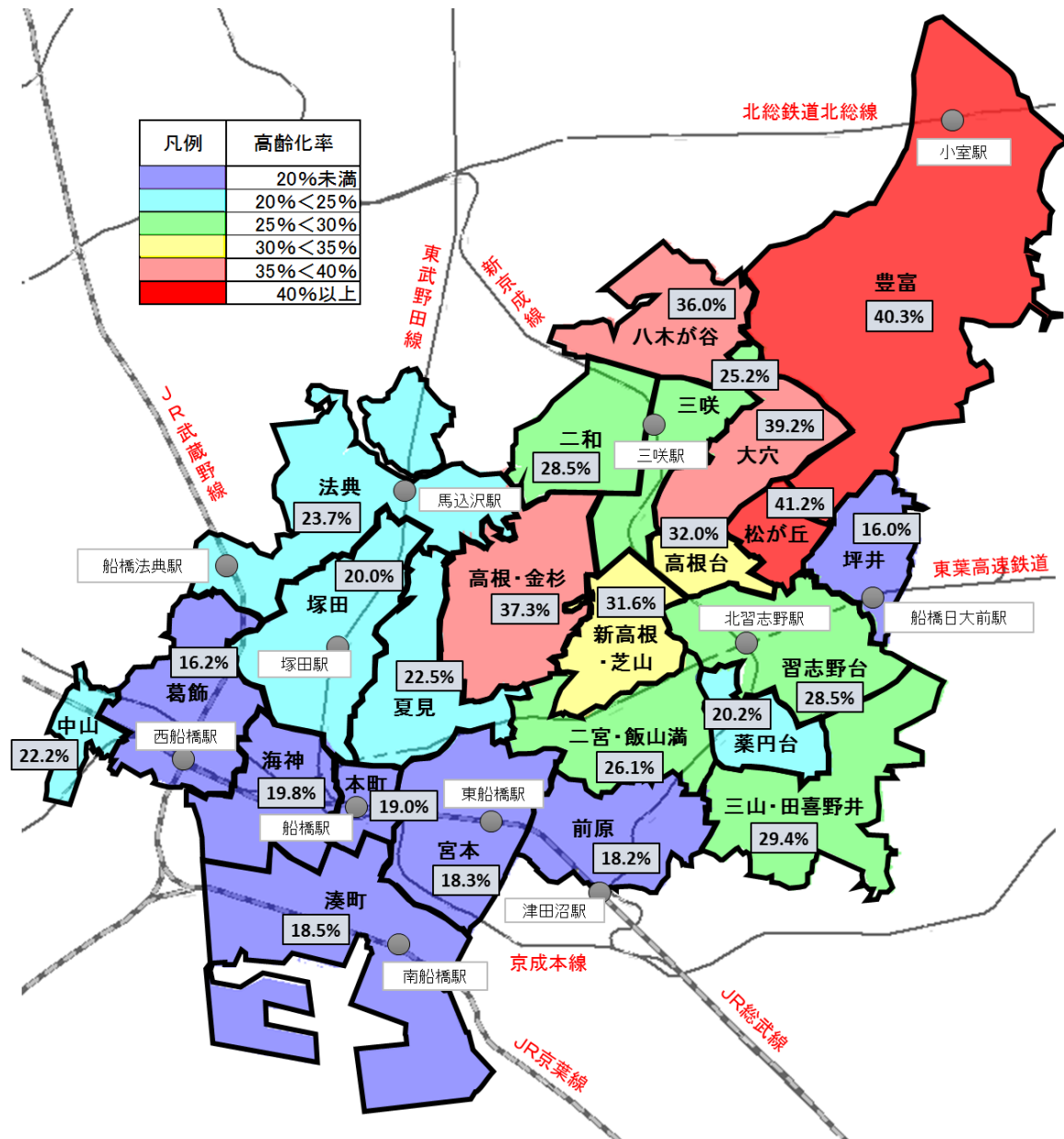


図表 26 人口指数上位・下位の地区コミュニティ（2015（平成 27）年⇒2025（平成 37）年）

順位	上位		下位	
	地区	人口指数	地区	人口指数
1	塚田	110.3	松が丘	84.5
2	葛飾	110.0	豊富	87.5
3	前原	109.8	大穴	89.2
4	本町	109.5	八木が谷	90.1
5	宮本	109.1	高根・金杉	90.2

※ 人口指数は、2015（平成 27）年の人口を 100 とした場合の 2025（平成 37）年の人口。

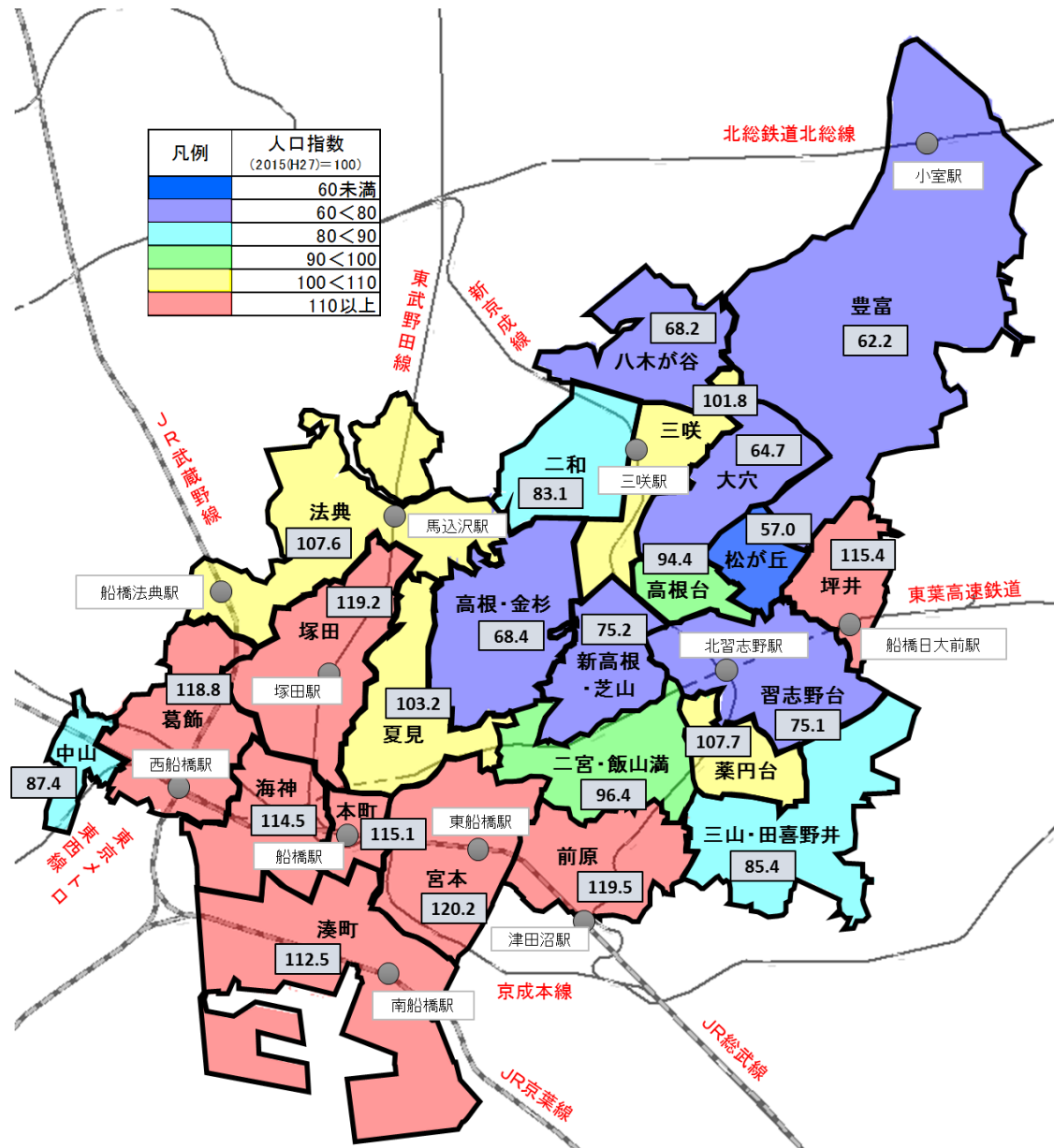
図表 27 24 地区コミュニティ別の高齢化率の推計（2025（平成 37）年）



図表 28 高齢化率上位・下位の地区コミュニティ（2025（平成 37）年）

順位	上位		下位	
	地区	高齢化率	地区	高齢化率
1	松が丘	41.2%	坪井	16.0%
2	豊富	40.3%	葛飾	16.2%
3	大穴	39.2%	前原	18.2%
4	高根・金杉	37.3%	宮本	18.3%
5	八木が谷	36.0%	湊町	18.5%

図表 29 24 地区コミュニティ別の人口増減の推計（2015（平成 27）年⇒2040（平成 52）年）



図表 30 人口指数上位・下位の地区コミュニティ（2015（平成 27）年⇒2040（平成 52）年）

順位	上位		下位	
	地区	人口指数	地区	人口指数
1	宮本	120.2	松が丘	57.0
2	前原	119.5	豊富	62.2
3	塚田	119.2	大穴	64.7
4	葛飾	118.8	八木が谷	68.2
5	坪井	115.4	高根・金杉	68.4

※ 人口指数は、2015（平成 27）年の人口を 100 とした場合の 2040（平成 52）年の人口。

凡例	高齢化率
Blue	20%未満
Light Blue	20%＜25%
Green	25%＜30%
Yellow	30%＜35%
Orange	35%＜40%
Red	40%以上

Map Data (Ward, Aging Rate):

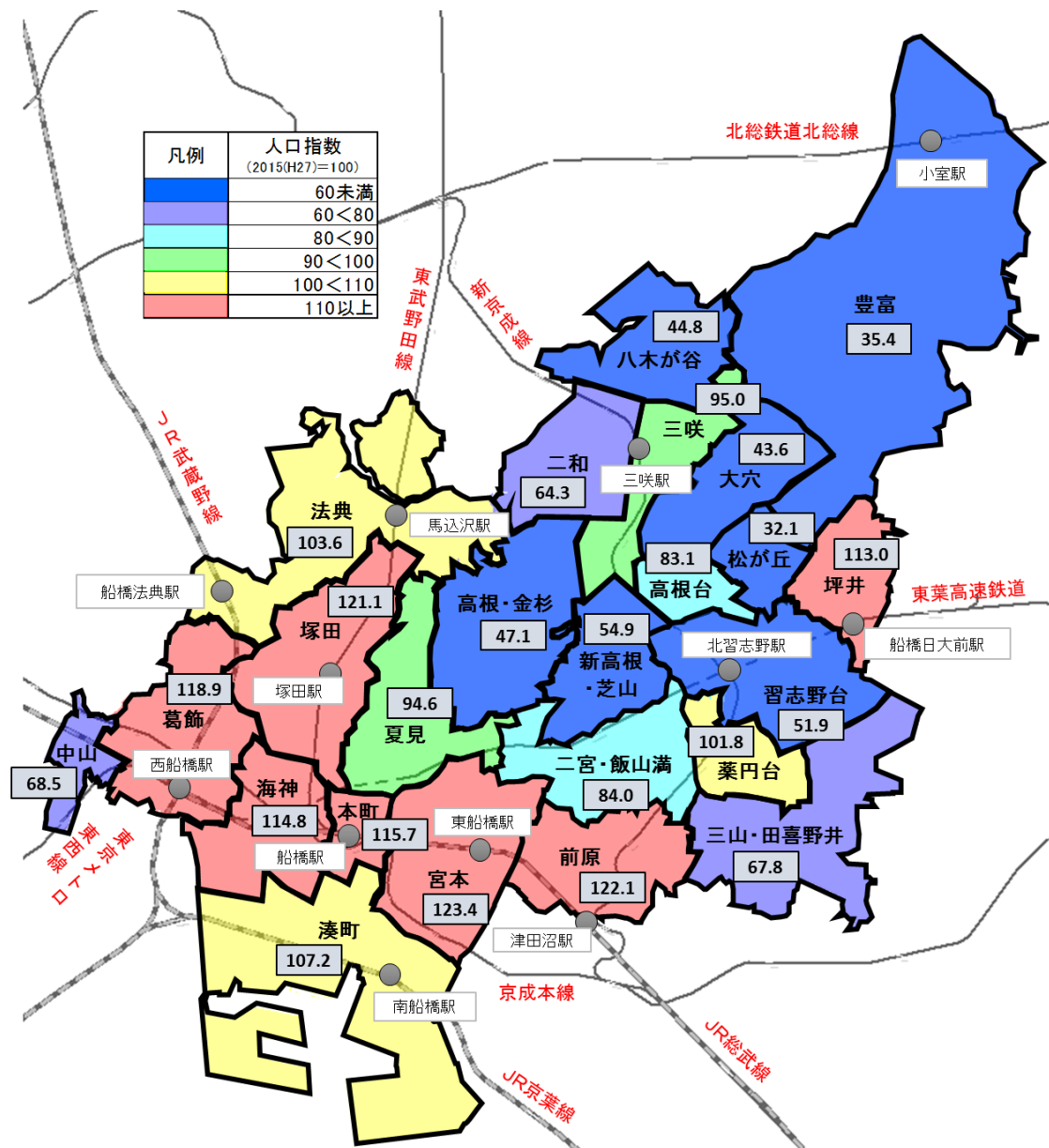
- 小室 (Kojima): 49.2%
- 豊富 (Toyouke): 41.6%
- 八木が谷 (Yaginaga): 27.3%
- 三咲 (Misaki): 42.3%
- 大穴 (Oana): 48.2%
- 松が丘 (Matsugahira): 24.3%
- 坪井 (Tsuboi): 37.2%
- 北習志野 (Kitashinobu): 39.7%
- 習志野台 (Shinobu-dai): 27.0%
- 薬円台 (Yakuen-dai): 34.0%
- 三山・田喜野井 (Sanyama-Tanikunoyai): 31.6%
- 二宮・飯山満 (Ninomiya-Iihanommi): 36.8%
- 新高根・芝山 (Shinagane-Shizama): 39.7%
- 高根・金杉 (Takane-Kanashi): 28.4%
- 夏見 (Natsumi): 25.6%
- 塚田 (Tsukada): 22.5%
- 葛飾 (Koshoji): 22.5%
- 中山 (Nakanaka): 31.1%
- 海神 (Kaminari): 24.7%
- 本町 (Honcho): 24.1%
- 宮本 (Miyamoto): 21.8%
- 湊町 (Minatocho): 24.7%

Major Railway Lines and Stations:

- 北総鉄道北総線 (Keisei Line)
- 東武野田線 (Tobu Noda Line)
- 新荒谷線 (Shinabara Line)
- JR武蔵野線 (JR Musubi Line)
- 東葉高速鉄道 (Toei Rapid Railway)
- 京成本線 (Keiyo Main Line)
- JR京葉線 (JR Keiyo Line)
- JR総武線 (JR Sobu Line)
- 船橋法典駅 (Funabashi Hachidai Station)
- 馬込沢駅 (Umagasawa Station)
- 三咲駅 (Misaki Station)
- 船橋大前駅 (Funabashi Daihachio Station)
- 西船橋駅 (Fushimi Station)
- 船橋駅 (Funabashi Station)
- 東船橋駅 (Higashi-Funabashi Station)
- 津田沼駅 (Tsudanuma Station)
- 南船橋駅 (Minami-Funabashi Station)

順位	上位		下位	
	地区	高齢化率	地区	高齢化率
1	豊富	49.2%	宮本	21.8%
2	松が丘	48.2%	葛飾	22.5%
3	大穴	42.3%	海神	22.5%
4	八木が谷	41.6%	前原	23.7%
5	高根・金杉	39.7%	本町	24.1%

図表 33 24 地区コミュニティ別の人口増減の推計（2015（平成 27）年⇒2060（平成 72）年）

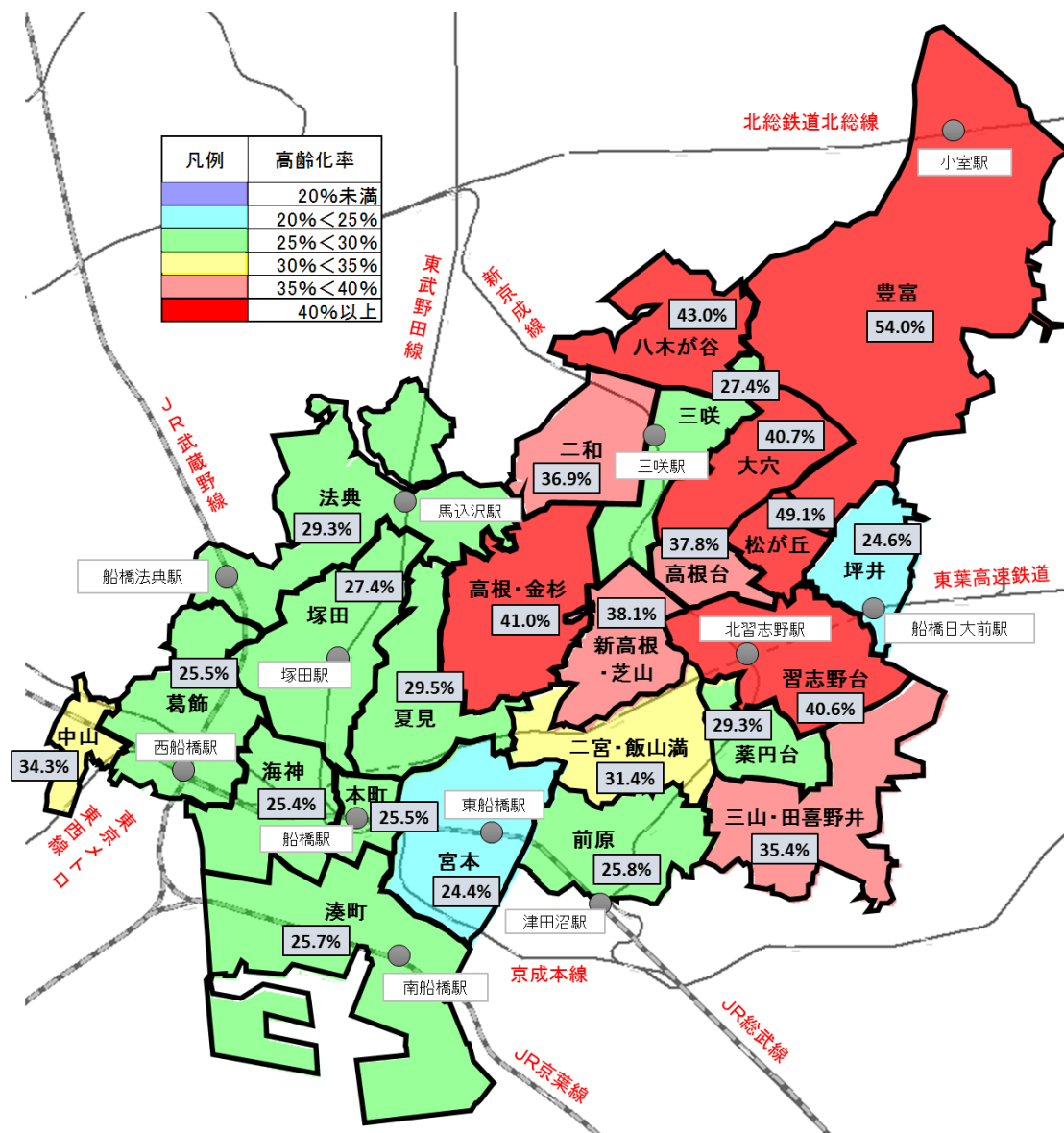


図表 34 人口指数上位・下位の地区コミュニティ（2015（平成 27）年⇒2060（平成 72）年）

順位	上位		下位	
	地区	人口指数	地区	人口指数
1	宮本	123.4	松が丘	32.1
2	前原	122.1	豊富	35.4
3	塚田	121.1	大穴	43.6
4	葛飾	118.9	八木が谷	44.8
5	本町	115.7	高根・金杉	47.1

※ 人口指数は、2015（平成 27）年の人口を 100 とした場合の 2060（平成 72）年の人口。

図表 35 24 地区コミュニティ別の高齢化率の推計（2060（平成 72）年）



図表 36 高齢化率上位・下位の地区コミュニティ（2060（平成 72）年）

順位	上位		下位	
	地区	高齢化率	地区	高齢化率
1	豊富	54.0%	宮本	24.4%
2	松が丘	49.1%	坪井	24.6%
3	八木が谷	43.0%	海神	25.4%
4	高根・金杉	41.0%	葛飾	25.5%
5	大穴	40.7%	本町	25.5%

(3) 人口の変化が船橋の将来に与える影響

① 地域社会への影響

現在、人口が増加し若い世代が多い南部・西部地域と、人口が減少し高齢化が進む北部・東部・中部地域の二極化傾向が、今後さらに進んでいく見込みである。

開発事業者等に対し、今後の本市の住宅開発動向についてヒアリングを行ったところ、都心への通勤利便性が高いＪＲ総武線沿線の開発ニーズは続く一方、それ以外の地区においては特に大規模開発を行うことは難しいとの声が多かった²⁰。

人口が減少し、高齢化が進む地区では、高齢者のみ世帯の増加による日常生活の見守りや災害時の支援等の問題、商店等の閉店による買い物難民の発生、空き家の増加、地域公共交通の縮小、地域活動の停滞などといった影響が生じる恐れがある。

② 経済面への影響

人口減少と高齢化の進行は、消費・経済力を低下させるとともに、社会保障費の増大等により働き手一人当たりの負担が増加し、勤労意欲にマイナスの影響を与える恐れがある。

また、生産活動の中核を担う労働力である生産年齢人口のうち、働き盛りである35～49歳の人口が、2015(平成27)年の15.6万人から、2040(平成52)年は11.2万人、2060(平成72)年は10.1万人まで3分の2程度まで減少する見込みであり、企業経営にとっては、雇用の確保が大きな課題となってくる。

農水産業では、担い手の高齢化、後継者不足が深刻化するとともに、耕作放棄地の増加などが懸念される。

③ 保健・福祉面への影響

高齢者の増加により、要介護者や高齢者のみ世帯の増加が見込まれる。現在よりも更に医療・介護の施設・サービス需要が増加し、医療・介護資源が不足する恐れがあることから、地域包括ケアシステムの構築が重要となってくる。特に北部・東部・中部地域では、高齢化が急激に進むことが見込まれることから、先行して取り組んでいく必要がある。

④ 行財政面への影響

高齢者の増加により、介護や医療等に関する社会保障費が増大する一方、生産年齢人口の減少により、個人市民税等の税収減が見込まれ、市民サービスへの影響が考えられる。

また本市では人口が急増した1970年代に整備した公共施設・インフラが多く、今後一斉に老朽化する。人口減少・少子高齢化により公共施設・インフラの利用需要が変化していくことを踏まえ、限られた財源の中で、これらに適切に対処する必要がある。

²⁰ 平成27年7月～8月にかけ、総合ディベロッパー、県内ディベロッパー、マンション施工事業者、商業施設開発・運営事業者に対し、本市における今後の住宅・商業開発のポテンシャル等に関して、ヒアリングを行った。

3 船橋市の人口の将来展望

(1) 市民等の意識・希望

① 居住に関する意識・希望

本市に「住みたい」「住み続けたい」と思う人は多い。その主な理由は、交通・買い物利便性の高さ、手頃な住宅価格・家賃。

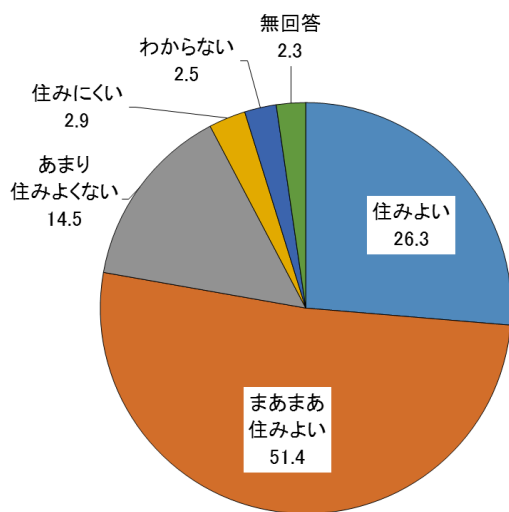
2014(平成 26)年に実施した「市民意識調査²¹」において、本市の住み心地について調査したところ、26.3%が「住みよい」、51.4%が「まあまあ住みよい」と回答した(合計 77.7%)(図表 37)。今後も本市に住み続けたいと思うかについては、52.4%が「住み続けたい」、31.2%が「しばらくは住み続けたい」と回答した(合計 83.6%)(図表 38)。

また 2013(平成 25)年に実施した「高齢者生活実態調査²²」において、本市在住の高齢者に対し、現在の住まいに対する今後の居住意向について調査したところ、84.0%が「可能な限り今の住まいで生活したい」と回答した(図表 39)。

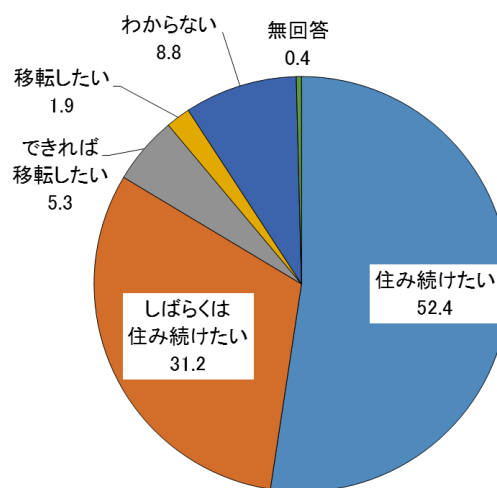
両調査とも、船橋市民の定住意向の高さが伺える結果となっている。

一方、市外在住者の本市に対する見方については、民間不動産会社の住宅サイトが平成 27 年に関東在住者に対し行った調査「住みたい行政市区ランキング」²³では、東京 23 区などが上位を占める中、本市は県内市町村で最上位の 21 位であった(図表 40)。

図表 37 船橋市の住み心地



図表 38 船橋市民の定住意向



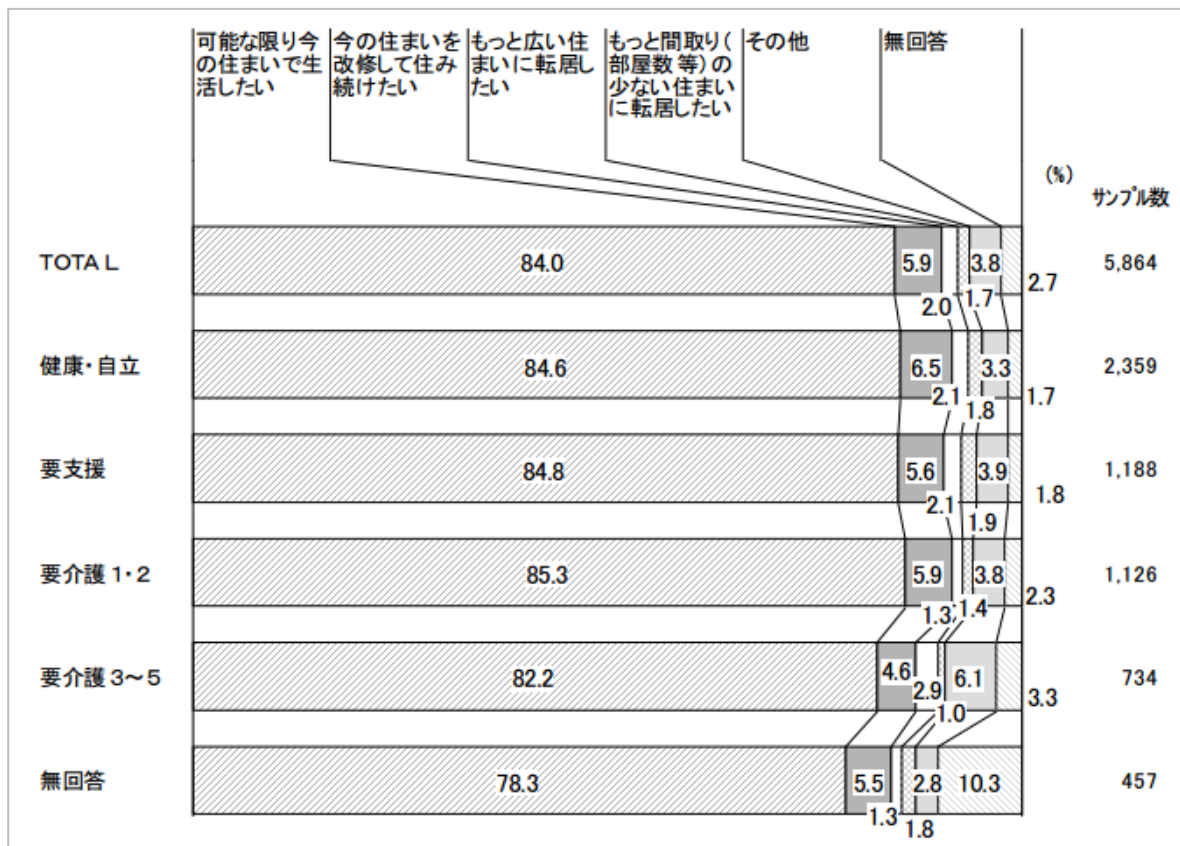
出所：平成 26 年度市民意識調査報告書

²¹ 本市在住の満 20 歳以上の男女 3,000 人を対象に実施。

²² 本市在住の 65 歳以上の高齢者 10,000 人(要支援・要介護認定を受けている者 6,000 人、要支援・要介護認定を受けていない者 4,000 人)を対象に実施。

²³ リクルート住まいカンパニー調べ「みんなが選んだ住みたい街ランキング 2015」。関東(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県)在住の 20 歳～49 歳の男女 3,000 人を対象に実施。

図表 39 高齢者の現在の住まいに対する今後の居留意向



出所：船橋市高齢者生活実態調査報告書（平成 26 年 3 月）

図表 40 関東在住者が選ぶ住みたい行政市区ランキング（2015(平成 27)年）

1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
世田谷区	港区	目黒区	文京区	武蔵野市
6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
杉並区	千代田区	鎌倉市	渋谷区	中央区
11 位	12 位	13 位	14 位	15 位
品川区	新宿区	中野区	横浜市中区	横浜市青葉区
16 位	17 位	18 位	19 位	20 位
江東区	大田区	練馬区	豊島区	さいたま市浦和区
21 位	22 位	23 位	24 位	25 位
船橋市	三鷹市	横浜市港北区	横浜市西区	市川市
26 位	27 位	28 位	29 位	30 位
さいたま市大宮区	江戸川区	横浜市都筑区	板橋区	川崎市中原区

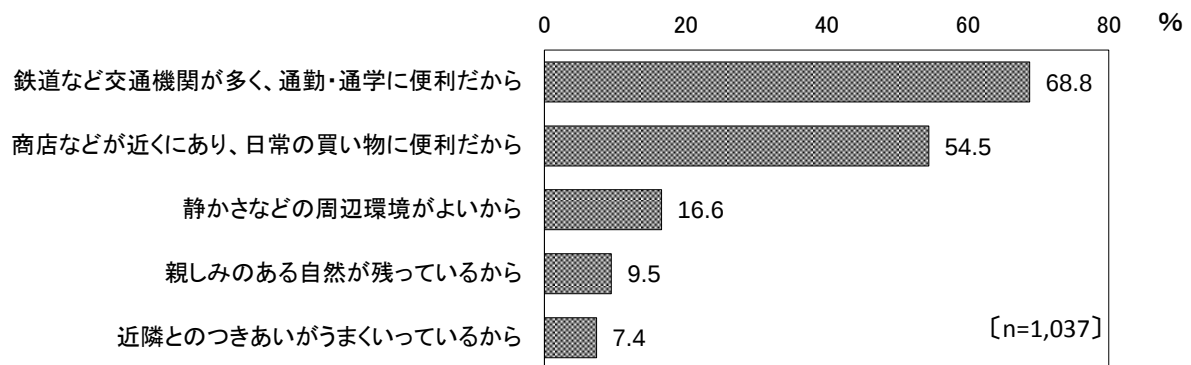
出所：「みんなが選んだ住みたい街ランキング 2015」リクルート住まいカンパニー調べ

先述の「市民意識調査」において、本市が住みよい理由について調査したところ、1位が「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから(68.8%)」、2位が「商店などが近くにあり、日常の買い物に便利だから(54.5%)」と、生活利便性に関する理由が突出して多かった(図表 41)。

また 2015(平成 27)年に実施した「転入者アンケート²⁴」において、本市への転入者に対し、転入を決めた理由について調査したところ、1位が「公共交通機関が便利である(34.6%)」、2位が「住宅価格・家賃が適当である(29.6%)」だった(図表 42)。

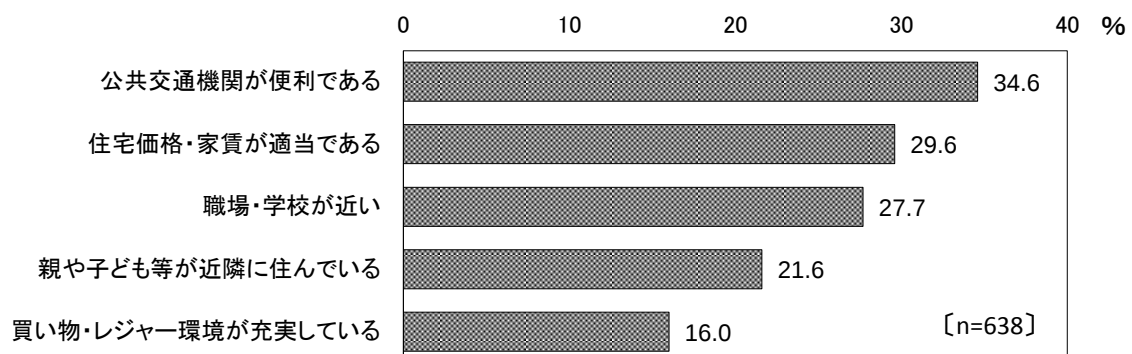
本市は、9 路線 35 駅と高度な鉄道網が張り巡らされており、また JR 船橋駅周辺のデパートや JR 南船橋駅周辺に並ぶ大型ショッピングセンターのほか、地域に密着したサービスを行う商店街など、盛んに商業活動が営まれている。この公共交通や買い物の生活利便性の高さと、住宅価格や家賃の手頃感が住みやすさにつながり、居住地として選ばれていることが伺える。

図表 41 船橋市が住みよい理由



出所：船橋市「平成 26 年度市民意識調査報告書」（理由の上位 5 位を抜粋）

図表 42 船橋市に転入を決めた理由



出所：「船橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」基礎調査報告書（理由の上位 5 位を抜粋）

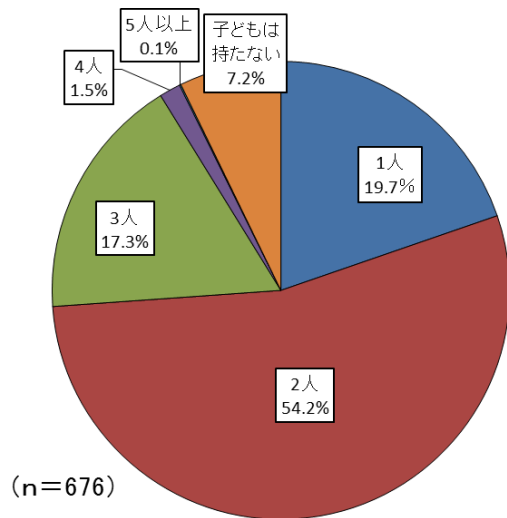
²⁴ 平成 26 年度に本市へ転入した 18～69 歳の男女 2,500 人を対象に実施。

② 結婚・出産・子育てに関する意識・希望

市民の結婚・出産・子育ての希望が実現した場合の出生率（市民希望出生率）は1.73となった。

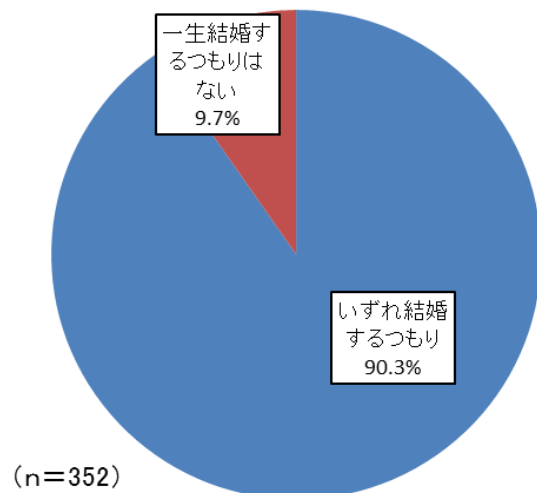
本市在住の若い世代を対象に実施した「結婚・出産・子育てに関する意識・希望調査²⁵」では、夫婦の予定している子供の人数は平均1.87人、いずれ結婚するつもりと考えている独身者（18～34歳）の割合は90.3%、独身者の希望する子供の人数は平均2.03人という結果となった（図表43～45）。

図表 43 夫婦の予定子供数

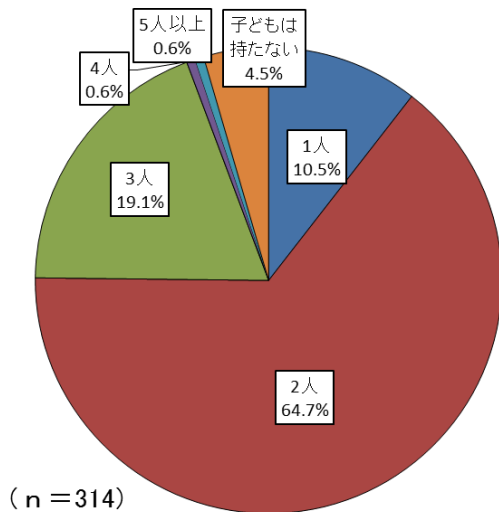


平均：1.87人

図表 44 独身者（18～34歳）の結婚意向



図表 45 独身者（18～34歳）の希望子供数



平均：2.03人

出所：「船橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」基礎調査報告書

²⁵ 本市在住の18～49歳の男女5,000人（18～34歳2,800人、35～49歳2,200人）を対象に実施。

また同調査にて、夫婦が予定している子供の数を持てない理由について調査したところ、全体では「年齢や健康上の理由で子供ができないこと(50.5%)」、「保育所など子供の預け先がないこと(32.1%)」、「収入が不安定なこと(26.3%)」の順で回答割合が高かった(図表46)。

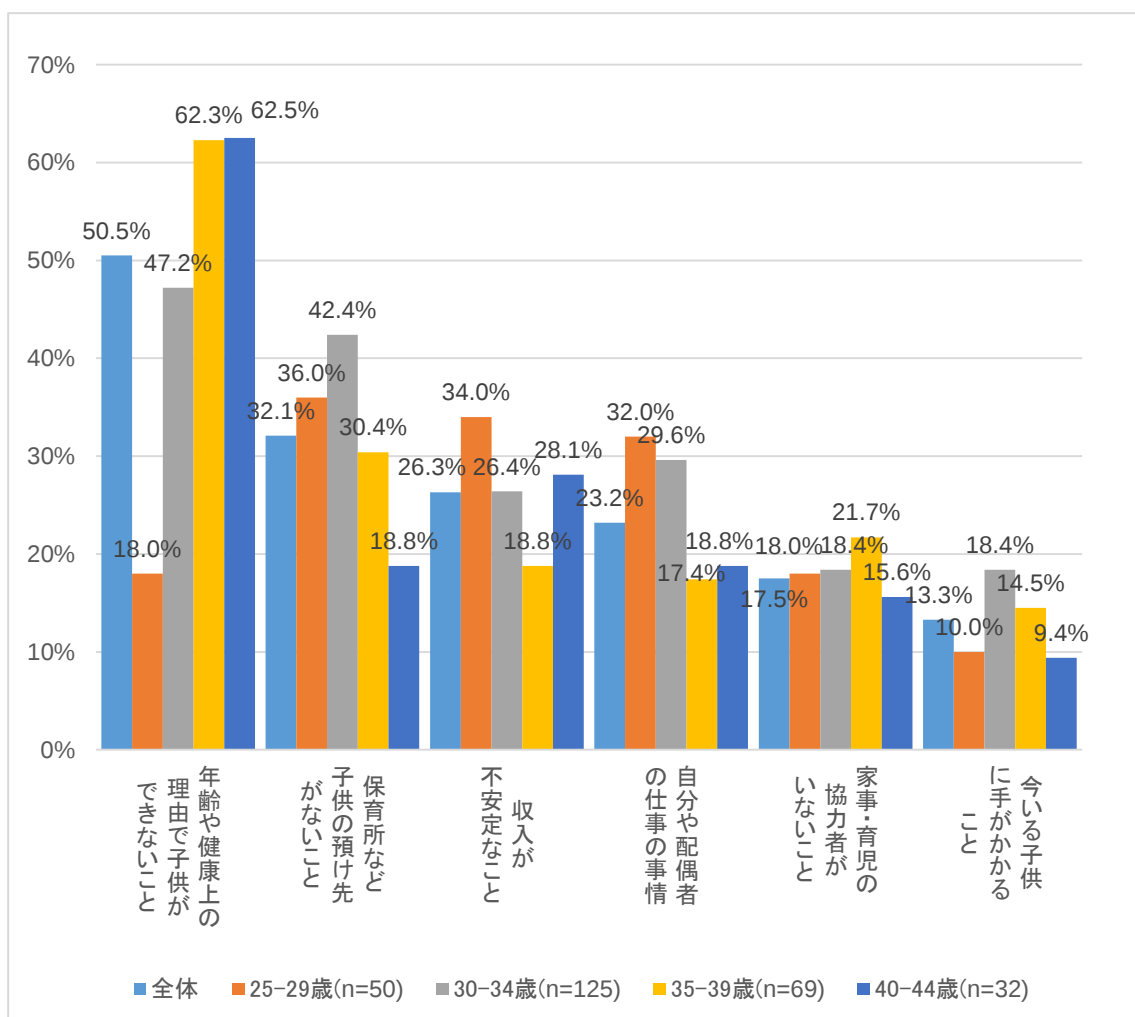
年齢階級別に見ると、25～29歳は「保育所など子供の預け先がないこと(36.0%)」、「収入が不安定なこと(34.0%)」、「自分や配偶者の仕事の事情(32.0%)」の順となった。

30～34歳は、「年齢や健康上の理由で子供ができないこと(47.2%)」、「保育所など子供の預け先がないこと(42.4%)」、「自分や配偶者の仕事の事情(29.6%)」の順となった。

35～39歳は、「年齢や健康上の理由で子供ができないこと(62.3%)」、「保育所など子供の預け先がないこと(30.4%)」、「家事・育児の協力者がいないこと(21.7%)」の順となった。

40～44歳は、「年齢や健康上の理由で子供ができないこと(62.5%)」、「収入が不安定なこと(28.1%)」、「保育所など子供の預け先がないこと(18.8%)」、並んで「自分や配偶者の仕事の事情(18.8%)」の順となった。

図表 46 夫婦が予定している子供数を持てない理由（年齢階級別）



出所：「船橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」基礎調査報告書

国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」では、若い世代の結婚・出産・子育ての希望が実現した場合の出生率（国民希望出生率）を 1.8 程度と算出しているが、同様の方法で市民希望出生率を算出すると、1.73 となった（図表 47）。

図表 47 希望出生率算出方法と基礎数値

市民希望出生率 = (①有配偶者割合 × ④夫婦の予定子供数 + ②独身者割合 × ③独身者のうち結婚を希望する者の割合 × ⑤独身者の希望子供数) × ⑥離死別等の影響

項目	国	船橋市	備考
① 有配偶者割合	34%	37%	総務省統計局「国勢調査」(2010(平成 22)年)における 18～34 歳の有配偶者の割合
② 独身者割合	66%	63%	1－有配偶者割合
③ 独身者のうち結婚を希望する者の割合	89%	90.3%	18～34 歳の独身者のうち「いずれ結婚するつもり」と答えた者の割合
④ 夫婦の予定子供数	2.07 人	1.87 人	夫婦の平均予定子供数
⑤ 独身者の希望子供数	2.12 人	2.03 人	18～34 歳の独身者（「いずれ結婚するつもり」と答えた者）の平均希望子供数
⑥ 離死別等の影響	0.938		国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成 24 年 1 月推計）」における出生中位の仮定に用いられた離死別等の影響

※ 希望出生率の算出方法は、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン＜参考資料集＞」における国民希望出生率の算出方法を参考とした。

※ 国の③～⑤は、国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」（第 14 回、平成 22 年）における数値。

(2) 目指すべき将来の方向

① 市民の定住希望をかなえる

本市に住み続けたいと思っている市民は非常に多い。この希望に応えるべく、全ての世代が住みやすく、住んで良かったと思われるまちづくりを推進する。

また一時的に本市を離れることがあっても、いつか戻ってきたくくなるような、「ふるさと・船橋」に対する愛着を持てる取り組みを進める。

そのため、現在多くの人が住みよい理由として挙げる公共交通や、買い物などの生活利便性の高さを活かしつつ、今後の人口減少及び少子高齢化を見据え、コミュニティのつながりの強化や、生活環境の改善、商店街の活性化など、住みやすいまちづくりに取り組んでいく。

② 高齢者の住み慣れた地域で、健やかに安心して暮らす希望をかなえる

今後、市全体で高齢化が進んでいくが、高齢者は、可能な限り今の住まいで生活したいと考えている人がほとんどである。

全ての高齢者が、自分らしくそれぞれの生きがいを持ち、住み慣れた地域でいつまでも健やかに暮らし続けられるように、高齢者が住みやすいまちづくりや、健康寿命の延伸などの取り組みを推進し、着実に「地域包括ケアシステム」を構築していく。

特に北部・東部・中部地域では、高齢化率が40%を超える地区が出てくることから、重点的に取り組んでいく。

③ 市民の結婚・出産・子育てに関する希望をかなえる

本市在住の若い世代を対象に実施した調査では、結婚したい、子供を持ちたいと考えている人の割合が高いが、未婚率は上昇傾向、出生率は低い水準で推移しており、現実はずしも希望どおりとなっていない。結婚や出産はあくまでも個人の自由な決定に基づくものであることを基本としつつ、市民の結婚・出産・子育てに関する希望をかなえられるような環境の整備を図る。

④ 職・住・遊の目的地として選ばれ、人が集まり活気のあるまちを目指す

人口減少時代を見据え、本市が今後も活気があるまちであり続けるためには、定住促進だけでなく、交流人口²⁶の増加にも取り組んでいく必要がある。

本市の都心に近い立地条件の良さや、公共交通の利便性の高さ、海・文化スポーツ・特産物・公園・商業施設などといった特色のある地域資源などの強みを活かし、職・住・遊の目的地として選ばれるための魅力づくりを推進する。そして、人口減少時代にあっても、人が集まり活気があるまちであり続けることを目指す。

²⁶ 通勤・通学、買い物、レジャーなどでその地域を訪れる人。その地域に住む人を意味する「定住人口」に対する概念。

(3) 人口の将来展望

2 (2) では、直近の人口移動率及び合計特殊出生率の傾向が今後も続くという仮定により、将来人口推計を行ったが、3 (2)「目指すべき将来の方向」に基づく取り組みを踏まえ、仮定が以下のパターンになった場合の将来人口について試算する(図表 48)。

パターン① ※2(2)における将来人口推計と同じ仮定

人口移動率は、2010(平成 22)年から 2015(平成 27)年までの直近 5 か年の平均純移動率を基準として、地方部で今後見込まれる人口減少を勘案し、この人口移動率が 2040(平成 52)年までに 20%程度収束していくとする。

合計特殊出生率は、2013(平成 25)年実績 1.39 が 2060(平成 72)年まで一定で続くとする。

パターン②

パターン①では直近 5 か年の平均純移動率が 2040(平成 52)年までに、人口移動率が 20%程度収束していくとしたが、本市の定住促進効果や、全国での少子化対策効果により、人口移動率の収束がパターン①の仮定より小さくなり、10%程度収束していくとする。

合計特殊出生率は、パターン①と同じく 2013(平成 25)年実績 1.39 が 2060(平成 72)年まで一定で続くとする。

パターン③

人口移動率は、パターン①と同じく直近 5 か年の平均純移動率が 2040(平成 52)年までに 20%程度収束していくとする。

国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」では、2030(平成 42)年までに合計特殊出生率が国民希望出生率 1.8 程度まで上昇した場合、2060(平成 72)年に人口が 1 億人程度になると推計している。これを勘案し、合計特殊出生率は、2030(平成 42)年までに 3 (1) ②で算出した市民希望出生率 1.73 に上昇するとする。

パターン④

人口移動率は、パターン②と同じく直近 5 か年の平均純移動率が 2040(平成 52)年までに 10%程度収束していくとする。

合計特殊出生率は、パターン③と同じく 2030(平成 42)年までに市民希望出生率 1.73 に上昇するとする。

図表 48 各推計パターンの前提条件

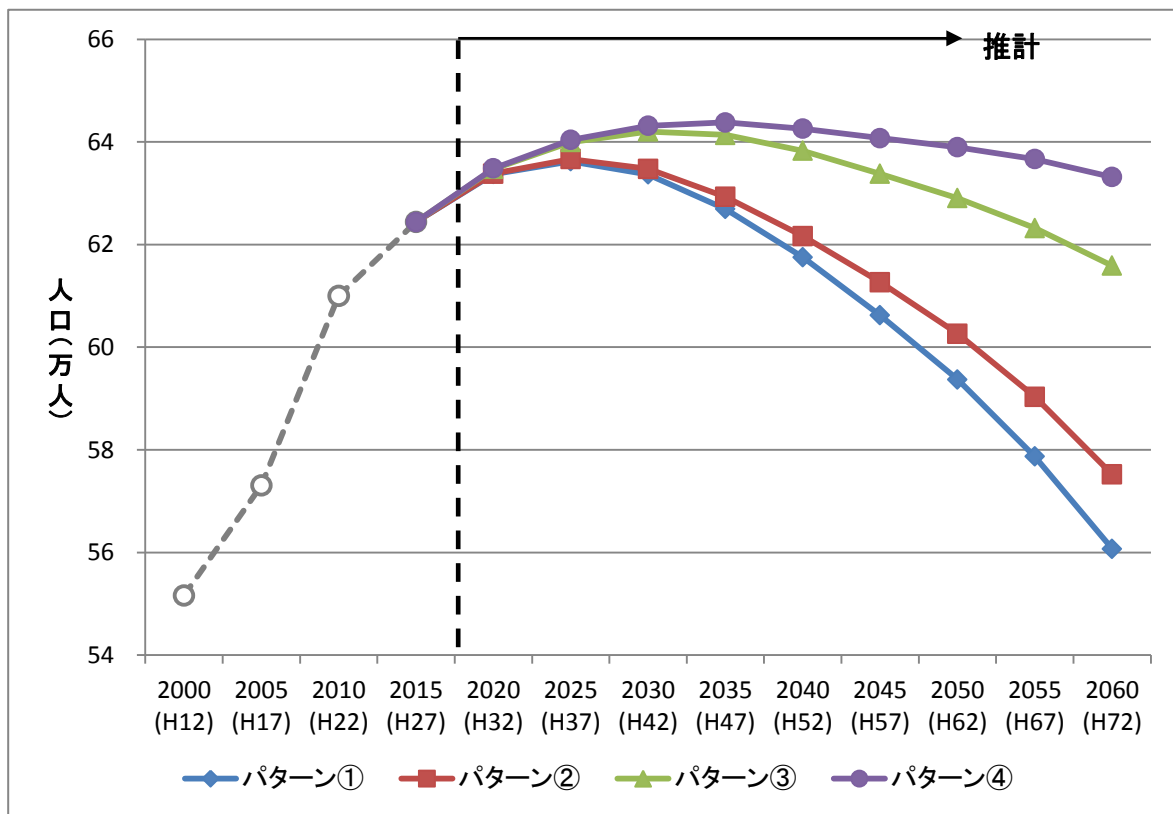
	人口移動率	合計特殊出生率
パターン①	直近 5 か年の平均純移動率が 20%程度収束	2013(平成 25)年実績 1.39 で一定
パターン②	直近 5 か年の平均純移動率が 10%程度収束	2013(平成 25)年実績 1.39 で一定
パターン③	直近 5 か年の平均純移動率が 20%程度収束	市民希望出生率 1.73 に上昇
パターン④	直近 5 か年の平均純移動率が 10%程度収束	市民希望出生率 1.73 に上昇

① 総人口の将来展望

合計特殊出生率が1.73、人口移動の収束率が10%程度になると、総人口のピークは2035(平成47)年の64.4万人となる。

最近の人口動向の傾向が今後も続く仮定のパターン①では、総人口のピークが2025(平成37)年の63.6万人となるが、人口移動率の収束が小さいパターン②では2025(平成37)年の63.7万人、合計特殊出生率が市民希望出生率に上昇するパターン③では2030(平成42)年の64.2万人、人口移動率の収束が小さく、合計特殊出生率が市民希望出生率に上昇するパターン④では、2035(平成47)年の64.4万人となる見込みである(図表49)。

図表 49 各パターンの総人口の推移



※ 2010(平成22)年以前の人口は、国勢調査による。2015(平成27)年は4月1日時点の住民基本台帳人口。

単位：万人	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
パターン①	62.4	63.4	63.6	63.4	62.7	61.8	60.6	59.4	57.9	56.1
パターン②	62.4	63.4	63.7	63.5	62.9	62.2	61.3	60.3	59.0	57.5
パターン③	62.4	63.5	64.0	64.2	64.1	63.8	63.4	62.9	62.3	61.6
パターン④	62.4	63.5	64.0	64.3	64.4	64.3	64.1	63.9	63.7	63.3

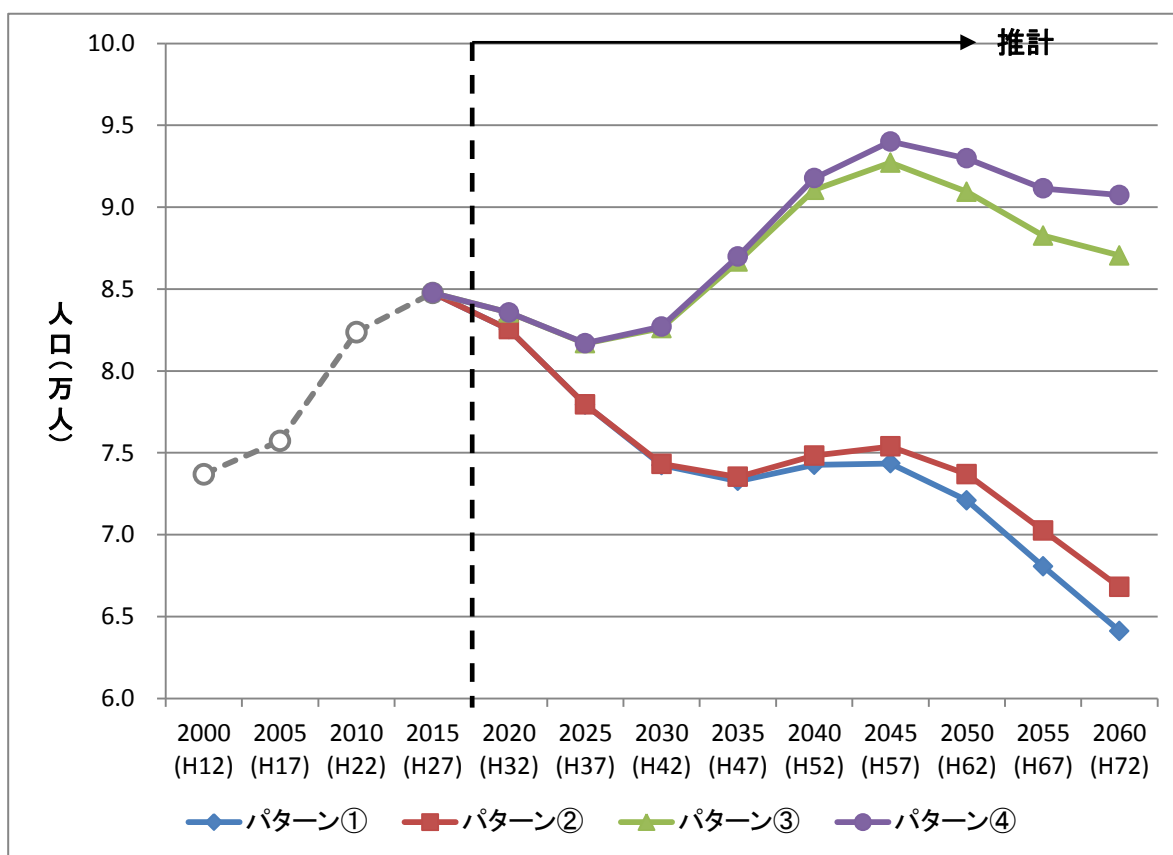
※ 黄色が各パターンのピーク人口。

② 年齢区分別人口の将来展望

合計特殊出生率が1.73、人口移動の収束率が10%程度になると、年少人口のピークは2045(平成57)年の9.4万人となる。

年少人口について各パターンを比較すると、パターン①②は減少傾向が続くのに対し、合計特殊出生率が上昇するパターン③④は2025(平成37)年より増加に転じ、2045(平成47)年にピークを迎え、パターン③は9.3万人、パターン④は9.4万人となる見込みである(図表50)。

図表 50 各パターンの年少人口(15歳未満)の推移



※ 2010(平成22)年以前の人口は、国勢調査による。2015(平成27)年は4月1日時点の住民基本台帳人口。

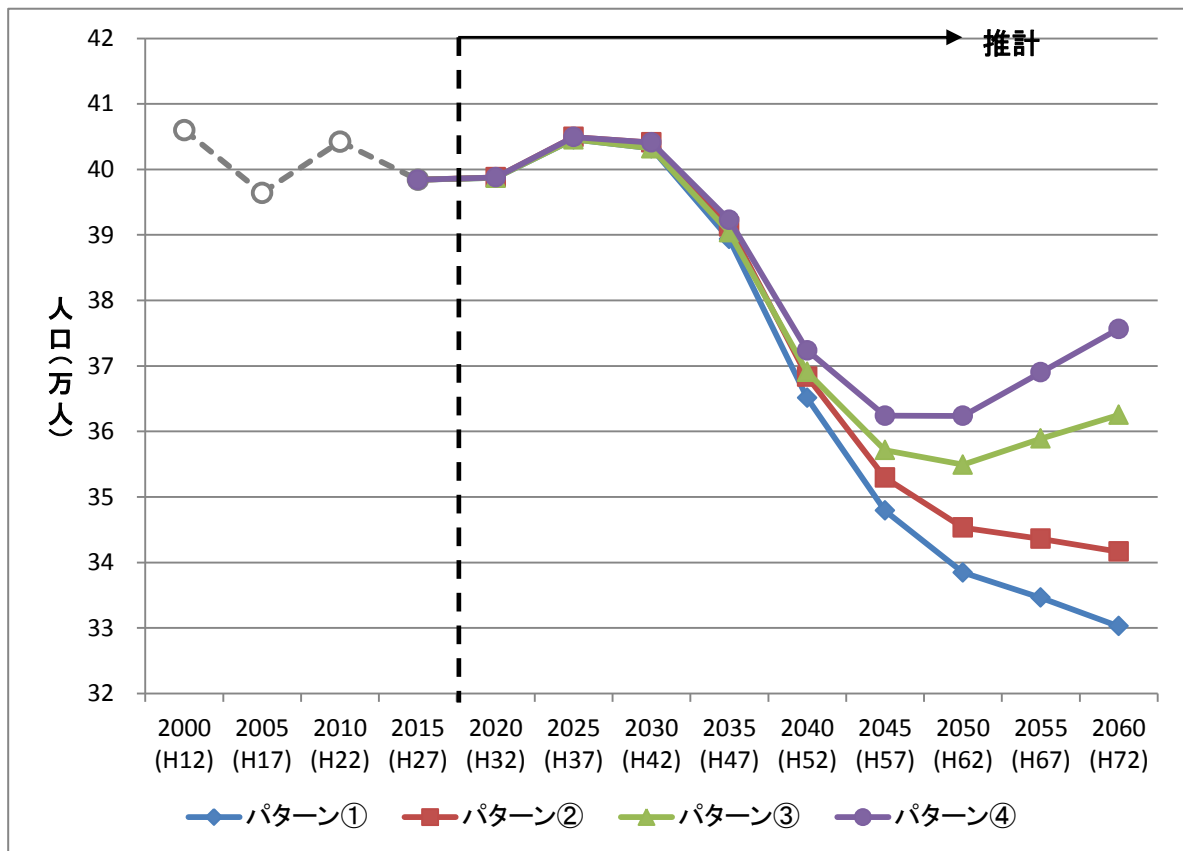
単位：万人	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
パターン①	8.5	8.3	7.8	7.4	7.3	7.4	7.4	7.2	6.8	6.4
パターン②	8.5	8.3	7.8	7.4	7.4	7.5	7.5	7.4	7.0	6.7
パターン③	8.5	8.4	8.2	8.3	8.7	9.1	9.3	9.1	8.8	8.7
パターン④	8.5	8.4	8.2	8.3	8.7	9.2	9.4	9.3	9.1	9.1

※ 黄色が各パターンのピーク人口。

生産年齢人口はいずれのパターンも、2025(平成 37)年の 40.5 万人をピークに、2045(平成 57)年頃まで減少を続けるが、合計特殊出生率が上昇するパターンではその後増加に転じる。

生産年齢人口について各パターンを比較すると、いずれも 2025(平成 37)年の 40.5 万人をピークに、その後は 2045(平成 57)年までは減少を続ける(図表 51)。パターン①②はその後も減少を続けるのに対し、パターン③④は増加に転じる。

図表 51 各パターンの生産年齢人口(15～64 歳)の推移



※ 2010(平成 22)年以前の人口は、国勢調査による。2015(平成 27)年は 4 月 1 日時点の住民基本台帳人口。

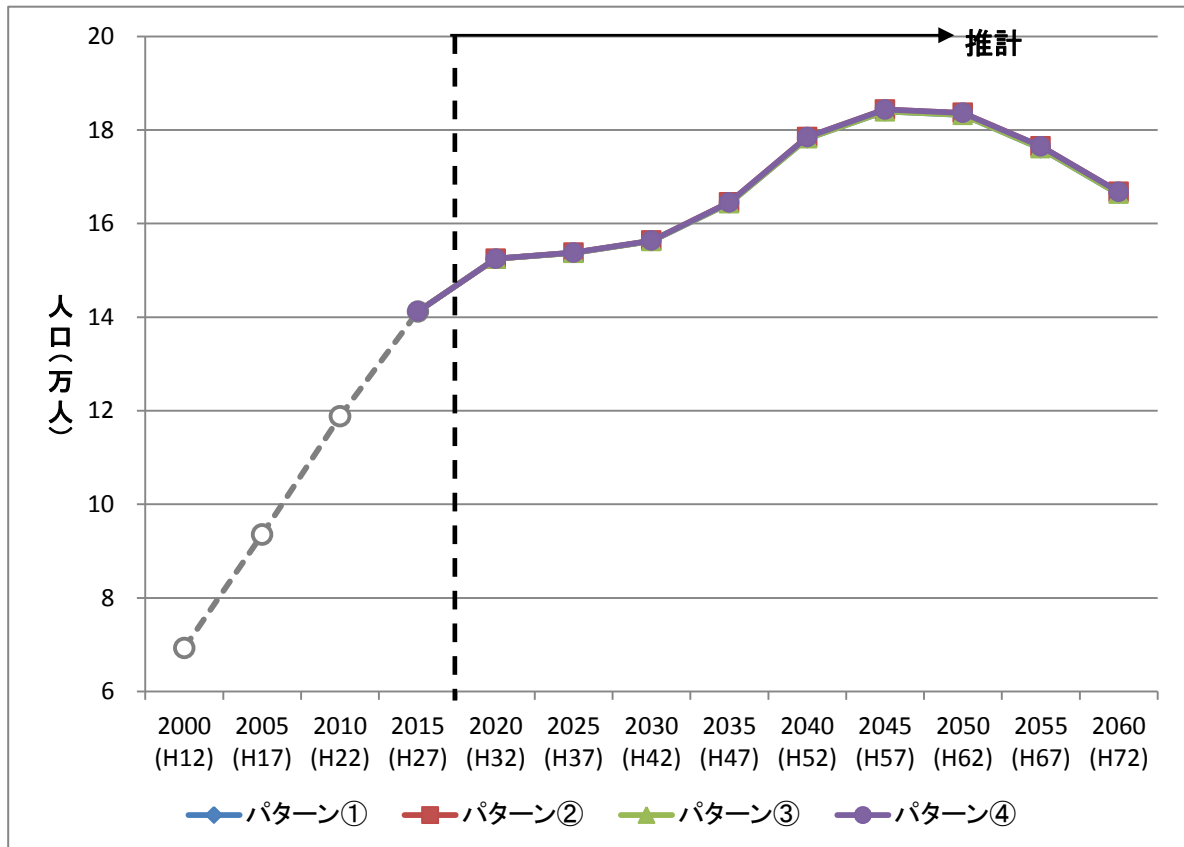
単位：万人	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
パターン①	39.8	39.9	40.5	40.3	38.9	36.5	34.8	33.8	33.5	33.0
パターン②	39.8	39.9	40.5	40.4	39.1	36.8	35.3	34.5	34.4	34.2
パターン③	39.8	39.9	40.5	40.3	39.0	36.9	35.7	35.5	35.9	36.3
パターン④	39.8	39.9	40.5	40.4	39.2	37.2	36.2	36.2	36.9	37.6

※ 黄色が各パターンのピーク人口。

老年人口は、いずれのパターンともほとんど差が出ず、2045(平成 57) 年の 18.4 万人がピークとなる。

老年人口について各パターンを比較すると、いずれもほとんど差が出ず、2045(平成 57) 年の 18.4 万人がピークとなる(図表 52)。

図表 52 各パターンの老年人口(65 歳以上)の推移



※ 2010(平成 22)年以前の人口は、国勢調査による。2015(平成 27)年は 4 月 1 日時点の住民基本台帳人口。

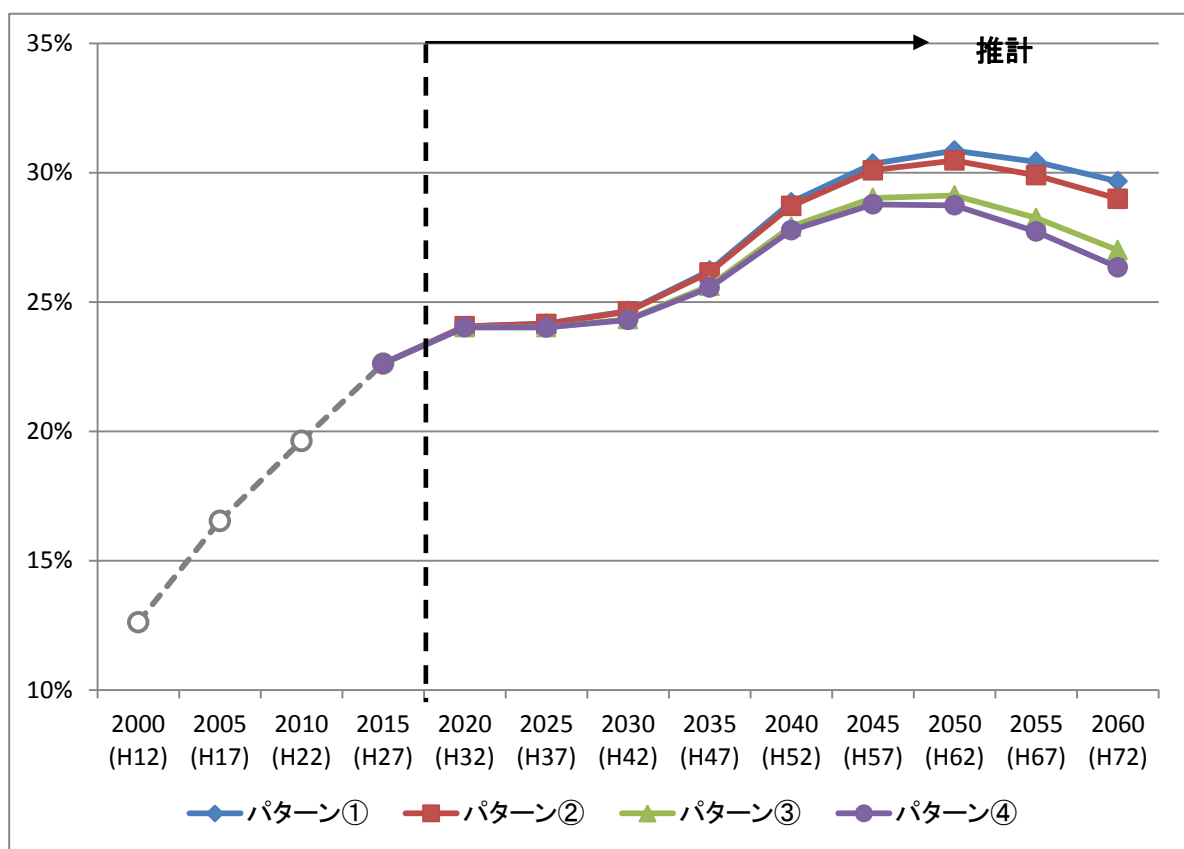
単位：万人	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
パターン①	14.1	15.2	15.4	15.6	16.4	17.8	18.4	18.3	17.6	16.6
パターン②	14.1	15.2	15.4	15.6	16.5	17.8	18.4	18.4	17.6	16.7
パターン③	14.1	15.2	15.4	15.6	16.4	17.8	18.4	18.3	17.6	16.6
パターン④	14.1	15.2	15.4	15.6	16.5	17.8	18.4	18.4	17.6	16.7

※ 黄色が各パターンのピーク人口

老年人口数は各パターンともほとんど差が無いが、年少人口及び生産年齢人口が増えるパターンでは、相対的に高齢化率が低くなる。

高齢化率について各パターンを比較すると、パターン①は 2050(平成 62)年の 30.9%がピークとなるが、パターン②は 2050(平成 62)年の 30.5%、パターン③は 2050(平成 62)年の 29.1%、パターン④は 2045(平成 57)年の 28.8%がピークとなる(図表 53)。老年人口は各パターンともほとんど差が無かったが、年少人口及び生産年齢人口が増えるパターン③④は、相対的に高齢化率が低くなる。

図表 53 各パターンの高齢化率の推移

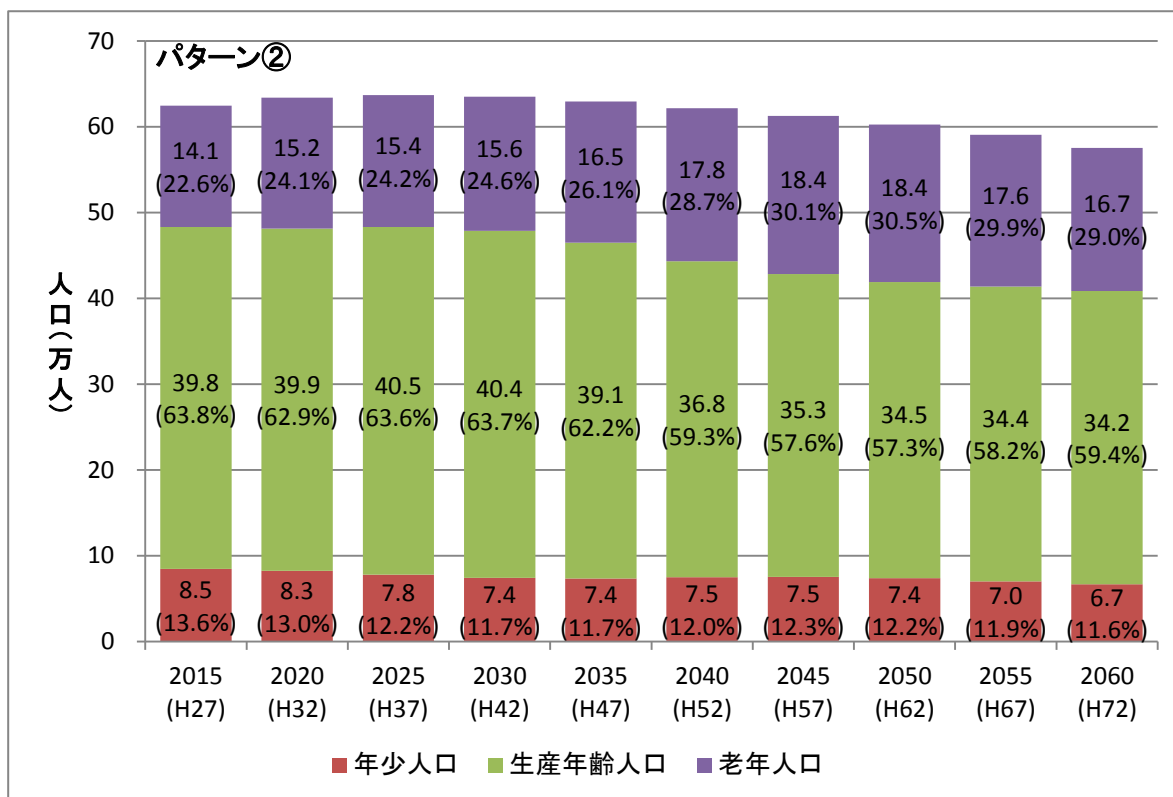
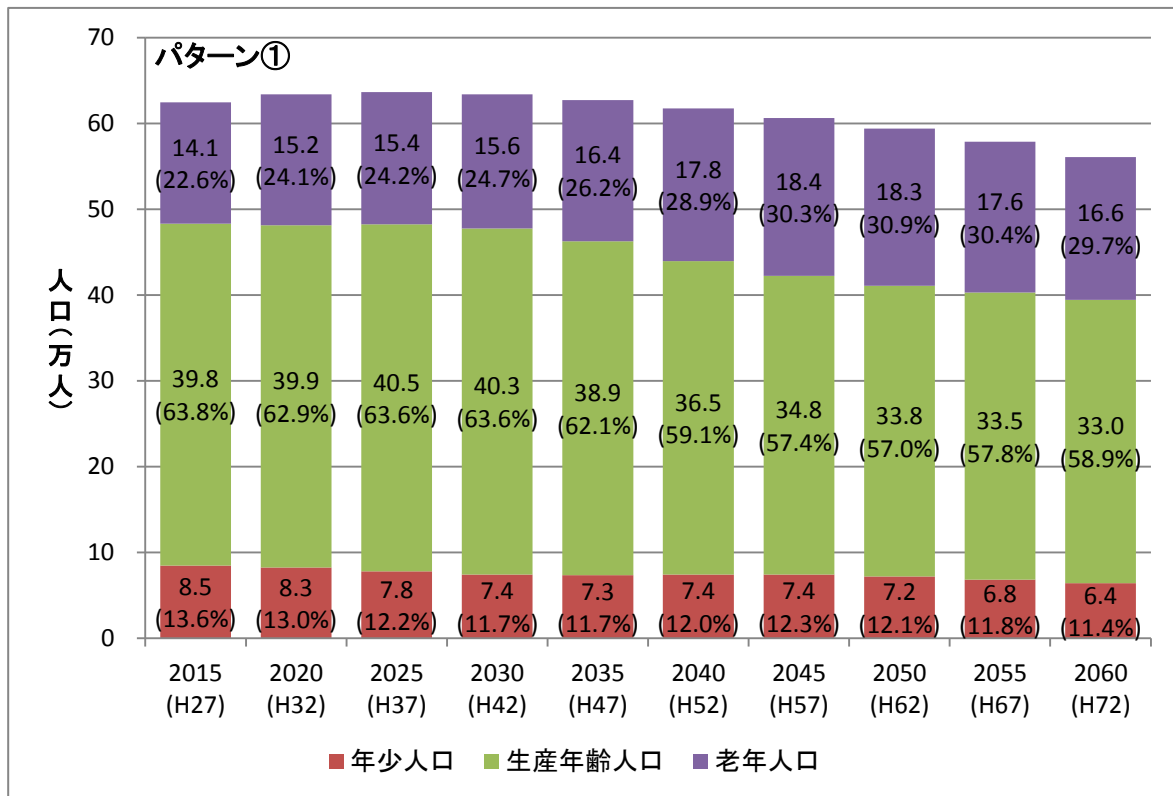


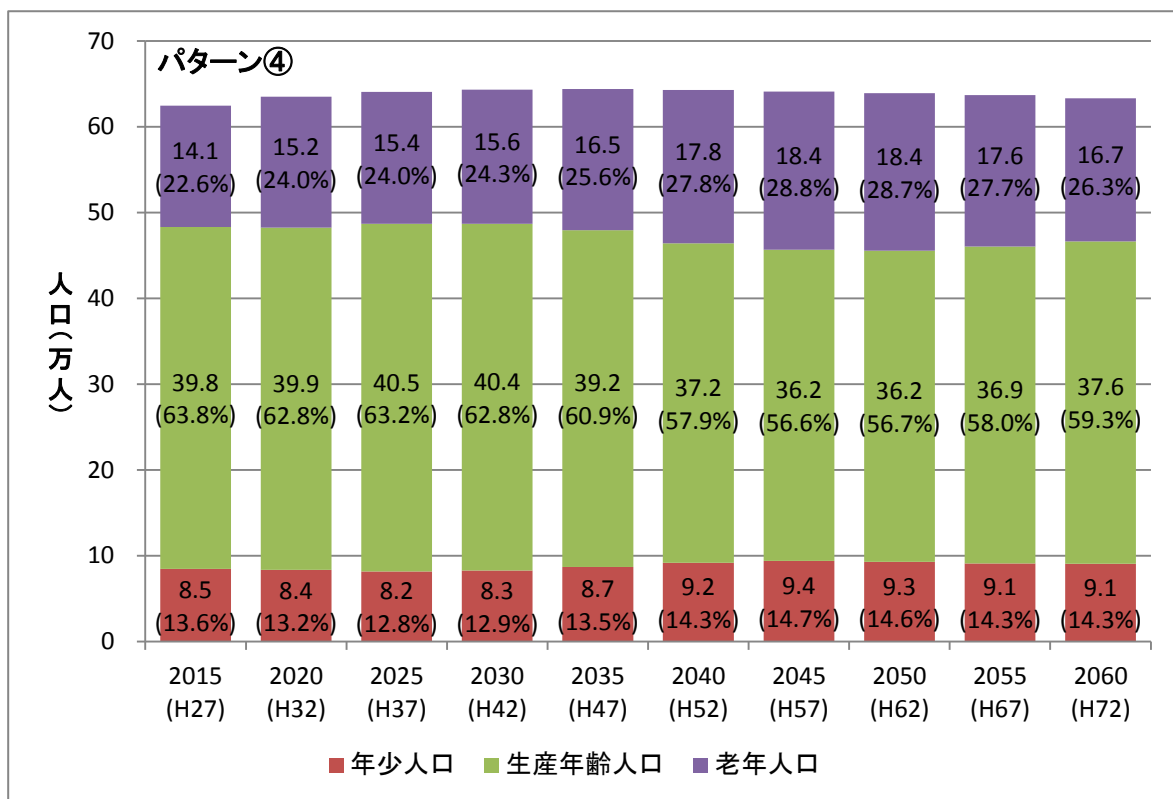
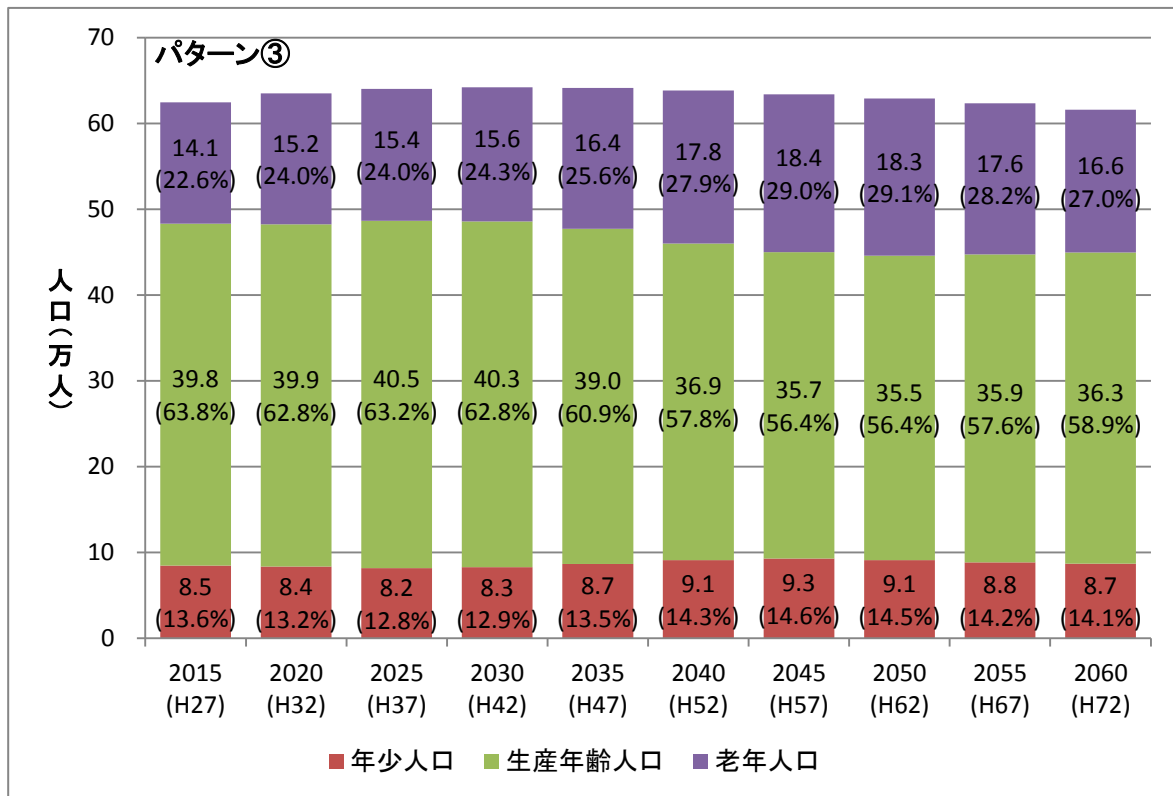
※ 2010(平成 22)年以前の人口は、国勢調査より算出。2015(平成 27)年は 4 月 1 日時点の住民基本台帳人口より算出。

単位：%	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
パターン①	22.6	24.1	24.2	24.7	26.2	28.9	30.3	30.9	30.4	29.7
パターン②	22.6	24.1	24.2	24.6	26.1	28.7	30.1	30.5	29.9	29.0
パターン③	22.6	24.0	24.0	24.3	25.6	27.9	29.0	29.1	28.2	27.0
パターン④	22.6	24.0	24.0	24.3	25.6	27.8	28.8	28.7	27.7	26.3

※ 黄色が各パターンのピークの高齢化率。

図表 54 各パターンの年齢 3 区分別人口の推移





※ カッコ内は各年齢区分の総人口に占める構成比。

※ 2015(平成 27)年は、4月1日時点の住民基本台帳人口。

4 参考資料（将来人口推計結果）

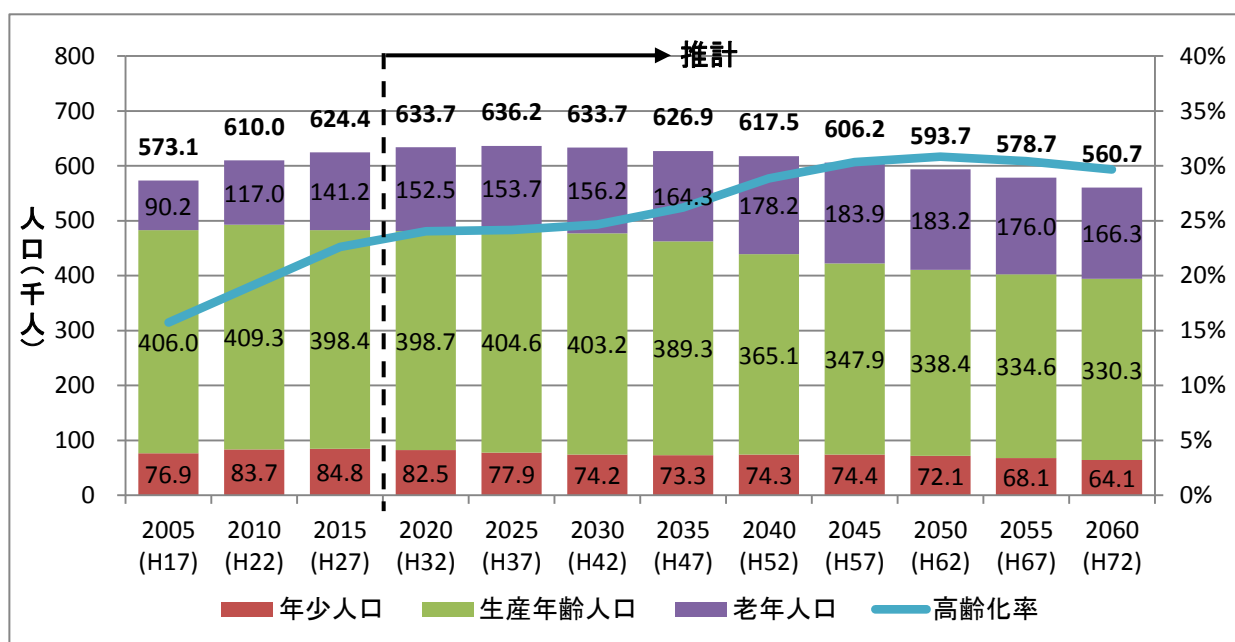
○ 市全体.....	49
○ 宮本.....	50
○ 湊町.....	51
○ 本町.....	52
○ 海神.....	53
○ 葛飾.....	54
○ 中山.....	55
○ 塚田.....	56
○ 法典.....	57
○ 前原.....	58
○ 二宮・飯山満.....	59
○ 薬円台.....	60
○ 三山・田喜野井.....	61
○ 習志野台.....	62
○ 夏見.....	63
○ 高根・金杉.....	64
○ 高根台.....	65
○ 新高根・芝山.....	66
○ 二和.....	67
○ 三咲.....	68
○ 八木が谷.....	69
○ 松が丘.....	70
○ 大穴.....	71
○ 豊富.....	72
○ 坪井.....	73

○ 市全体

単位：千人

年齢	実績			推計								
	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
0-4 歳	27.5	29.1	28.1	26.1	24.3	24.4	25.1	25.3	24.4	22.8	21.2	20.5
5-9 歳	25.9	27.9	28.6	27.8	25.8	24.0	24.1	24.8	25.0	24.2	22.6	21.0
10-14 歳	23.6	26.6	28.1	28.7	27.9	25.9	24.1	24.2	24.9	25.1	24.3	22.6
15-19 歳	25.4	25.0	27.6	29.0	29.6	28.7	26.6	24.7	24.7	25.4	25.6	24.8
20-24 歳	35.7	32.4	31.5	34.1	35.6	36.0	34.5	31.4	28.6	28.6	29.5	29.7
25-29 歳	46.7	42.7	36.8	36.5	39.2	40.6	40.7	38.5	34.6	31.6	31.6	32.6
30-34 歳	56.8	50.9	42.5	36.5	36.3	39.0	40.4	40.5	38.3	34.4	31.4	31.5
35-39 歳	48.9	58.7	49.5	41.6	35.8	35.6	38.3	39.7	39.9	37.7	33.9	30.9
40-44 歳	37.9	49.5	57.5	48.5	40.8	35.1	34.9	37.6	39.1	39.3	37.1	33.4
45-49 歳	31.5	38.6	48.8	56.7	47.8	40.2	34.7	34.5	37.2	38.6	38.8	36.7
50-54 歳	36.6	31.9	38.2	48.2	56.1	47.3	39.8	34.3	34.1	36.8	38.2	38.4
55-59 歳	44.7	36.1	31.2	37.4	47.3	54.9	46.3	39.0	33.6	33.4	36.0	37.4
60-64 歳	41.8	43.5	34.9	30.2	36.2	45.7	53.2	44.9	37.8	32.6	32.4	34.9
65-69 歳	33.7	40.1	41.7	33.4	28.9	34.6	43.8	50.9	43.0	36.2	31.2	31.0
70-74 歳	24.7	31.8	37.8	39.4	31.5	27.2	32.6	41.2	47.9	40.4	34.1	29.3
75-79 歳	15.4	22.2	28.8	34.6	36.0	28.7	24.8	29.7	37.5	43.6	36.8	31.0
80-84 歳	8.9	12.8	18.7	24.8	29.8	31.2	24.6	21.3	25.5	32.1	37.3	31.5
85 歳以上	7.4	10.1	14.1	20.3	27.6	34.5	38.5	35.1	30.1	30.8	36.7	43.5
合計	573.1	610.0	624.4	633.7	636.2	633.7	626.9	617.5	606.2	593.7	578.7	560.7

0-5 歳	32.9	34.8	33.9	31.5	29.3	29.2	30.0	30.3	29.4	27.5	25.6	24.6
6-11 歳	30.3	33.3	33.9	34.0	31.6	29.2	28.7	29.5	30.1	29.5	27.7	25.7
12-14 歳	13.7	15.7	16.9	17.1	17.0	15.9	14.6	14.5	14.9	15.1	14.8	13.8
65-74 歳	58.4	71.9	79.5	72.8	60.4	61.8	76.4	92.1	90.9	76.6	65.3	60.4
75 歳以上	31.8	45.1	61.7	79.7	93.3	94.4	87.9	86.1	93.1	106.5	110.8	105.9



※ 実績は、各年4月1日時点の住民基本台帳人口。

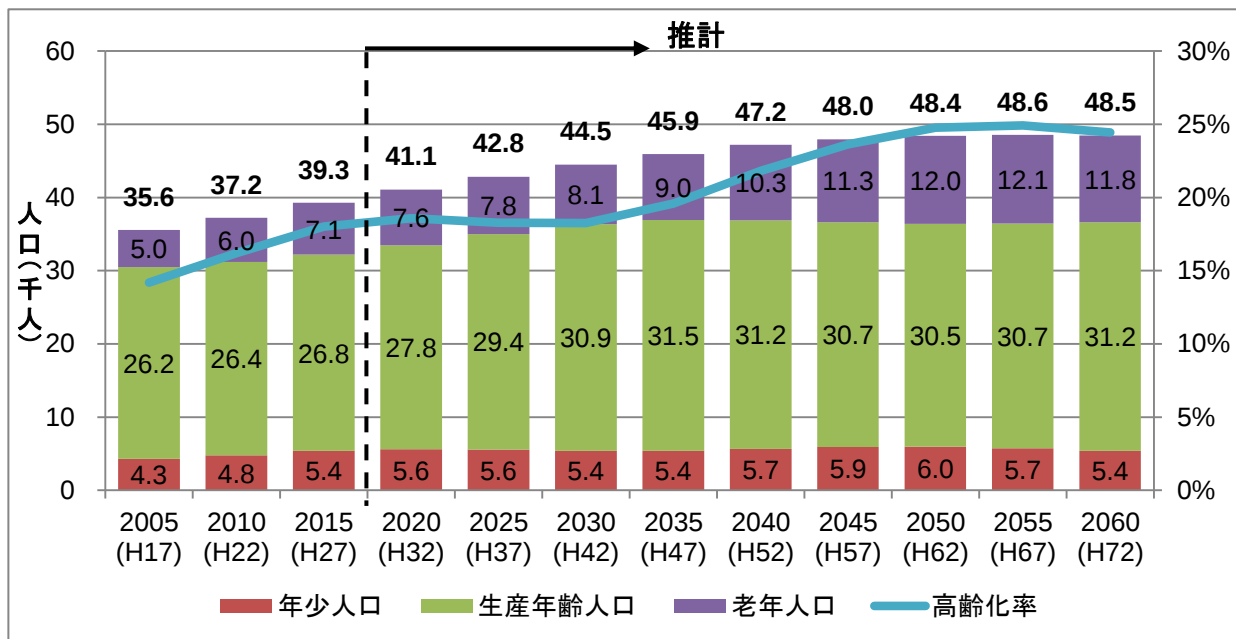
※ グラフ上部の数字は、各年における総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

○ 宮本

単位：千人

年齢	実績			推計								
	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
0-4 歳	1.8	1.9	2.1	2.0	1.8	1.9	2.0	2.1	2.1	2.0	1.8	1.8
5-9 歳	1.3	1.5	1.7	1.9	1.8	1.7	1.7	1.9	2.0	2.0	1.9	1.8
10-14 歳	1.2	1.4	1.5	1.7	1.9	1.8	1.7	1.7	1.8	2.0	2.0	1.9
15-19 歳	1.3	1.3	1.5	1.7	1.9	2.0	1.9	1.8	1.8	1.9	2.1	2.1
20-24 歳	2.4	2.2	2.1	2.4	2.7	2.9	3.1	2.9	2.5	2.5	2.7	2.8
25-29 歳	3.9	3.5	3.1	2.9	3.4	3.7	3.9	4.0	3.6	3.2	3.1	3.3
30-34 歳	4.3	3.9	3.5	3.1	2.9	3.3	3.7	3.8	4.0	3.5	3.1	3.1
35-39 歳	3.2	3.9	3.7	3.4	3.0	2.8	3.2	3.5	3.7	3.8	3.4	3.0
40-44 歳	2.3	3.1	3.7	3.5	3.3	2.9	2.7	3.1	3.5	3.6	3.8	3.3
45-49 歳	2.0	2.2	3.1	3.7	3.5	3.2	2.8	2.7	3.1	3.4	3.6	3.7
50-54 歳	2.2	2.0	2.2	3.1	3.7	3.5	3.2	2.8	2.7	3.1	3.4	3.6
55-59 歳	2.5	2.1	1.9	2.2	3.0	3.6	3.4	3.1	2.8	2.7	3.0	3.3
60-64 歳	2.0	2.3	2.0	1.8	2.1	2.9	3.5	3.3	3.0	2.7	2.6	2.9
65-69 歳	1.6	1.9	2.2	1.9	1.7	2.0	2.7	3.3	3.1	2.9	2.5	2.4
70-74 歳	1.3	1.5	1.8	2.0	1.7	1.6	1.8	2.5	3.0	2.9	2.7	2.3
75-79 歳	1.0	1.1	1.3	1.6	1.8	1.6	1.4	1.6	2.3	2.7	2.6	2.4
80-84 歳	0.6	0.8	0.9	1.1	1.3	1.5	1.3	1.2	1.4	1.9	2.3	2.2
85 歳以上	0.5	0.7	0.9	1.0	1.2	1.5	1.7	1.7	1.5	1.6	2.0	2.5
合計	35.6	37.2	39.3	41.1	42.8	44.5	45.9	47.2	48.0	48.4	48.6	48.5

0-5 歳	2.1	2.2	2.5	2.4	2.2	2.2	2.3	2.5	2.5	2.4	2.2	2.1
6-11 歳	1.5	1.8	2.0	2.2	2.3	2.1	2.1	2.2	2.3	2.4	2.3	2.1
12-14 歳	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.1	1.0	1.0	1.1	1.2	1.2	1.2
65-74 歳	2.9	3.4	4.0	3.9	3.5	3.6	4.6	5.8	6.2	5.8	5.2	4.8
75 歳以上	2.1	2.6	3.1	3.7	4.4	4.6	4.4	4.5	5.2	6.2	6.9	7.1



※ 実績は、各年4月1日時点の住民基本台帳人口。

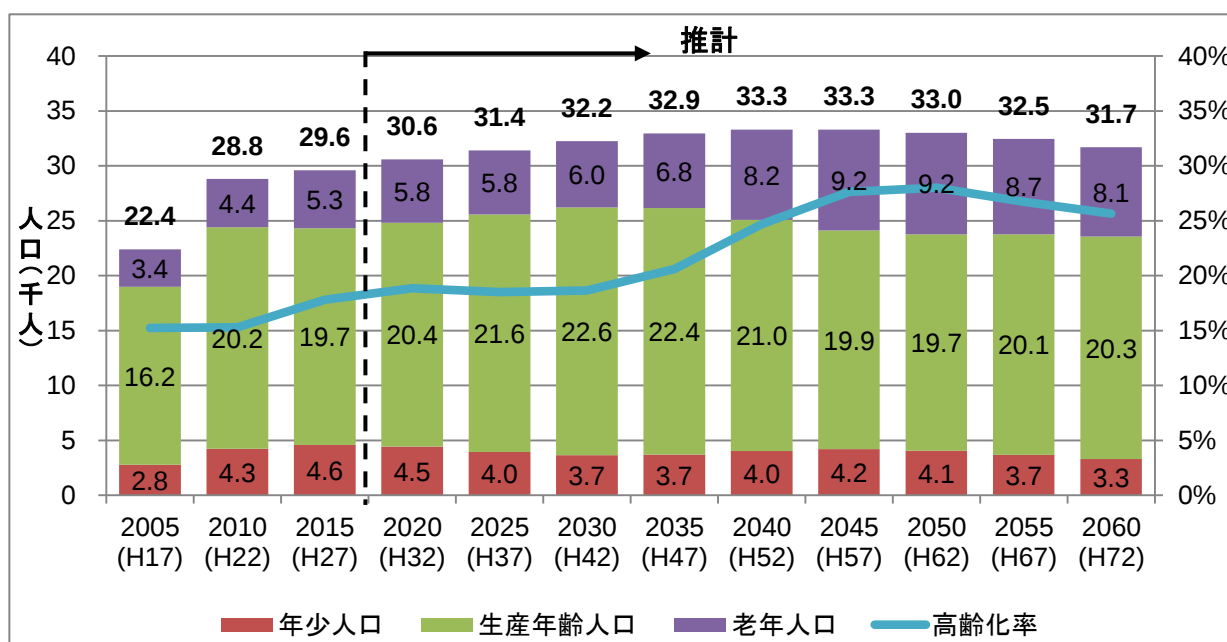
※ グラフ上部の数字は、各年における当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

○ 湊町

単位：千人

年齢	実績			推計								
	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
0-4 歳	1.1	1.8	1.6	1.4	1.2	1.3	1.4	1.5	1.4	1.3	1.1	1.1
5-9 歳	0.9	1.4	1.6	1.5	1.3	1.1	1.2	1.4	1.5	1.4	1.2	1.1
10-14 歳	0.7	1.0	1.4	1.6	1.5	1.2	1.1	1.2	1.3	1.4	1.4	1.2
15-19 歳	0.9	0.9	1.2	1.4	1.7	1.6	1.3	1.2	1.2	1.4	1.5	1.4
20-24 歳	1.5	1.4	1.5	1.8	2.1	2.4	2.2	1.8	1.5	1.6	1.8	1.9
25-29 歳	1.8	2.3	1.6	1.9	2.2	2.6	2.9	2.6	2.1	1.8	1.8	2.0
30-34 歳	2.5	3.2	2.1	1.6	1.9	2.1	2.6	2.9	2.5	2.0	1.7	1.8
35-39 歳	2.1	3.5	3.0	2.1	1.6	1.9	2.1	2.6	2.8	2.5	2.0	1.7
40-44 歳	1.4	2.5	3.3	2.9	2.0	1.5	1.8	2.0	2.5	2.8	2.4	1.9
45-49 歳	1.2	1.7	2.4	3.3	2.9	2.0	1.5	1.8	2.0	2.5	2.7	2.4
50-54 歳	1.5	1.3	1.7	2.4	3.3	2.8	2.0	1.5	1.8	2.0	2.4	2.7
55-59 歳	1.7	1.6	1.3	1.7	2.4	3.2	2.8	2.0	1.5	1.7	2.0	2.4
60-64 歳	1.7	1.8	1.6	1.3	1.6	2.3	3.1	2.7	1.9	1.5	1.7	1.9
65-69 歳	1.3	1.6	1.6	1.5	1.2	1.5	2.2	3.0	2.6	1.8	1.4	1.6
70-74 歳	0.9	1.2	1.5	1.5	1.3	1.1	1.4	2.0	2.7	2.4	1.7	1.3
75-79 歳	0.6	0.8	1.0	1.3	1.3	1.2	1.0	1.3	1.8	2.4	2.1	1.5
80-84 歳	0.4	0.5	0.6	0.8	1.1	1.1	1.0	0.8	1.0	1.5	2.0	1.8
85 歳以上	0.3	0.4	0.5	0.6	0.8	1.1	1.2	1.2	1.0	1.1	1.5	2.0
合計	22.4	28.8	29.6	30.6	31.4	32.2	32.9	33.3	33.3	33.0	32.5	31.7

0-5 歳	1.4	2.1	2.0	1.7	1.4	1.5	1.7	1.8	1.7	1.5	1.3	1.3
6-11 歳	1.0	1.6	1.9	1.9	1.6	1.4	1.4	1.6	1.7	1.7	1.5	1.3
12-14 歳	0.4	0.6	0.8	0.9	0.9	0.8	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.7
65-74 歳	2.2	2.8	3.1	3.0	2.6	2.6	3.6	5.0	5.3	4.2	3.0	2.9
75 歳以上	1.2	1.6	2.2	2.8	3.3	3.4	3.2	3.2	3.9	5.1	5.6	5.3



※ 実績は、各年4月1日時点の住民基本台帳人口。

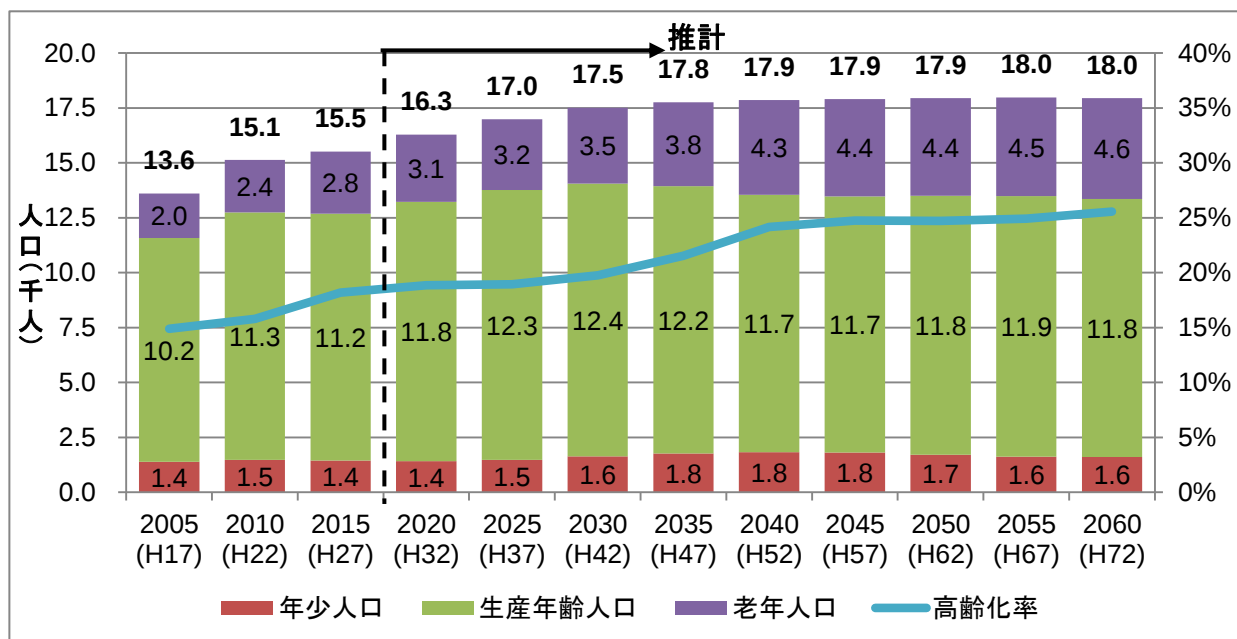
※ グラフ上部の数字は、各年における当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

○ 本町

単位：千人

年齢	実績			推計								
	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
0-4 歳	0.6	0.5	0.5	0.6	0.6	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6
5-9 歳	0.4	0.5	0.4	0.4	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5
10-14 歳	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5
15-19 歳	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6
20-24 歳	1.0	1.0	1.1	1.1	1.2	1.0	0.9	0.9	1.0	1.0	1.1	1.1
25-29 歳	1.4	1.6	1.6	1.8	1.8	2.0	1.6	1.4	1.4	1.4	1.5	1.6
30-34 歳	1.6	1.5	1.3	1.5	1.6	1.6	1.8	1.5	1.3	1.3	1.3	1.4
35-39 歳	1.4	1.7	1.2	1.1	1.3	1.4	1.4	1.6	1.3	1.1	1.1	1.1
40-44 歳	1.1	1.4	1.6	1.2	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.3	1.1	1.1
45-49 歳	0.8	1.1	1.3	1.5	1.1	1.0	1.2	1.3	1.3	1.5	1.2	1.1
50-54 歳	0.8	0.9	1.0	1.3	1.5	1.1	1.0	1.1	1.3	1.3	1.4	1.2
55-59 歳	0.9	0.8	0.8	1.0	1.2	1.4	1.0	1.0	1.1	1.2	1.2	1.4
60-64 歳	0.8	0.9	0.8	0.7	0.9	1.1	1.3	1.0	0.9	1.0	1.2	1.2
65-69 歳	0.6	0.7	0.8	0.7	0.7	0.9	1.1	1.3	0.9	0.9	1.0	1.1
70-74 歳	0.6	0.6	0.7	0.8	0.7	0.7	0.8	1.0	1.2	0.9	0.8	0.9
75-79 歳	0.4	0.5	0.5	0.7	0.7	0.6	0.6	0.8	1.0	1.1	0.8	0.7
80-84 歳	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.6	0.5	0.5	0.7	0.8	0.9	0.7
85 歳以上	0.2	0.3	0.3	0.5	0.6	0.7	0.8	0.7	0.7	0.8	0.9	1.1
合計	13.6	15.1	15.5	16.3	17.0	17.5	17.8	17.9	17.9	17.9	18.0	18.0

0-5 歳	0.7	0.7	0.6	0.6	0.7	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7
6-11 歳	0.5	0.6	0.6	0.5	0.5	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6
12-14 歳	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3
65-74 歳	1.2	1.3	1.5	1.5	1.4	1.6	1.9	2.3	2.1	1.7	1.8	2.0
75 歳以上	0.8	1.1	1.3	1.6	1.8	1.9	1.9	2.0	2.3	2.7	2.7	2.6



※ 実績は、各年4月1日時点の住民基本台帳人口。

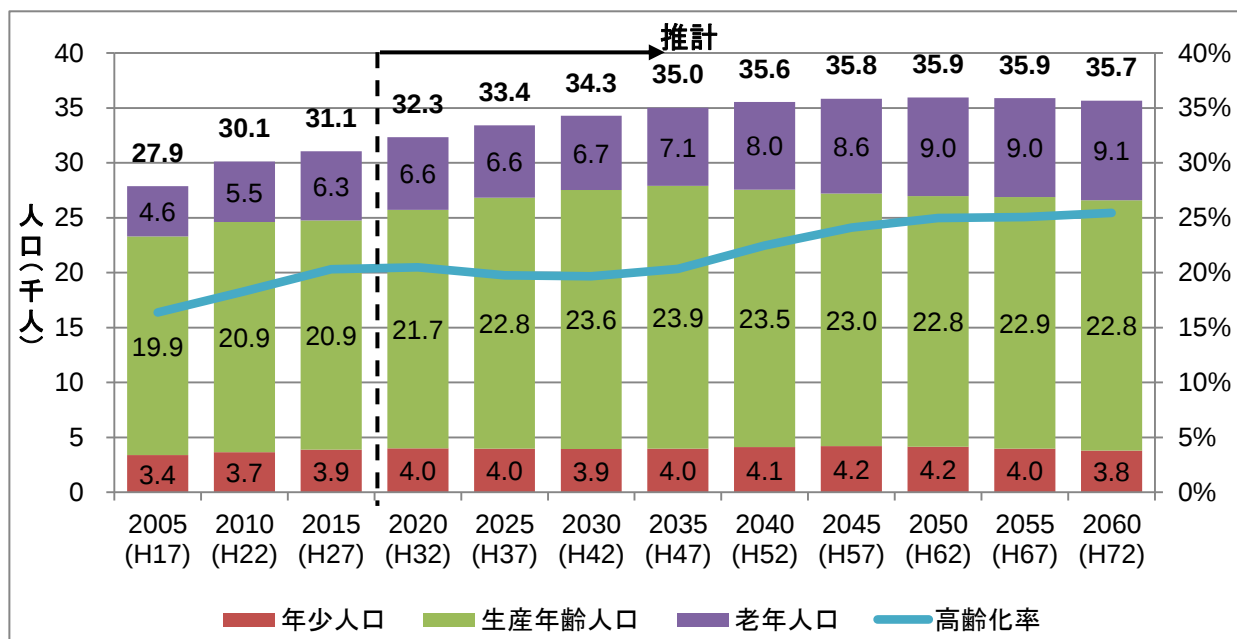
※ グラフ上部の数字は、各年における当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

○ 海神

単位：千人

年齢	実績			推計								
	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
0-4 歳	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5	1.5	1.4	1.3	1.3
5-9 歳	1.1	1.2	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	1.3	1.2
10-14 歳	1.0	1.1	1.2	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	1.3
15-19 歳	1.1	1.1	1.2	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5	1.5
20-24 歳	1.9	1.8	1.9	2.0	2.1	2.2	2.2	2.1	1.9	1.9	2.0	2.1
25-29 歳	2.6	2.6	2.3	2.6	2.6	2.8	2.8	2.8	2.5	2.3	2.3	2.4
30-34 歳	3.1	2.9	2.5	2.2	2.5	2.6	2.7	2.7	2.7	2.5	2.2	2.2
35-39 歳	2.4	3.0	2.7	2.4	2.2	2.4	2.5	2.6	2.7	2.6	2.4	2.2
40-44 歳	1.9	2.4	2.9	2.7	2.4	2.2	2.4	2.5	2.6	2.7	2.6	2.4
45-49 歳	1.5	1.9	2.3	2.9	2.7	2.4	2.1	2.4	2.5	2.6	2.6	2.6
50-54 歳	1.7	1.6	1.9	2.3	2.9	2.7	2.4	2.1	2.4	2.5	2.6	2.6
55-59 歳	2.0	1.8	1.5	1.9	2.2	2.8	2.6	2.3	2.1	2.3	2.4	2.5
60-64 歳	1.8	2.0	1.6	1.4	1.8	2.1	2.7	2.5	2.2	2.0	2.2	2.3
65-69 歳	1.4	1.8	1.8	1.5	1.3	1.6	2.0	2.5	2.3	2.1	1.9	2.1
70-74 歳	1.2	1.3	1.6	1.7	1.4	1.2	1.5	1.8	2.3	2.2	1.9	1.7
75-79 歳	0.9	1.0	1.2	1.5	1.5	1.2	1.1	1.3	1.6	2.1	1.9	1.7
80-84 歳	0.6	0.7	0.9	1.0	1.2	1.3	1.0	0.9	1.1	1.4	1.8	1.6
85 歳以上	0.5	0.6	0.8	1.0	1.1	1.4	1.5	1.4	1.2	1.3	1.5	1.9
合計	27.9	30.1	31.1	32.3	33.4	34.3	35.0	35.6	35.8	35.9	35.9	35.7

0-5 歳	1.6	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.7	1.8	1.7	1.6	1.6	1.5
6-11 歳	1.2	1.4	1.4	1.6	1.6	1.5	1.5	1.6	1.7	1.7	1.6	1.5
12-14 歳	0.6	0.6	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
65-74 歳	2.6	3.1	3.5	3.2	2.7	2.9	3.5	4.3	4.6	4.2	3.8	3.8
75 歳以上	2.0	2.4	2.8	3.4	3.9	3.9	3.6	3.7	4.0	4.8	5.2	5.3



※ 実績は、各年 4 月 1 日時点の住民基本台帳人口。

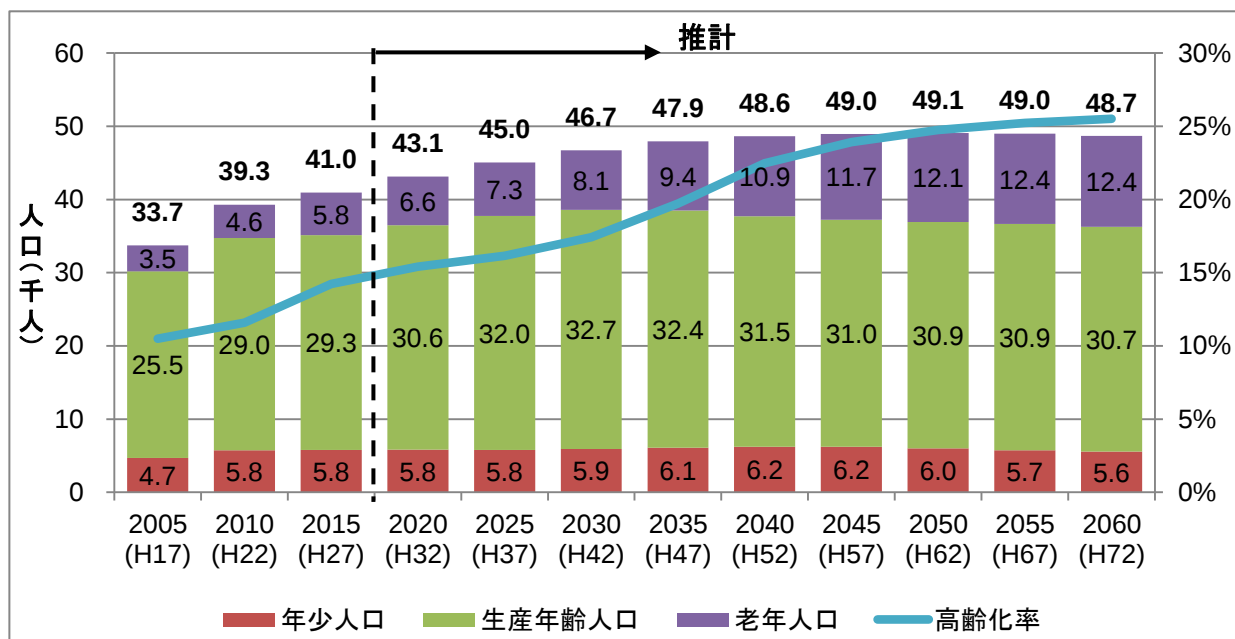
※ グラフ上部の数字は、各年における当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

○ 葛飾

単位：千人

年齢	実績			推計								
	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
0-4 歳	1.8	2.2	2.0	2.1	2.1	2.1	2.2	2.2	2.1	2.0	1.9	1.9
5-9 歳	1.5	1.9	1.9	1.8	1.9	1.9	2.0	2.1	2.1	2.0	1.9	1.8
10-14 歳	1.4	1.7	1.8	2.0	1.8	1.9	1.9	2.0	2.1	2.1	2.0	1.9
15-19 歳	1.4	1.6	1.8	1.9	2.0	1.8	1.9	1.9	2.0	2.1	2.1	2.0
20-24 歳	2.5	2.6	2.6	2.8	2.9	3.1	2.7	2.7	2.6	2.7	2.8	2.8
25-29 歳	3.6	3.9	3.7	3.8	4.1	4.2	4.2	3.6	3.5	3.4	3.5	3.6
30-34 歳	4.1	4.1	3.6	3.5	3.7	3.9	4.0	4.0	3.5	3.4	3.2	3.3
35-39 歳	3.5	4.4	3.7	3.3	3.3	3.4	3.6	3.7	3.8	3.2	3.2	3.0
40-44 歳	2.6	3.7	4.1	3.5	3.2	3.1	3.2	3.5	3.6	3.6	3.1	3.0
45-49 歳	2.0	2.6	3.5	4.0	3.4	3.1	3.0	3.1	3.4	3.5	3.6	3.1
50-54 歳	2.0	2.1	2.6	3.4	3.9	3.3	3.0	3.0	3.1	3.4	3.4	3.5
55-59 歳	2.2	1.9	2.0	2.5	3.3	3.8	3.2	2.9	2.9	3.0	3.2	3.3
60-64 歳	1.7	2.1	1.8	1.8	2.3	3.1	3.5	3.0	2.7	2.7	2.8	3.0
65-69 歳	1.2	1.6	1.9	1.6	1.7	2.1	2.8	3.3	2.8	2.6	2.5	2.6
70-74 歳	0.9	1.1	1.5	1.8	1.5	1.6	2.0	2.7	3.1	2.6	2.4	2.4
75-79 歳	0.7	0.8	1.0	1.4	1.6	1.4	1.5	1.8	2.4	2.8	2.4	2.2
80-84 歳	0.4	0.6	0.7	0.9	1.2	1.5	1.3	1.3	1.6	2.1	2.5	2.1
85 歳以上	0.4	0.5	0.7	1.0	1.2	1.5	1.9	1.9	1.8	2.0	2.6	3.1
合計	33.7	39.3	41.0	43.1	45.0	46.7	47.9	48.6	49.0	49.1	49.0	48.7

0-5 歳	2.1	2.6	2.4	2.5	2.4	2.5	2.6	2.6	2.5	2.4	2.3	2.3
6-11 歳	1.8	2.2	2.3	2.2	2.2	2.3	2.3	2.4	2.5	2.4	2.3	2.2
12-14 歳	0.8	1.0	1.1	1.2	1.1	1.2	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	1.1
65-74 歳	2.1	2.7	3.4	3.4	3.2	3.7	4.8	5.9	5.9	5.2	4.9	5.0
75 歳以上	1.4	1.9	2.5	3.2	4.0	4.4	4.6	5.0	5.8	7.0	7.4	7.4



※ 実績は、各年 4 月 1 日時点の住民基本台帳人口。

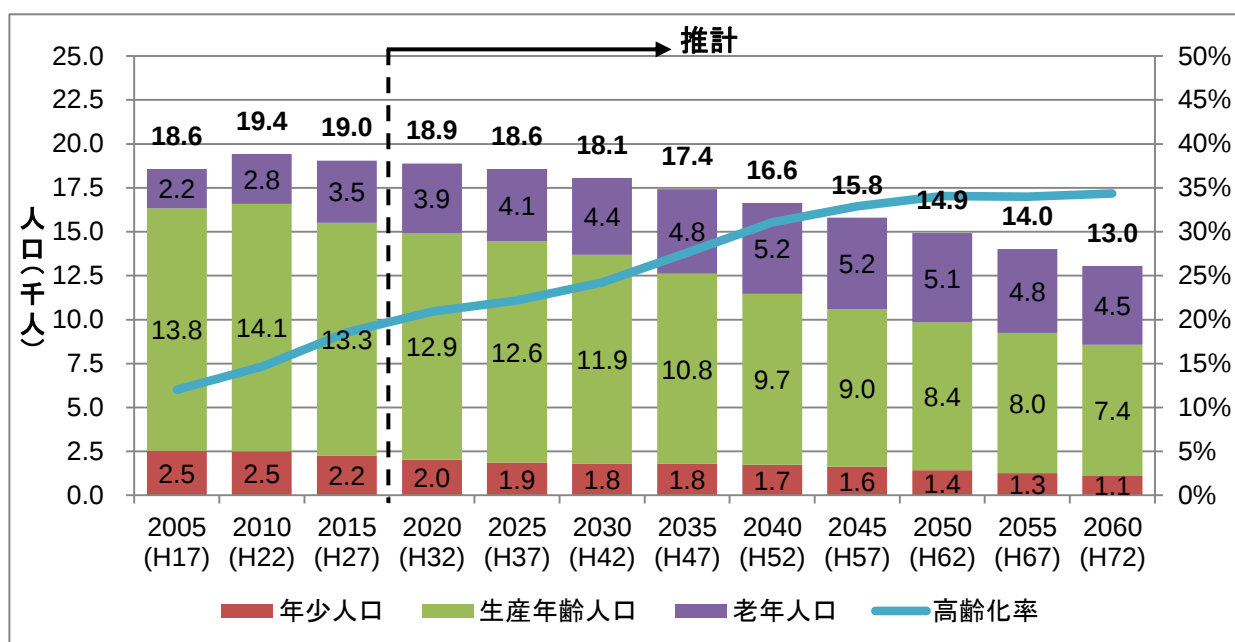
※ グラフ上部の数字は、各年における当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

○ 中山

単位：千人

年齢	実績			推計								
	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
0-4 歳	1.0	0.9	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4
5-9 歳	0.8	0.8	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4
10-14 歳	0.7	0.8	0.8	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4
15-19 歳	0.7	0.7	0.8	0.7	0.7	0.6	0.6	0.5	0.6	0.6	0.5	0.4
20-24 歳	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	1.0	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6
25-29 歳	1.8	1.7	1.3	1.4	1.4	1.3	1.2	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8
30-34 歳	2.2	1.9	1.5	1.2	1.3	1.3	1.2	1.1	0.9	0.8	0.7	0.8
35-39 歳	2.0	2.0	1.5	1.3	1.1	1.2	1.2	1.1	1.0	0.8	0.7	0.7
40-44 歳	1.4	1.8	1.9	1.4	1.3	1.0	1.1	1.1	1.0	0.9	0.8	0.7
45-49 歳	1.1	1.4	1.7	1.7	1.3	1.2	1.0	1.1	1.0	1.0	0.9	0.7
50-54 歳	1.2	1.1	1.3	1.7	1.7	1.3	1.1	0.9	1.0	1.0	1.0	0.9
55-59 歳	1.3	1.1	1.0	1.3	1.6	1.6	1.2	1.1	0.9	1.0	1.0	0.9
60-64 歳	1.0	1.2	1.0	0.9	1.1	1.5	1.5	1.2	1.0	0.8	0.9	0.9
65-69 歳	0.8	0.9	1.1	1.0	0.9	1.1	1.4	1.4	1.1	1.0	0.8	0.9
70-74 歳	0.7	0.7	0.9	1.0	0.9	0.8	1.0	1.3	1.3	1.0	0.9	0.7
75-79 歳	0.4	0.6	0.6	0.8	0.9	0.8	0.7	0.9	1.1	1.2	0.9	0.8
80-84 歳	0.2	0.3	0.5	0.6	0.7	0.8	0.7	0.7	0.8	1.0	1.0	0.8
85 歳以上	0.2	0.3	0.4	0.6	0.7	0.8	1.0	1.0	0.9	0.9	1.1	1.3
合計	18.6	19.4	19.0	18.9	18.6	18.1	17.4	16.6	15.8	14.9	14.0	13.0

0-5 歳	1.2	1.1	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.6	0.5	0.5	0.5
6-11 歳	1.0	1.0	0.9	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.5	0.4
12-14 歳	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2
65-74 歳	1.4	1.7	2.0	2.0	1.8	1.9	2.4	2.6	2.4	2.0	1.7	1.6
75 歳以上	0.8	1.2	1.6	1.9	2.3	2.5	2.5	2.5	2.8	3.1	3.1	2.9



※ 実績は、各年4月1日時点の住民基本台帳人口。

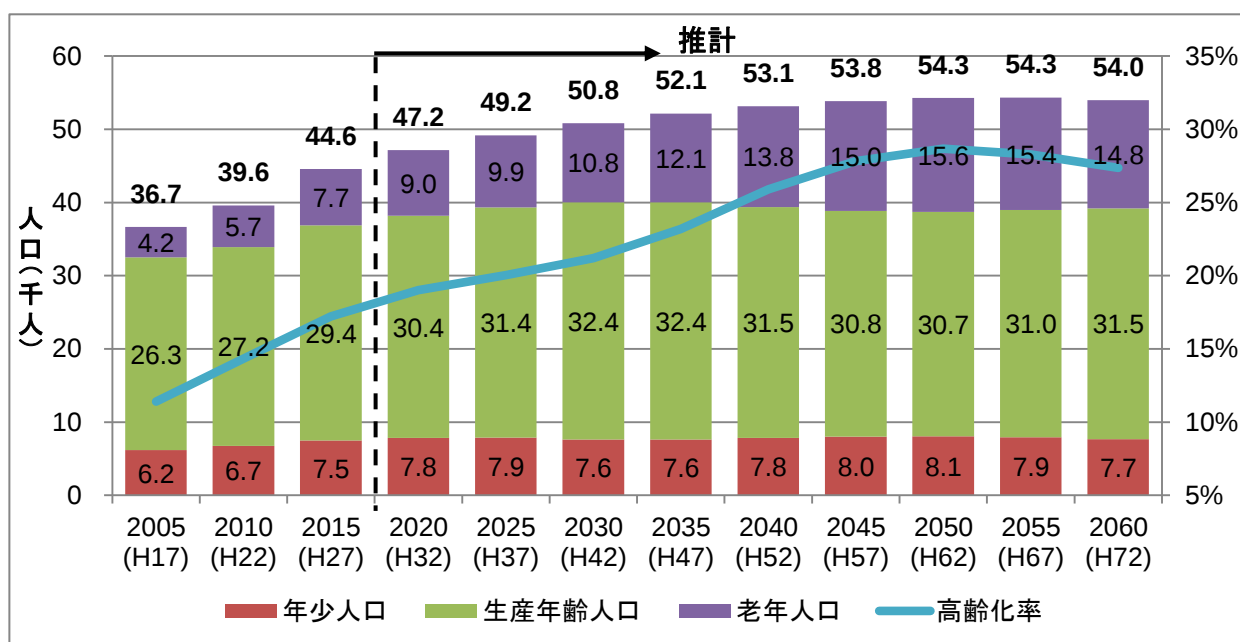
※ グラフ上部の数字は、各年における当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

○ 塚田

単位：千人

年齢	実績			推計								
	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
0-4 歳	2.4	2.4	2.8	2.7	2.5	2.5	2.6	2.7	2.7	2.7	2.6	2.5
5-9 歳	2.1	2.3	2.4	2.8	2.6	2.5	2.5	2.6	2.7	2.7	2.7	2.6
10-14 歳	1.7	2.1	2.3	2.4	2.8	2.6	2.5	2.5	2.6	2.7	2.7	2.7
15-19 歳	1.7	1.7	2.2	2.3	2.4	2.8	2.6	2.5	2.5	2.6	2.7	2.7
20-24 歳	2.2	1.9	2.0	2.4	2.5	2.6	2.9	2.8	2.6	2.6	2.7	2.8
25-29 歳	3.0	2.7	2.4	2.4	2.8	2.9	2.9	3.3	3.0	2.8	2.8	2.9
30-34 歳	4.0	3.5	3.5	2.9	2.8	3.2	3.3	3.3	3.6	3.4	3.1	3.1
35-39 歳	3.5	4.1	4.1	3.5	2.9	2.8	3.3	3.4	3.3	3.7	3.4	3.2
40-44 歳	2.6	3.5	4.3	4.1	3.6	3.0	2.9	3.3	3.4	3.4	3.7	3.4
45-49 歳	2.2	2.7	3.6	4.3	4.1	3.5	2.9	2.8	3.3	3.4	3.3	3.7
50-54 歳	2.3	2.2	2.8	3.6	4.3	4.0	3.5	2.9	2.8	3.3	3.3	3.3
55-59 歳	2.7	2.3	2.3	2.7	3.5	4.2	4.0	3.5	2.9	2.8	3.2	3.3
60-64 歳	2.1	2.6	2.3	2.2	2.6	3.4	4.1	3.8	3.4	2.8	2.7	3.1
65-69 歳	1.6	2.1	2.6	2.3	2.2	2.6	3.4	4.0	3.8	3.3	2.8	2.7
70-74 歳	1.1	1.5	2.1	2.5	2.2	2.1	2.5	3.2	3.9	3.6	3.2	2.6
75-79 歳	0.7	1.0	1.4	1.9	2.4	2.1	2.0	2.3	3.0	3.6	3.3	2.9
80-84 歳	0.4	0.6	0.9	1.3	1.7	2.1	1.8	1.7	2.0	2.6	3.1	2.9
85 歳以上	0.3	0.5	0.7	1.0	1.4	1.9	2.4	2.4	2.3	2.4	3.0	3.6
合計	36.7	39.6	44.6	47.2	49.2	50.8	52.1	53.1	53.8	54.3	54.3	54.0

0-5 歳	2.9	2.8	3.3	3.2	3.0	3.0	3.2	3.2	3.3	3.2	3.1	3.0
6-11 歳	2.3	2.7	2.8	3.2	3.2	3.0	3.0	3.1	3.2	3.2	3.2	3.1
12-14 歳	1.0	1.2	1.4	1.4	1.7	1.6	1.5	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6
65-74 歳	2.7	3.6	4.7	4.8	4.4	4.8	5.9	7.3	7.6	6.9	5.9	5.3
75 歳以上	1.5	2.1	3.0	4.2	5.4	6.0	6.2	6.5	7.3	8.6	9.4	9.5



※ 実績は、各年4月1日時点の住民基本台帳人口。

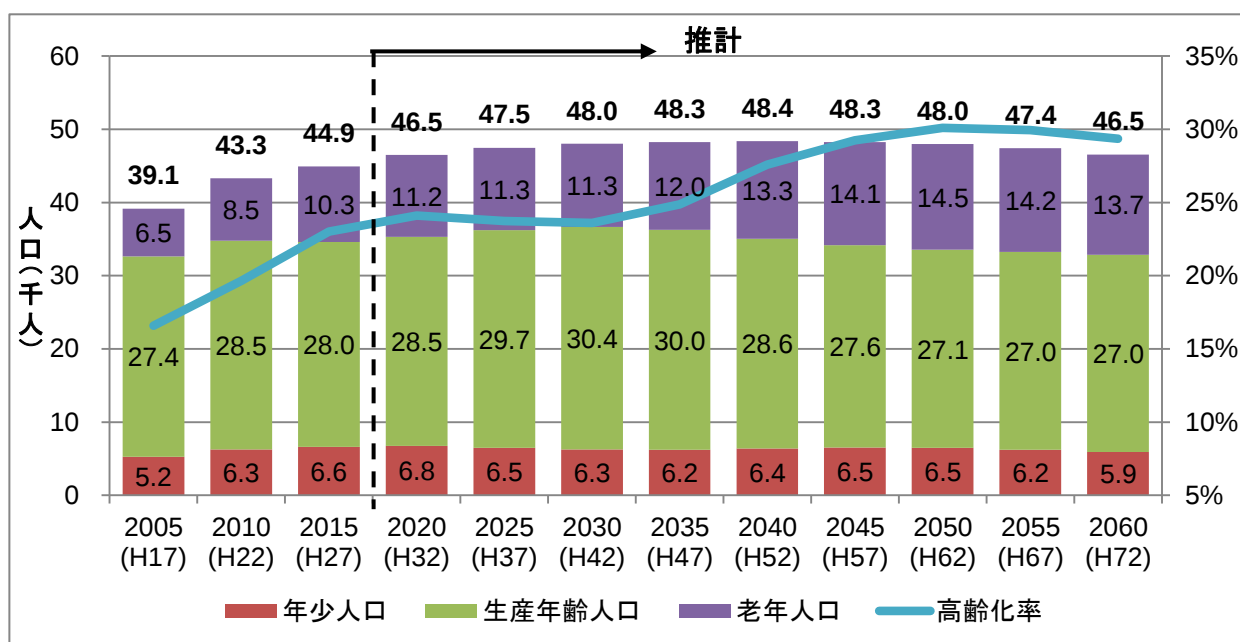
※ グラフ上部の数字は、各年における当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

○ 法典

単位：千人

年齢	実績			推計								
	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
0-4 歳	1.8	2.3	2.2	2.1	2.0	2.0	2.1	2.2	2.1	2.0	1.9	1.8
5-9 歳	1.7	2.1	2.3	2.3	2.2	2.1	2.1	2.1	2.2	2.2	2.1	2.0
10-14 歳	1.7	1.9	2.1	2.4	2.3	2.2	2.1	2.1	2.2	2.3	2.2	2.1
15-19 歳	1.8	1.8	2.0	2.2	2.5	2.4	2.3	2.1	2.1	2.2	2.3	2.3
20-24 歳	2.3	2.1	2.0	2.1	2.3	2.6	2.5	2.4	2.2	2.2	2.3	2.3
25-29 歳	2.9	2.7	2.3	2.3	2.4	2.6	2.8	2.7	2.5	2.3	2.3	2.4
30-34 歳	3.7	3.5	3.0	2.6	2.5	2.6	2.8	3.0	2.8	2.7	2.5	2.4
35-39 歳	3.2	4.2	3.6	3.2	2.8	2.7	2.8	3.0	3.2	3.0	2.8	2.6
40-44 歳	2.4	3.4	4.2	3.7	3.3	2.8	2.8	2.8	3.0	3.2	3.0	2.9
45-49 歳	2.2	2.6	3.4	4.2	3.7	3.3	2.8	2.8	2.8	3.0	3.3	3.0
50-54 歳	2.6	2.2	2.6	3.5	4.3	3.8	3.3	2.9	2.8	2.9	3.0	3.3
55-59 歳	3.3	2.7	2.2	2.6	3.4	4.3	3.7	3.3	2.8	2.8	2.8	3.0
60-64 歳	3.0	3.3	2.6	2.2	2.5	3.4	4.2	3.7	3.3	2.8	2.7	2.8
65-69 歳	2.4	2.9	3.2	2.5	2.1	2.5	3.3	4.1	3.5	3.1	2.7	2.6
70-74 歳	1.8	2.3	2.8	3.0	2.4	2.0	2.3	3.1	3.8	3.3	3.0	2.5
75-79 歳	1.1	1.6	2.1	2.5	2.7	2.2	1.8	2.1	2.8	3.5	3.0	2.7
80-84 歳	0.6	0.9	1.3	1.7	2.1	2.3	1.8	1.5	1.8	2.4	2.9	2.5
85 歳以上	0.5	0.7	1.0	1.4	1.9	2.4	2.8	2.6	2.2	2.2	2.6	3.3
合計	39.1	43.3	44.9	46.5	47.5	48.0	48.3	48.4	48.3	48.0	47.4	46.5

0-5 歳	2.2	2.8	2.6	2.5	2.4	2.4	2.5	2.6	2.6	2.4	2.3	2.2
6-11 歳	2.1	2.4	2.7	2.8	2.6	2.5	2.5	2.6	2.7	2.7	2.6	2.4
12-14 歳	1.0	1.2	1.2	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.4	1.4	1.3
65-74 歳	4.2	5.3	6.0	5.5	4.5	4.4	5.6	7.2	7.4	6.5	5.6	5.2
75 歳以上	2.3	3.3	4.4	5.7	6.8	6.9	6.4	6.2	6.7	8.0	8.6	8.5



※ 実績は、各年4月1日時点の住民基本台帳人口。

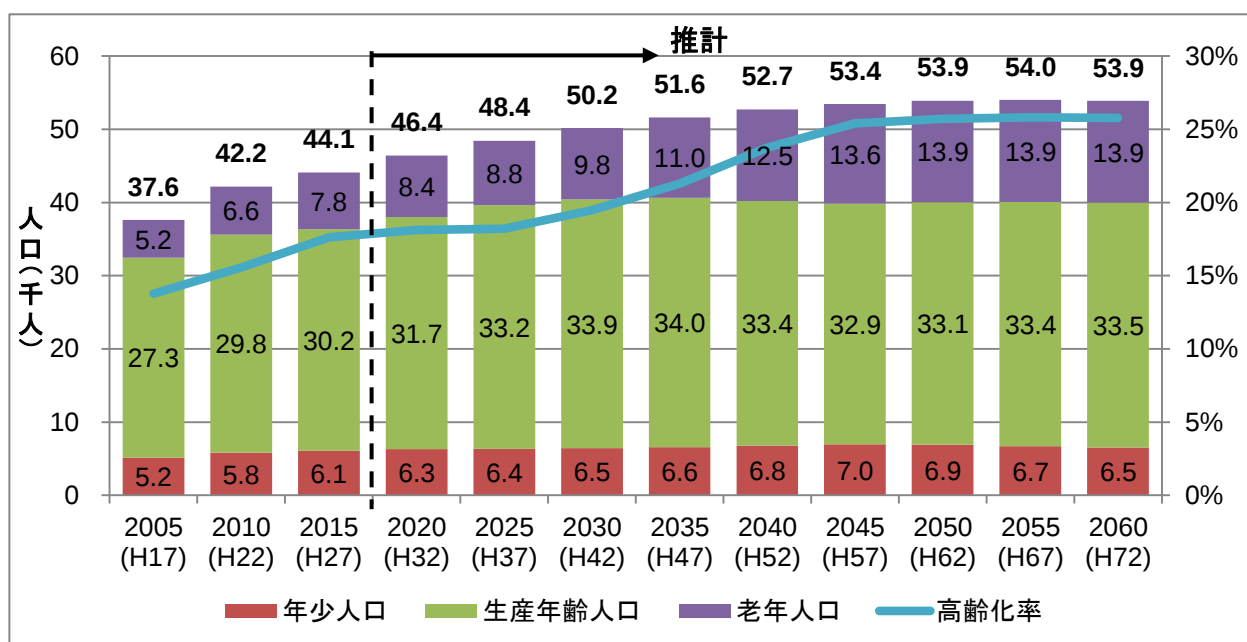
※ グラフ上部の数字は、各年における当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

○ 前原

単位：千人

年齢	実績			推計								
	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
0-4 歳	2.0	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.3	2.4	2.4	2.3	2.2	2.2
5-9 歳	1.7	1.9	2.1	2.1	2.1	2.1	2.2	2.3	2.3	2.3	2.2	2.1
10-14 歳	1.4	1.7	1.9	2.1	2.1	2.1	2.1	2.2	2.3	2.3	2.3	2.2
15-19 歳	1.4	1.6	1.8	2.0	2.2	2.2	2.2	2.2	2.3	2.3	2.4	2.4
20-24 歳	2.5	2.5	2.6	2.7	2.9	3.1	3.1	3.0	2.8	2.9	3.0	3.1
25-29 歳	3.8	3.5	3.4	3.5	3.7	3.9	3.9	3.8	3.6	3.4	3.5	3.6
30-34 歳	4.3	4.3	3.5	3.5	3.6	3.8	4.0	4.0	3.9	3.7	3.5	3.5
35-39 歳	3.8	4.5	4.0	3.3	3.3	3.5	3.6	3.8	3.9	3.7	3.5	3.4
40-44 歳	2.9	3.8	4.3	3.9	3.2	3.2	3.4	3.5	3.7	3.8	3.6	3.4
45-49 歳	2.1	3.1	3.7	4.2	3.8	3.1	3.2	3.3	3.5	3.7	3.7	3.6
50-54 歳	2.0	2.1	3.0	3.6	4.1	3.8	3.1	3.1	3.3	3.4	3.6	3.7
55-59 歳	2.3	2.0	2.1	3.0	3.5	4.0	3.7	3.0	3.1	3.2	3.4	3.5
60-64 歳	2.2	2.3	1.9	2.0	2.9	3.4	3.9	3.6	2.9	3.0	3.1	3.3
65-69 歳	1.8	2.1	2.2	1.8	1.9	2.7	3.2	3.7	3.4	2.8	2.8	3.0
70-74 歳	1.5	1.7	2.0	2.0	1.7	1.8	2.5	3.0	3.5	3.2	2.6	2.6
75-79 歳	1.0	1.3	1.6	1.8	1.9	1.6	1.6	2.3	2.8	3.2	2.9	2.4
80-84 歳	0.5	0.8	1.2	1.4	1.6	1.7	1.4	1.4	2.0	2.4	2.8	2.5
85 歳以上	0.4	0.6	0.9	1.3	1.7	2.0	2.2	2.0	1.9	2.3	2.9	3.4
合計	37.6	42.2	44.1	46.4	48.4	50.2	51.6	52.7	53.4	53.9	54.0	53.9

0-5 歳	2.4	2.6	2.6	2.6	2.6	2.7	2.8	2.8	2.8	2.7	2.6	2.6
6-11 歳	2.0	2.2	2.4	2.6	2.5	2.5	2.6	2.7	2.8	2.8	2.7	2.6
12-14 歳	0.8	1.0	1.1	1.2	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.4	1.4	1.3
65-74 歳	3.3	3.8	4.1	3.9	3.6	4.5	5.8	6.7	6.8	5.9	5.4	5.6
75 歳以上	1.9	2.7	3.6	4.6	5.2	5.3	5.2	5.8	6.7	7.9	8.5	8.3



※ 実績は、各年4月1日時点の住民基本台帳人口。

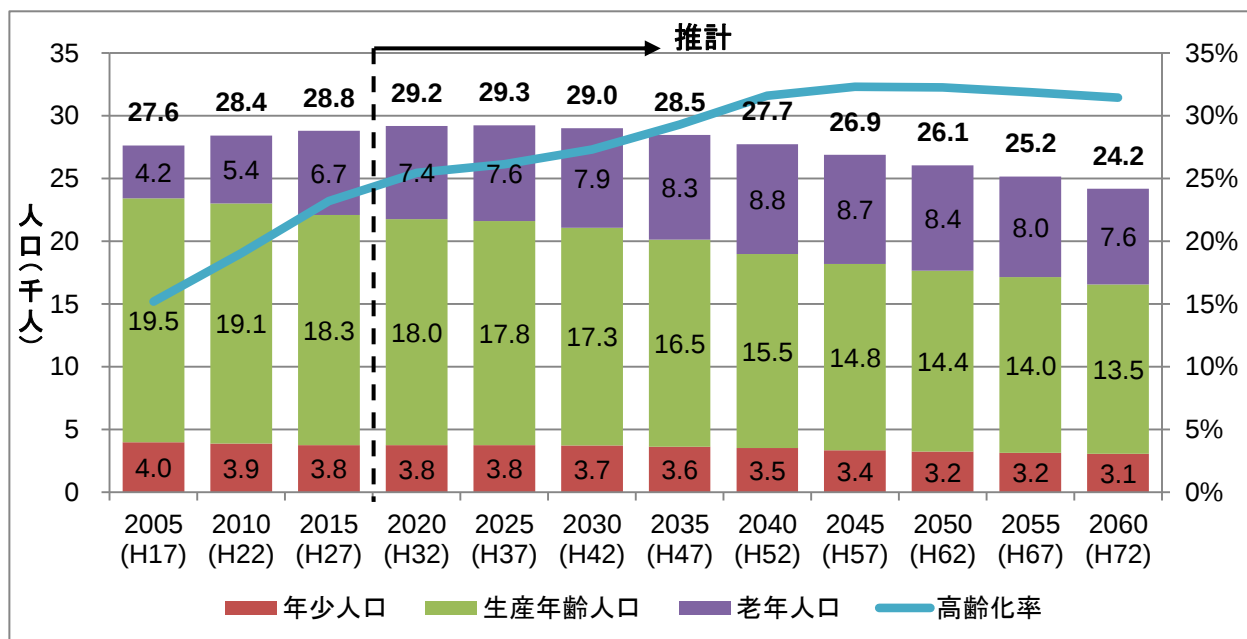
※ グラフ上部の数字は、各年における当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

○ 二宮・飯山満

単位：千人

年齢	実績			推計								
	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
0-4 歳	1.3	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	1.0	1.0	1.0	0.9
5-9 歳	1.4	1.3	1.2	1.3	1.3	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1	1.0
10-14 歳	1.3	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2	1.1	1.1
15-19 歳	1.4	1.4	1.5	1.4	1.3	1.4	1.4	1.3	1.3	1.2	1.2	1.1
20-24 歳	1.7	1.6	1.5	1.6	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3	1.2
25-29 歳	1.9	1.7	1.6	1.6	1.6	1.5	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3	1.2
30-34 歳	2.5	2.0	1.7	1.6	1.6	1.6	1.5	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3
35-39 歳	2.3	2.5	2.0	1.7	1.6	1.6	1.6	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4
40-44 歳	1.9	2.3	2.4	2.0	1.7	1.6	1.6	1.6	1.5	1.4	1.4	1.4
45-49 歳	1.6	1.9	2.3	2.4	2.0	1.7	1.6	1.6	1.6	1.5	1.4	1.4
50-54 歳	1.9	1.6	1.9	2.3	2.4	1.9	1.7	1.6	1.6	1.6	1.5	1.4
55-59 歳	2.3	1.9	1.6	1.9	2.3	2.4	1.9	1.7	1.6	1.6	1.6	1.5
60-64 歳	2.0	2.2	1.8	1.6	1.9	2.2	2.3	1.9	1.6	1.5	1.6	1.6
65-69 歳	1.6	1.9	2.1	1.8	1.5	1.8	2.1	2.3	1.8	1.6	1.5	1.5
70-74 歳	1.1	1.5	1.7	2.0	1.7	1.4	1.7	2.0	2.1	1.7	1.5	1.4
75-79 歳	0.7	1.0	1.3	1.6	1.8	1.5	1.3	1.5	1.8	1.9	1.5	1.3
80-84 歳	0.4	0.6	0.9	1.2	1.4	1.6	1.3	1.1	1.3	1.6	1.7	1.3
85 歳以上	0.4	0.5	0.7	1.0	1.3	1.6	1.9	1.8	1.6	1.6	1.9	2.1
合計	27.6	28.4	28.8	29.2	29.3	29.0	28.5	27.7	26.9	26.1	25.2	24.2

0-5 歳	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.2	1.2	1.2	1.1
6-11 歳	1.7	1.6	1.5	1.5	1.6	1.5	1.5	1.5	1.4	1.3	1.3	1.3
12-14 歳	0.7	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7
65-74 歳	2.7	3.3	3.8	3.7	3.2	3.2	3.8	4.3	3.9	3.3	2.9	2.9
75 歳以上	1.5	2.1	2.9	3.7	4.5	4.7	4.5	4.5	4.8	5.2	5.1	4.7



※ 実績は、各年4月1日時点の住民基本台帳人口。

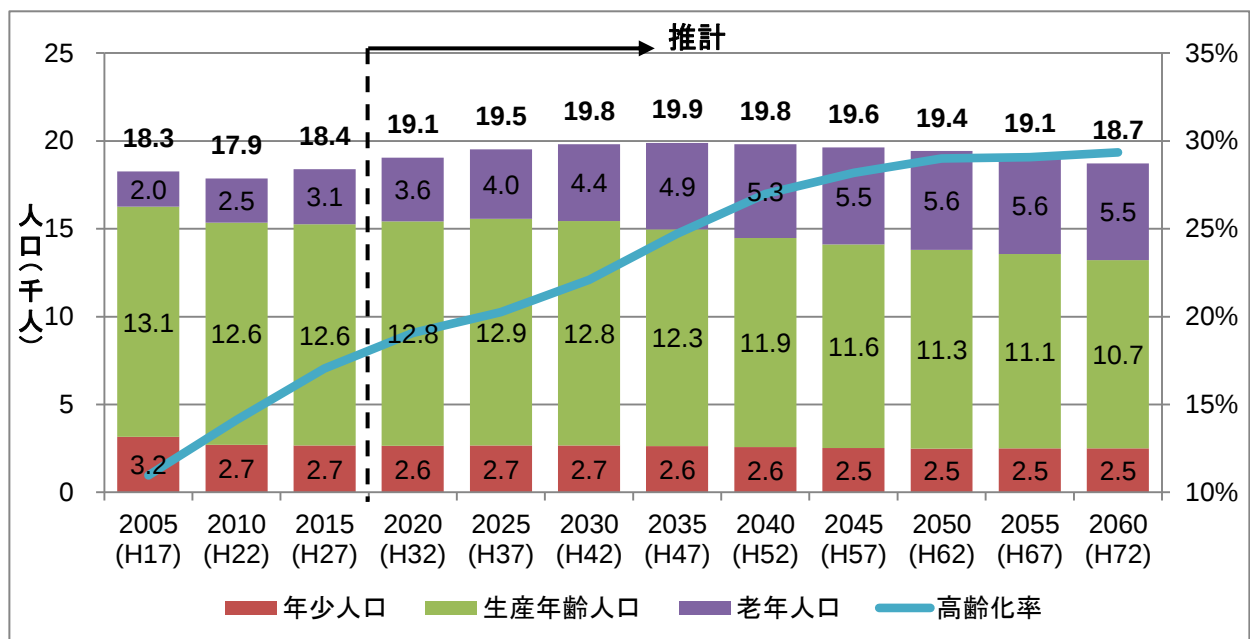
※ グラフ上部の数字は、各年における当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

○ 薬円台

単位：千人

年齢	実績			推計								
	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
0-4 歳	1.1	0.9	0.8	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
5-9 歳	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8
10-14 歳	1.0	0.9	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.9
15-19 歳	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9
20-24 歳	1.5	1.3	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1	1.0
25-29 歳	1.6	1.4	1.2	1.3	1.3	1.3	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	1.0
30-34 歳	1.9	1.4	1.3	1.2	1.3	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	1.0
35-39 歳	1.7	1.6	1.4	1.4	1.3	1.4	1.3	1.3	1.2	1.2	1.2	1.1
40-44 歳	1.4	1.6	1.6	1.4	1.3	1.2	1.3	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1
45-49 歳	1.0	1.3	1.5	1.5	1.3	1.3	1.2	1.3	1.2	1.2	1.1	1.1
50-54 歳	1.1	1.0	1.2	1.5	1.5	1.3	1.3	1.2	1.3	1.2	1.2	1.1
55-59 歳	1.1	1.0	1.0	1.2	1.5	1.5	1.3	1.3	1.2	1.3	1.2	1.2
60-64 歳	0.9	1.0	1.0	0.9	1.2	1.4	1.4	1.3	1.2	1.1	1.2	1.2
65-69 歳	0.8	0.8	1.0	1.0	0.9	1.2	1.4	1.4	1.2	1.2	1.1	1.2
70-74 歳	0.5	0.7	0.8	0.9	0.9	0.9	1.1	1.3	1.3	1.2	1.1	1.0
75-79 歳	0.3	0.5	0.6	0.7	0.9	0.8	0.8	1.0	1.2	1.2	1.1	1.0
80-84 歳	0.2	0.3	0.4	0.6	0.6	0.8	0.7	0.7	0.9	1.1	1.0	0.9
85 歳以上	0.2	0.2	0.3	0.5	0.6	0.8	0.9	1.0	0.9	1.0	1.3	1.3
合計	18.3	17.9	18.4	19.1	19.5	19.8	19.9	19.8	19.6	19.4	19.1	18.7

0-5 歳	1.4	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
6-11 歳	1.2	1.2	1.0	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0
12-14 歳	0.6	0.5	0.6	0.5	0.5	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
65-74 歳	1.3	1.5	1.8	1.9	1.8	2.0	2.5	2.7	2.5	2.3	2.2	2.2
75 歳以上	0.7	1.0	1.3	1.7	2.1	2.4	2.4	2.6	3.0	3.3	3.4	3.3



※ 実績は、各年4月1日時点の住民基本台帳人口。

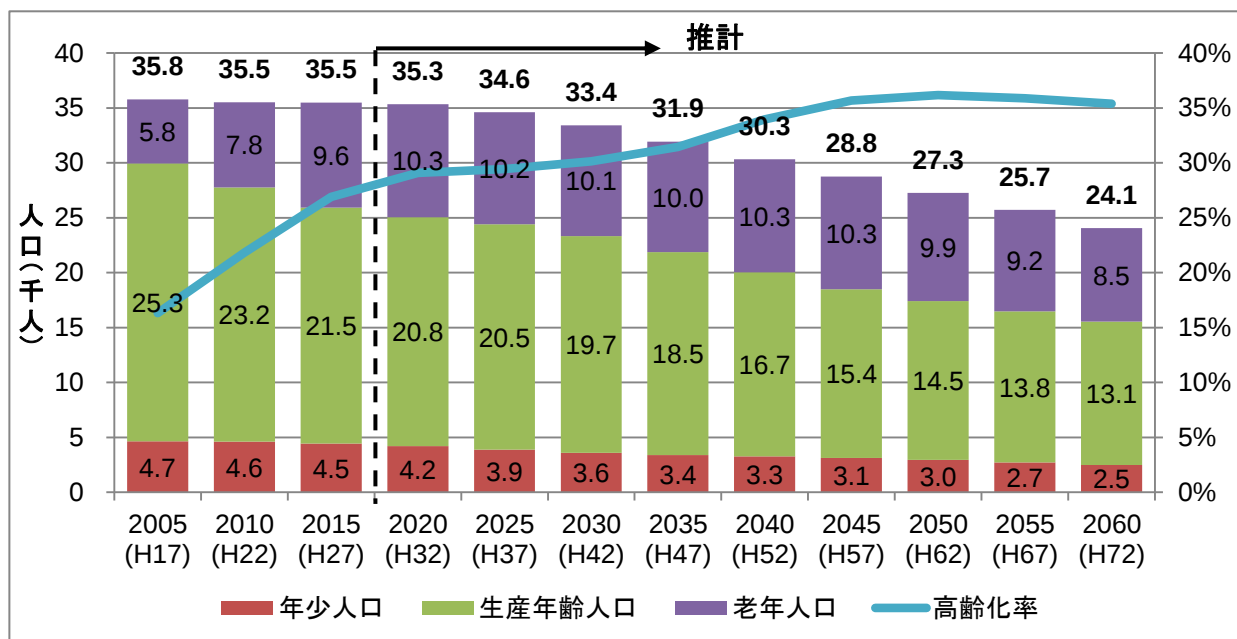
※ グラフ上部の数字は、各年における当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

○ 三山・田喜野井

単位：千人

年齢	実績			推計								
	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
0-4 歳	1.6	1.5	1.3	1.3	1.1	1.1	1.1	1.0	1.0	0.9	0.8	0.7
5-9 歳	1.5	1.6	1.5	1.4	1.3	1.2	1.1	1.1	1.1	1.0	0.9	0.8
10-14 歳	1.5	1.5	1.6	1.6	1.4	1.3	1.2	1.1	1.1	1.1	1.0	0.9
15-19 歳	1.8	1.6	1.7	1.7	1.6	1.5	1.4	1.2	1.2	1.2	1.1	1.0
20-24 歳	2.3	1.9	1.8	1.8	1.8	1.8	1.6	1.5	1.3	1.2	1.2	1.2
25-29 歳	2.7	2.1	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.5	1.4	1.2	1.1	1.1
30-34 歳	3.1	2.6	2.0	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.4	1.3	1.2	1.1
35-39 歳	2.7	3.0	2.5	2.0	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.4	1.3	1.2
40-44 歳	2.2	2.6	2.9	2.5	2.0	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.4	1.3
45-49 歳	1.9	2.2	2.6	2.9	2.5	2.0	1.7	1.6	1.6	1.6	1.6	1.4
50-54 歳	2.4	1.9	2.2	2.5	2.9	2.5	2.0	1.7	1.6	1.6	1.6	1.6
55-59 歳	3.1	2.3	1.8	2.2	2.5	2.9	2.4	1.9	1.6	1.6	1.6	1.6
60-64 歳	3.0	3.0	2.2	1.8	2.1	2.5	2.8	2.4	1.9	1.6	1.6	1.6
65-69 歳	2.4	2.8	2.9	2.1	1.7	2.0	2.4	2.7	2.3	1.8	1.5	1.5
70-74 歳	1.6	2.2	2.6	2.8	2.0	1.6	1.9	2.2	2.5	2.2	1.7	1.5
75-79 歳	0.9	1.4	2.0	2.4	2.5	1.9	1.5	1.8	2.0	2.3	2.0	1.5
80-84 歳	0.5	0.7	1.2	1.7	2.1	2.2	1.6	1.3	1.5	1.7	2.0	1.7
85 歳以上	0.5	0.6	0.8	1.3	1.9	2.4	2.7	2.4	1.9	1.9	2.0	2.3
合計	35.8	35.5	35.5	35.3	34.6	33.4	31.9	30.3	28.8	27.3	25.7	24.1

0-5 歳	1.9	1.8	1.6	1.5	1.4	1.3	1.3	1.2	1.2	1.1	1.0	0.9
6-11 歳	1.8	1.9	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3	1.3	1.2	1.1	1.0
12-14 歳	0.9	0.9	1.0	1.0	0.9	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6
65-74 歳	4.0	5.0	5.5	4.9	3.7	3.7	4.3	4.9	4.8	4.0	3.3	3.0
75 歳以上	1.9	2.8	4.0	5.4	6.4	6.4	5.8	5.4	5.4	5.9	6.0	5.5



※ 実績は、各年4月1日時点の住民基本台帳人口。

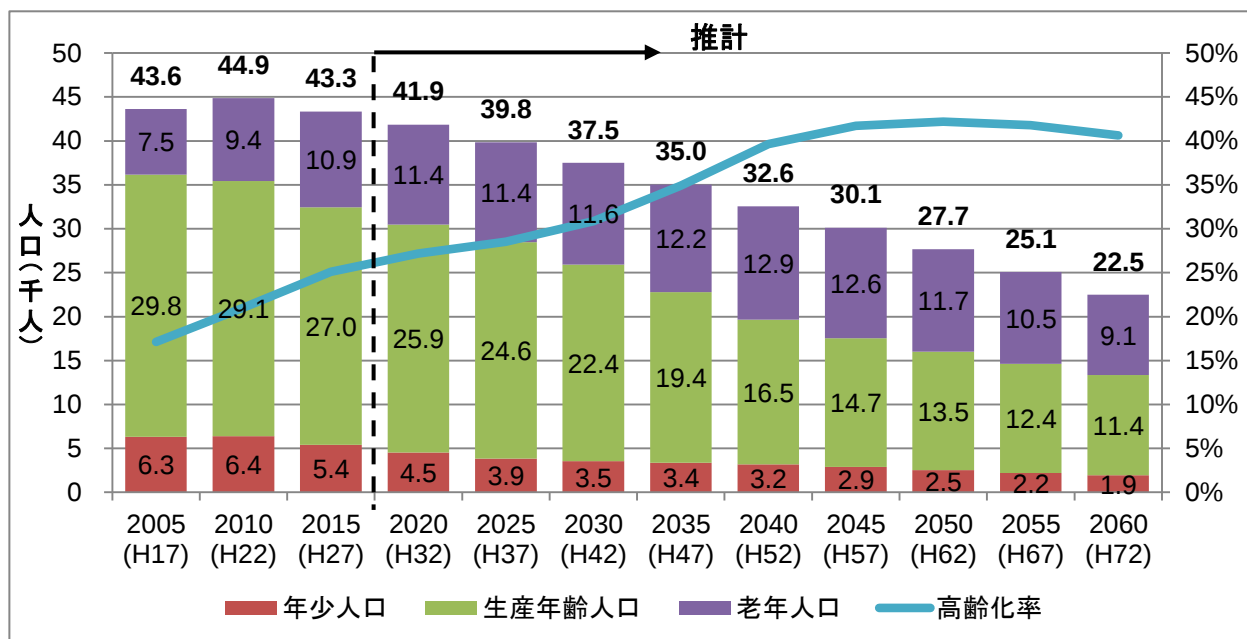
※ グラフ上部の数字は、各年における当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

○ 習志野台

単位：千人

年齢	実績			推計								
	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
0-4 歳	2.2	2.0	1.5	1.3	1.2	1.2	1.1	1.0	0.9	0.7	0.7	0.6
5-9 歳	2.3	2.1	1.8	1.4	1.2	1.1	1.1	1.1	1.0	0.8	0.7	0.6
10-14 歳	1.9	2.3	2.1	1.8	1.4	1.2	1.1	1.1	1.1	1.0	0.8	0.7
15-19 歳	2.1	2.0	2.3	2.2	1.9	1.5	1.3	1.2	1.1	1.1	1.0	0.8
20-24 歳	2.6	2.4	2.2	2.4	2.3	1.9	1.5	1.3	1.2	1.1	1.1	1.0
25-29 歳	3.0	2.6	2.2	1.9	2.2	2.0	1.7	1.3	1.2	1.1	1.0	1.0
30-34 歳	4.1	3.2	2.3	2.0	1.8	2.0	1.9	1.6	1.3	1.1	1.0	1.0
35-39 歳	3.9	4.1	2.8	2.1	1.8	1.6	1.8	1.7	1.5	1.2	1.0	0.9
40-44 歳	3.0	3.8	3.9	2.7	2.0	1.7	1.6	1.8	1.7	1.4	1.1	1.0
45-49 歳	2.5	3.0	3.7	3.8	2.6	2.0	1.7	1.6	1.8	1.7	1.4	1.1
50-54 歳	2.5	2.5	3.0	3.7	3.7	2.6	2.0	1.7	1.5	1.7	1.6	1.4
55-59 歳	3.1	2.5	2.4	2.9	3.5	3.6	2.5	1.9	1.6	1.5	1.7	1.6
60-64 歳	3.0	3.0	2.4	2.3	2.8	3.4	3.5	2.4	1.8	1.6	1.4	1.6
65-69 歳	2.8	2.8	2.9	2.3	2.2	2.7	3.3	3.4	2.3	1.8	1.5	1.4
70-74 歳	2.1	2.7	2.7	2.7	2.2	2.1	2.6	3.1	3.2	2.2	1.7	1.5
75-79 歳	1.3	2.0	2.5	2.4	2.5	2.0	1.9	2.3	2.8	2.9	2.0	1.5
80-84 歳	0.7	1.1	1.7	2.1	2.1	2.2	1.7	1.6	2.0	2.4	2.5	1.7
85 歳以上	0.5	0.8	1.2	1.8	2.4	2.6	2.8	2.5	2.2	2.4	2.8	3.1
合計	43.6	44.9	43.3	41.9	39.8	37.5	35.0	32.6	30.1	27.7	25.1	22.5

0-5 歳	2.6	2.4	1.9	1.6	1.4	1.4	1.3	1.2	1.0	0.9	0.8	0.7
6-11 歳	2.6	2.7	2.3	1.9	1.5	1.4	1.3	1.3	1.2	1.0	0.9	0.8
12-14 歳	1.1	1.3	1.3	1.1	0.9	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.5	0.4
65-74 歳	5.0	5.6	5.6	5.1	4.4	4.8	5.9	6.5	5.5	4.0	3.2	2.9
75 歳以上	2.5	3.9	5.3	6.3	7.0	6.8	6.4	6.4	7.0	7.7	7.3	6.3



※ 実績は、各年4月1日時点の住民基本台帳人口。

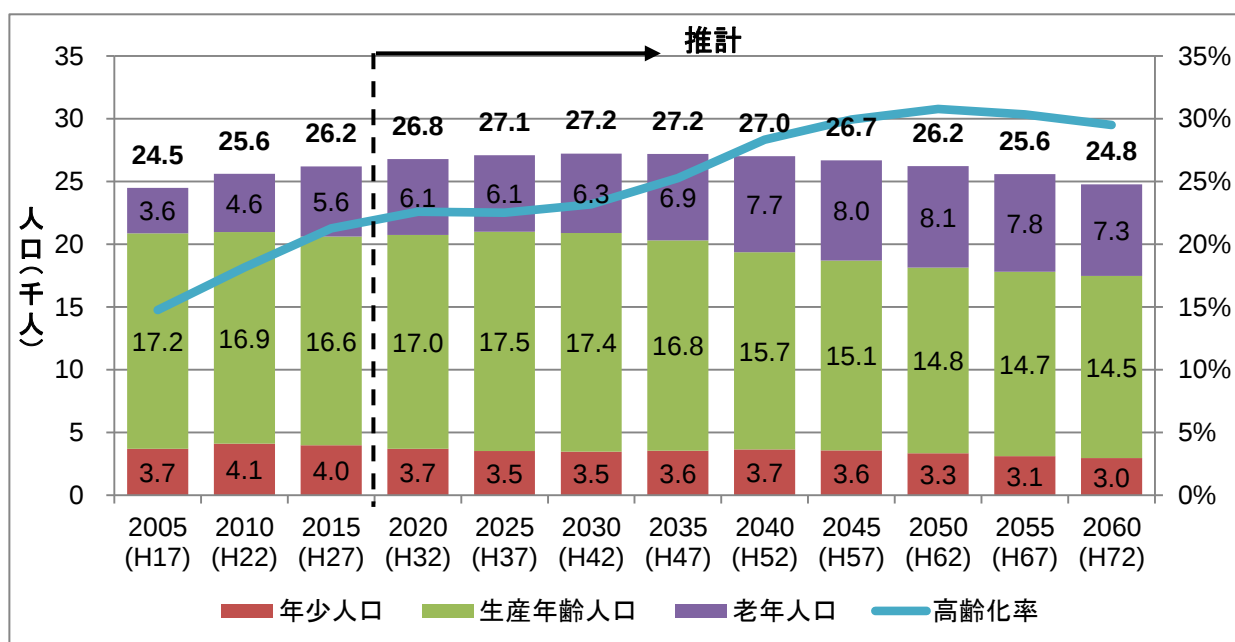
※ グラフ上部の数字は、各年における当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

○ 夏見

単位：千人

年齢	実績			推計								
	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
0-4 歳	1.4	1.3	1.2	1.1	1.1	1.2	1.2	1.2	1.1	1.0	0.9	0.9
5-9 歳	1.3	1.4	1.3	1.3	1.2	1.1	1.2	1.3	1.2	1.1	1.0	1.0
10-14 歳	1.0	1.3	1.5	1.3	1.3	1.2	1.1	1.2	1.3	1.2	1.1	1.0
15-19 歳	1.1	1.1	1.4	1.5	1.4	1.3	1.2	1.2	1.2	1.3	1.2	1.1
20-24 歳	1.5	1.2	1.2	1.5	1.6	1.4	1.4	1.3	1.2	1.3	1.3	1.3
25-29 歳	2.0	1.6	1.3	1.3	1.6	1.7	1.5	1.4	1.3	1.2	1.3	1.4
30-34 歳	2.5	2.1	1.7	1.4	1.4	1.7	1.8	1.6	1.5	1.4	1.3	1.4
35-39 歳	2.3	2.5	2.0	1.8	1.5	1.4	1.8	1.9	1.6	1.5	1.4	1.3
40-44 歳	1.6	2.2	2.5	2.1	1.8	1.5	1.5	1.8	1.9	1.7	1.5	1.4
45-49 歳	1.3	1.7	2.2	2.6	2.1	1.8	1.5	1.5	1.8	1.9	1.7	1.5
50-54 歳	1.5	1.3	1.6	2.2	2.5	2.0	1.8	1.5	1.4	1.8	1.8	1.6
55-59 歳	1.8	1.5	1.2	1.6	2.1	2.4	2.0	1.7	1.4	1.4	1.7	1.8
60-64 歳	1.6	1.7	1.4	1.2	1.5	2.0	2.3	1.9	1.7	1.4	1.4	1.7
65-69 歳	1.3	1.5	1.7	1.4	1.1	1.5	2.0	2.3	1.9	1.6	1.3	1.3
70-74 歳	1.0	1.2	1.5	1.6	1.3	1.1	1.4	1.9	2.1	1.8	1.5	1.3
75-79 歳	0.6	0.9	1.1	1.3	1.5	1.2	1.0	1.3	1.7	2.0	1.6	1.4
80-84 歳	0.4	0.5	0.7	0.9	1.1	1.2	1.0	0.8	1.1	1.5	1.7	1.4
85 歳以上	0.3	0.5	0.6	0.8	1.1	1.3	1.5	1.4	1.2	1.3	1.6	2.0
合計	24.5	25.6	26.2	26.8	27.1	27.2	27.2	27.0	26.7	26.2	25.6	24.8

0-5 歳	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3	1.4	1.5	1.4	1.3	1.2	1.1	1.1
6-11 歳	1.4	1.7	1.6	1.5	1.5	1.4	1.4	1.5	1.5	1.4	1.3	1.2
12-14 歳	0.6	0.8	0.9	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.8	0.7	0.7	0.6
65-74 歳	2.3	2.8	3.1	2.9	2.4	2.6	3.4	4.1	4.0	3.4	2.9	2.6
75 歳以上	1.3	1.9	2.5	3.1	3.7	3.8	3.5	3.5	4.0	4.7	4.9	4.7



※ 実績は、各年4月1日時点の住民基本台帳人口。

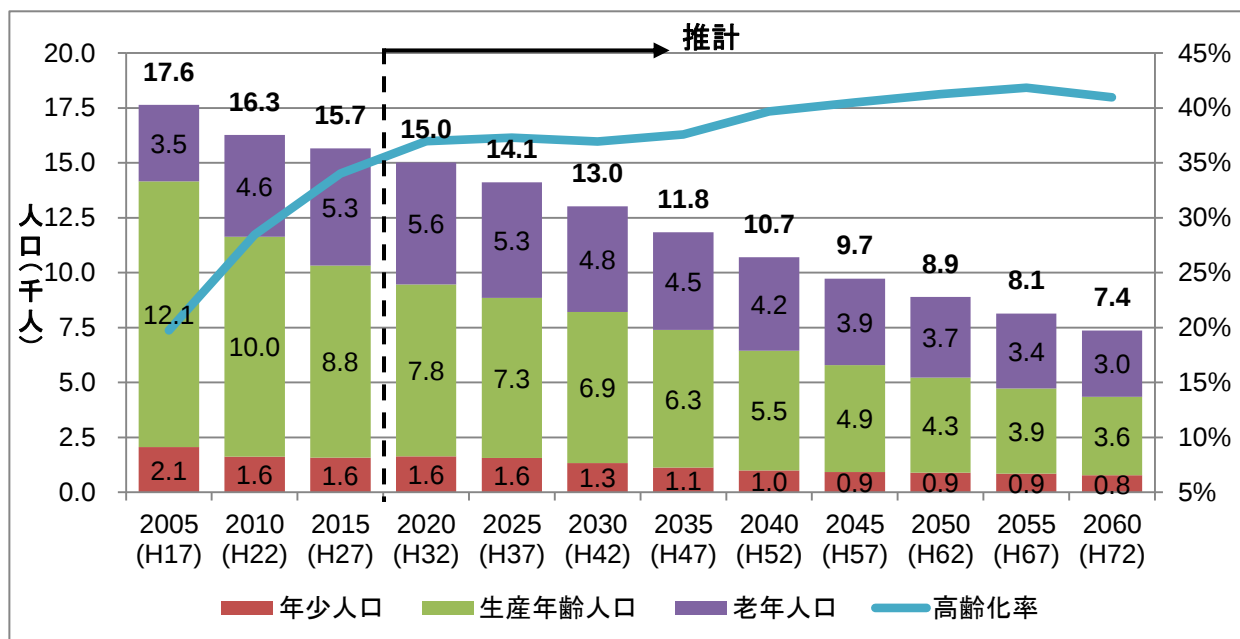
※ グラフ上部の数字は、各年における当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

○ 高根・金杉

単位：千人

年齢	実績			推計								
	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
0-4 歳	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2
5-9 歳	0.7	0.5	0.5	0.6	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
10-14 歳	0.8	0.6	0.5	0.5	0.6	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3
15-19 歳	0.9	0.7	0.6	0.5	0.5	0.6	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3
20-24 歳	1.0	0.8	0.6	0.6	0.4	0.5	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3
25-29 歳	1.1	0.8	0.7	0.5	0.5	0.4	0.4	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3
30-34 歳	1.4	0.9	0.8	0.7	0.5	0.5	0.4	0.4	0.5	0.4	0.3	0.3
35-39 歳	1.2	1.2	0.9	0.8	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4
40-44 歳	1.0	1.1	1.2	0.9	0.8	0.7	0.5	0.5	0.4	0.4	0.5	0.4
45-49 歳	1.0	0.9	1.0	1.2	0.9	0.8	0.7	0.5	0.5	0.4	0.4	0.5
50-54 歳	1.3	0.9	0.9	1.0	1.1	0.9	0.8	0.7	0.5	0.5	0.4	0.4
55-59 歳	1.6	1.2	0.9	0.8	1.0	1.1	0.8	0.7	0.7	0.5	0.5	0.4
60-64 歳	1.7	1.5	1.2	0.9	0.8	1.0	1.1	0.8	0.7	0.7	0.5	0.4
65-69 歳	1.4	1.6	1.5	1.1	0.8	0.8	0.9	1.0	0.8	0.7	0.6	0.5
70-74 歳	1.0	1.3	1.5	1.4	1.1	0.8	0.7	0.9	1.0	0.7	0.7	0.6
75-79 歳	0.6	0.9	1.1	1.3	1.2	1.0	0.7	0.7	0.8	0.8	0.7	0.6
80-84 歳	0.3	0.5	0.7	1.0	1.1	1.0	0.8	0.6	0.6	0.6	0.7	0.6
85 歳以上	0.2	0.4	0.5	0.7	1.0	1.2	1.3	1.1	0.9	0.7	0.7	0.8
合計	17.6	16.3	15.7	15.0	14.1	13.0	11.8	10.7	9.7	8.9	8.1	7.4

0-5 歳	0.7	0.6	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
6-11 歳	0.9	0.7	0.6	0.7	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3
12-14 歳	0.4	0.4	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
65-74 歳	2.3	2.9	3.0	2.5	1.9	1.6	1.7	1.9	1.7	1.4	1.3	1.1
75 歳以上	1.1	1.7	2.4	3.0	3.4	3.2	2.8	2.4	2.2	2.2	2.1	1.9



※ 実績は、各年4月1日時点の住民基本台帳人口。

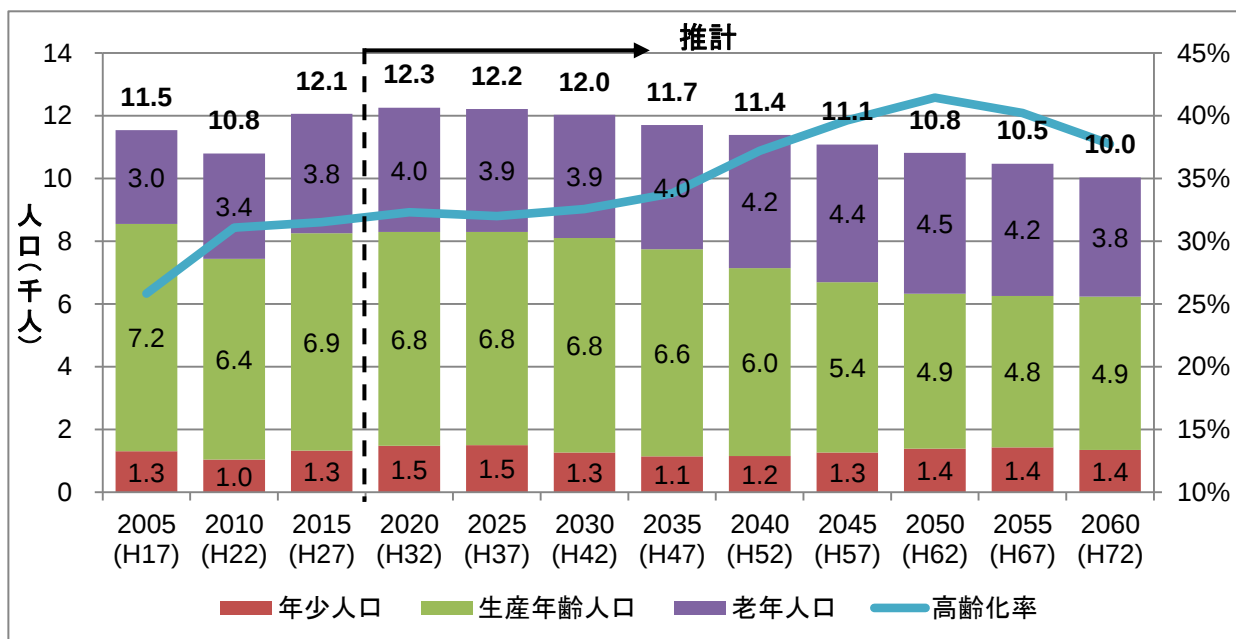
※ グラフ上部の数字は、各年における当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

○ 高根台

単位：千人

年齢	実績			推計								
	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
0-4 歳	0.4	0.3	0.6	0.5	0.4	0.3	0.4	0.4	0.5	0.5	0.4	0.4
5-9 歳	0.4	0.3	0.4	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5
10-14 歳	0.5	0.4	0.4	0.4	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5
15-19 歳	0.5	0.4	0.4	0.4	0.5	0.7	0.5	0.5	0.4	0.4	0.5	0.5
20-24 歳	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.5	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4	0.5
25-29 歳	0.7	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4
30-34 歳	0.9	0.6	0.7	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.6	0.5	0.4	0.4
35-39 歳	0.8	0.8	0.8	0.8	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.7	0.5	0.4
40-44 歳	0.8	0.7	1.0	0.9	0.8	0.6	0.5	0.4	0.4	0.5	0.7	0.6
45-49 歳	0.6	0.7	0.8	1.0	0.9	0.9	0.6	0.5	0.5	0.4	0.5	0.7
50-54 歳	0.7	0.6	0.8	0.9	1.1	1.0	0.9	0.6	0.5	0.5	0.4	0.5
55-59 歳	0.8	0.7	0.7	0.8	0.9	1.1	1.0	0.9	0.6	0.5	0.5	0.5
60-64 歳	0.9	0.8	0.8	0.7	0.9	0.9	1.2	1.0	1.0	0.6	0.5	0.5
65-69 歳	1.1	0.8	0.8	0.8	0.7	0.9	0.9	1.2	1.0	1.0	0.6	0.5
70-74 歳	1.0	1.0	0.9	0.8	0.7	0.7	0.8	0.9	1.1	1.0	0.9	0.6
75-79 歳	0.6	0.8	0.9	0.8	0.8	0.7	0.6	0.8	0.8	1.0	0.9	0.9
80-84 歳	0.2	0.5	0.7	0.8	0.7	0.7	0.6	0.6	0.7	0.7	0.9	0.8
85 歳以上	0.2	0.2	0.5	0.8	1.0	1.0	0.9	0.8	0.8	0.8	0.9	1.0
合計	11.5	10.8	12.1	12.3	12.2	12.0	11.7	11.4	11.1	10.8	10.5	10.0

0-5 歳	0.5	0.4	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4	0.5	0.5	0.6	0.5	0.5
6-11 歳	0.5	0.4	0.5	0.7	0.6	0.5	0.5	0.4	0.5	0.6	0.6	0.6
12-14 歳	0.3	0.2	0.2	0.2	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3
65-74 歳	2.0	1.8	1.7	1.6	1.5	1.6	1.8	2.1	2.1	1.9	1.6	1.1
75 歳以上	1.0	1.6	2.1	2.4	2.5	2.4	2.2	2.2	2.3	2.5	2.7	2.6



※ 実績は、各年4月1日時点の住民基本台帳人口。

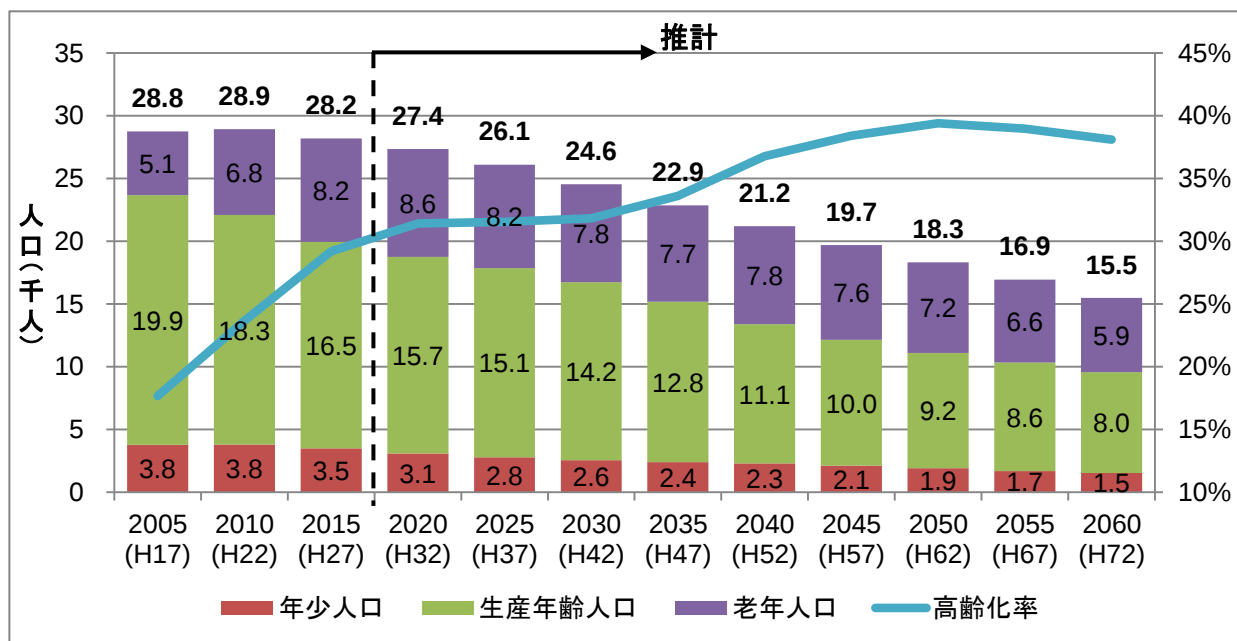
※ グラフ上部の数字は、各年における当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

○ 新高根・芝山

単位：千人

年齢	実績			推計								
	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
0-4 歳	1.4	1.2	1.1	1.0	0.9	0.8	0.8	0.7	0.7	0.6	0.5	0.5
5-9 歳	1.3	1.3	1.1	1.0	0.9	0.8	0.8	0.8	0.7	0.6	0.6	0.5
10-14 歳	1.2	1.3	1.3	1.1	1.0	0.9	0.8	0.8	0.8	0.7	0.6	0.6
15-19 歳	1.2	1.2	1.2	1.3	1.1	1.0	0.9	0.8	0.8	0.8	0.7	0.6
20-24 歳	1.6	1.3	1.2	1.2	1.2	1.1	1.0	0.9	0.8	0.7	0.7	0.7
25-29 歳	2.0	1.7	1.2	1.2	1.2	1.2	1.0	0.9	0.8	0.7	0.7	0.7
30-34 歳	2.6	2.0	1.6	1.2	1.1	1.2	1.2	1.0	0.9	0.8	0.7	0.7
35-39 歳	2.3	2.6	1.9	1.6	1.2	1.1	1.2	1.2	1.0	0.9	0.8	0.7
40-44 歳	1.7	2.3	2.5	1.9	1.5	1.2	1.1	1.1	1.1	1.0	0.9	0.8
45-49 歳	1.5	1.7	2.2	2.4	1.8	1.5	1.1	1.1	1.1	1.1	1.0	0.9
50-54 歳	1.8	1.4	1.6	2.1	2.3	1.8	1.5	1.1	1.1	1.1	1.1	0.9
55-59 歳	2.6	1.8	1.3	1.5	2.0	2.3	1.7	1.4	1.1	1.0	1.1	1.1
60-64 歳	2.6	2.5	1.7	1.3	1.5	1.9	2.2	1.6	1.3	1.0	1.0	1.0
65-69 歳	2.0	2.5	2.4	1.6	1.2	1.4	1.9	2.1	1.6	1.3	1.0	1.0
70-74 歳	1.4	1.9	2.3	2.2	1.5	1.2	1.3	1.7	2.0	1.5	1.2	0.9
75-79 歳	0.8	1.3	1.7	2.1	2.0	1.4	1.1	1.2	1.6	1.8	1.3	1.1
80-84 歳	0.4	0.7	1.1	1.5	1.8	1.8	1.2	0.9	1.1	1.4	1.5	1.2
85 歳以上	0.4	0.5	0.7	1.1	1.6	2.0	2.2	1.8	1.4	1.3	1.5	1.8
合計	28.8	28.9	28.2	27.4	26.1	24.6	22.9	21.2	19.7	18.3	16.9	15.5

0-5 歳	1.6	1.4	1.3	1.2	1.0	1.0	1.0	0.9	0.8	0.7	0.6	0.6
6-11 歳	1.5	1.6	1.4	1.3	1.1	1.0	1.0	0.9	0.9	0.8	0.7	0.6
12-14 歳	0.7	0.7	0.8	0.7	0.7	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3
65-74 歳	3.5	4.4	4.7	3.9	2.8	2.6	3.2	3.8	3.5	2.8	2.2	1.9
75 歳以上	1.6	2.5	3.5	4.7	5.5	5.2	4.5	4.0	4.0	4.4	4.4	4.0



※ 実績は、各年4月1日時点の住民基本台帳人口。

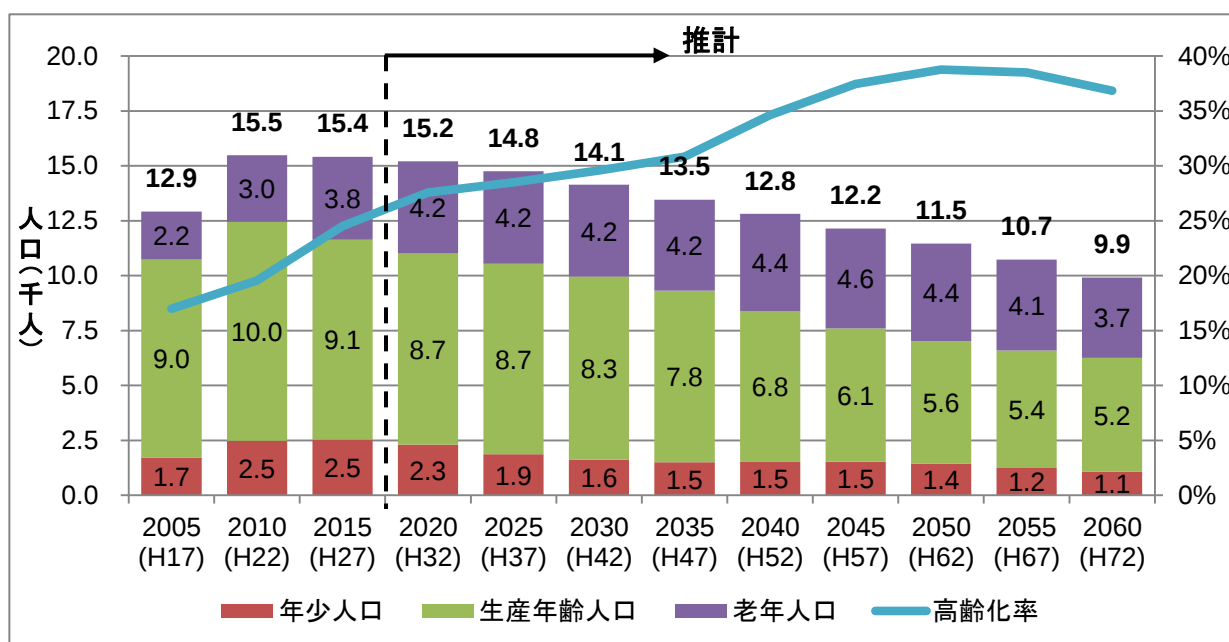
※ グラフ上部の数字は、各年における当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

○ 二和

単位：千人

年齢	実績			推計								
	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
0-4 歳	0.6	1.0	0.7	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3
5-9 歳	0.6	0.9	1.0	0.7	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4
10-14 歳	0.6	0.6	0.8	0.9	0.7	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4
15-19 歳	0.6	0.6	0.6	0.8	0.9	0.7	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
20-24 歳	0.8	0.7	0.6	0.6	0.8	0.9	0.7	0.6	0.5	0.4	0.5	0.5
25-29 歳	0.9	1.0	0.7	0.6	0.6	0.7	0.8	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4
30-34 歳	1.1	1.3	0.9	0.7	0.5	0.6	0.7	0.8	0.6	0.5	0.4	0.4
35-39 歳	0.9	1.5	1.3	0.9	0.7	0.6	0.6	0.7	0.8	0.6	0.5	0.4
40-44 歳	0.8	1.0	1.4	1.2	0.9	0.7	0.5	0.6	0.7	0.8	0.6	0.5
45-49 歳	0.7	0.9	1.0	1.4	1.2	0.9	0.6	0.5	0.5	0.7	0.7	0.6
50-54 歳	1.0	0.7	0.8	0.9	1.3	1.1	0.8	0.6	0.5	0.5	0.6	0.7
55-59 歳	1.2	1.0	0.7	0.8	1.0	1.3	1.1	0.8	0.6	0.5	0.5	0.6
60-64 歳	1.1	1.2	1.0	0.7	0.8	0.9	1.3	1.1	0.8	0.6	0.5	0.5
65-69 歳	0.8	1.1	1.1	1.0	0.7	0.8	0.9	1.3	1.1	0.8	0.6	0.5
70-74 歳	0.6	0.8	1.0	1.1	0.9	0.7	0.8	0.9	1.2	1.0	0.8	0.6
75-79 歳	0.4	0.6	0.7	1.0	1.0	0.8	0.6	0.7	0.8	1.1	0.9	0.7
80-84 歳	0.2	0.3	0.5	0.6	0.8	0.9	0.7	0.5	0.6	0.7	1.0	0.8
85 歳以上	0.1	0.2	0.4	0.5	0.7	0.9	1.1	1.0	0.8	0.8	0.8	1.1
合計	12.9	15.5	15.4	15.2	14.8	14.1	13.5	12.8	12.2	11.5	10.7	9.9

0-5 歳	0.7	1.2	0.9	0.8	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.4	0.4
6-11 歳	0.7	0.9	1.1	1.0	0.8	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.4
12-14 歳	0.3	0.4	0.5	0.6	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
65-74 歳	1.5	1.9	2.2	2.0	1.6	1.5	1.7	2.2	2.3	1.8	1.4	1.1
75 歳以上	0.7	1.2	1.6	2.1	2.6	2.7	2.4	2.3	2.3	2.6	2.8	2.6



※ 実績は、各年4月1日時点の住民基本台帳人口。

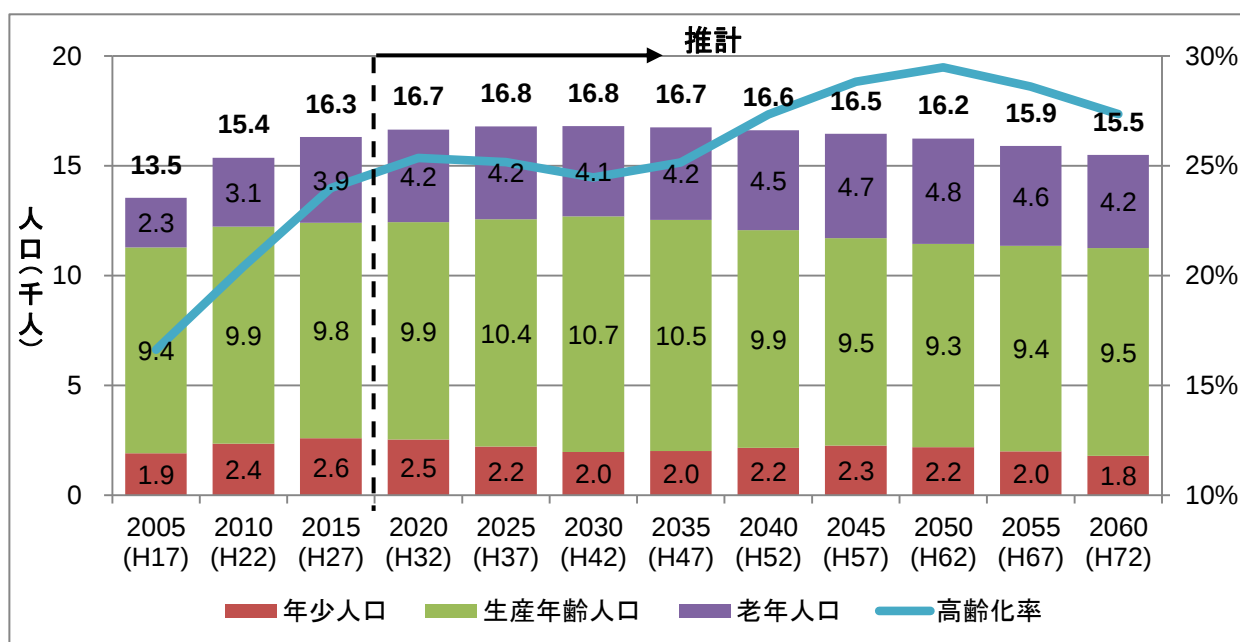
※ グラフ上部の数字は、各年における当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

○ 三咲

単位：千人

年齢	実績			推計								
	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
0-4 歳	0.6	0.9	0.9	0.7	0.6	0.7	0.7	0.8	0.7	0.7	0.6	0.5
5-9 歳	0.7	0.8	1.0	0.9	0.7	0.6	0.7	0.7	0.8	0.8	0.7	0.6
10-14 歳	0.6	0.7	0.8	1.0	0.9	0.7	0.6	0.7	0.7	0.8	0.8	0.7
15-19 歳	0.6	0.7	0.8	0.8	1.0	0.9	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8
20-24 歳	0.7	0.7	0.7	0.9	0.9	1.2	1.1	0.8	0.7	0.8	0.8	0.9
25-29 歳	1.0	0.9	0.8	0.8	1.0	1.0	1.3	1.2	0.9	0.8	0.8	0.9
30-34 歳	1.3	1.3	1.1	0.8	0.8	1.1	1.1	1.3	1.2	0.9	0.8	0.8
35-39 歳	1.0	1.4	1.3	1.1	0.8	0.8	1.1	1.1	1.3	1.2	0.9	0.8
40-44 歳	0.8	1.1	1.5	1.3	1.1	0.8	0.8	1.1	1.1	1.3	1.2	0.9
45-49 歳	0.8	0.8	1.2	1.5	1.3	1.1	0.8	0.8	1.1	1.0	1.3	1.2
50-54 歳	0.9	0.8	0.8	1.2	1.5	1.3	1.1	0.8	0.8	1.1	1.0	1.3
55-59 歳	1.1	1.0	0.8	0.8	1.2	1.4	1.3	1.0	0.8	0.8	1.0	1.0
60-64 歳	1.2	1.2	0.9	0.8	0.8	1.1	1.4	1.2	1.0	0.8	0.7	1.0
65-69 歳	0.9	1.2	1.1	0.9	0.7	0.8	1.1	1.3	1.2	1.0	0.7	0.7
70-74 歳	0.6	0.9	1.2	1.1	0.8	0.7	0.7	1.0	1.3	1.1	0.9	0.7
75-79 歳	0.4	0.5	0.8	1.1	1.0	0.8	0.6	0.7	0.9	1.2	1.0	0.8
80-84 歳	0.2	0.3	0.5	0.7	0.9	0.9	0.7	0.5	0.6	0.8	1.0	0.9
85 歳以上	0.2	0.2	0.3	0.5	0.7	1.0	1.1	1.0	0.8	0.7	0.9	1.1
合計	13.5	15.4	16.3	16.7	16.8	16.8	16.7	16.6	16.5	16.2	15.9	15.5

0-5 歳	0.8	1.0	1.1	0.8	0.8	0.8	0.9	0.9	0.9	0.8	0.7	0.7
6-11 歳	0.8	0.9	1.1	1.1	0.9	0.8	0.8	0.9	0.9	0.9	0.8	0.7
12-14 歳	0.4	0.4	0.5	0.6	0.6	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.4
65-74 歳	1.5	2.1	2.3	2.0	1.6	1.5	1.8	2.4	2.5	2.1	1.7	1.4
75 歳以上	0.8	1.1	1.6	2.3	2.6	2.7	2.4	2.2	2.3	2.7	2.9	2.8



※ 実績は、各年4月1日時点の住民基本台帳人口。

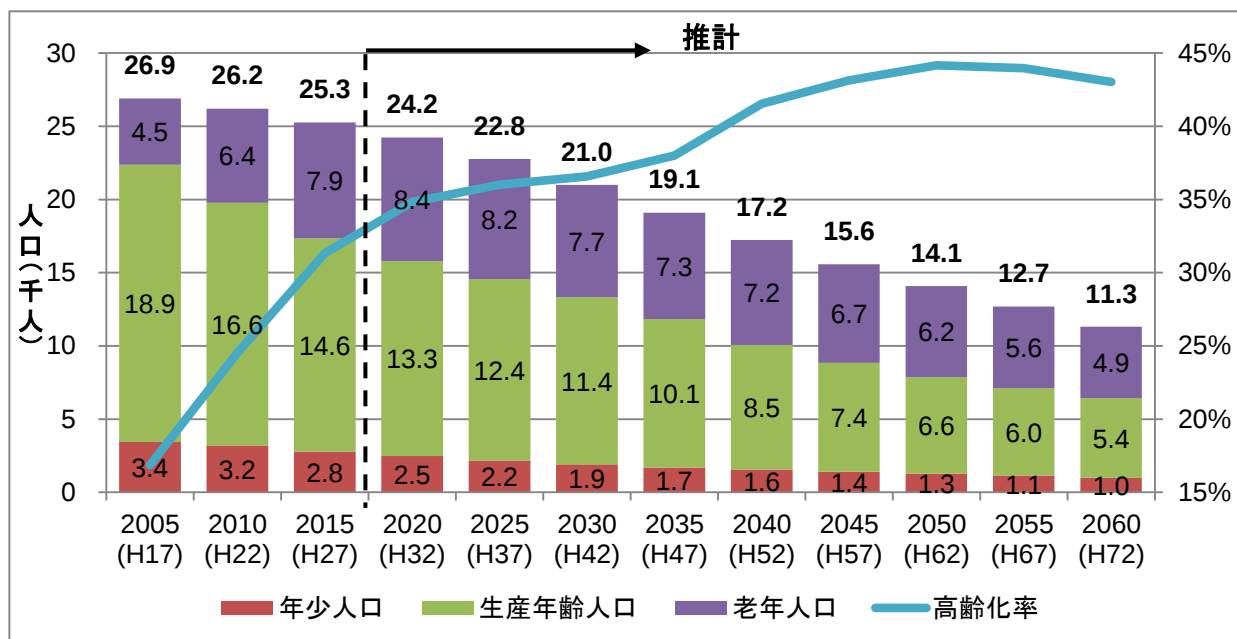
※ グラフ上部の数字は、各年における当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

○ 八木が谷

単位：千人

年齢	実績			推計								
	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
0-4 歳	1.0	0.9	0.8	0.7	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3
5-9 歳	1.2	1.1	0.9	0.8	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3
10-14 歳	1.2	1.3	1.1	1.0	0.9	0.8	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4
15-19 歳	1.4	1.2	1.3	1.1	1.0	0.9	0.8	0.7	0.6	0.5	0.5	0.4
20-24 歳	1.6	1.3	1.1	1.2	1.0	0.9	0.8	0.7	0.6	0.5	0.5	0.4
25-29 歳	1.8	1.4	1.0	0.9	0.9	0.8	0.7	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4
30-34 歳	2.2	1.6	1.3	1.0	0.8	0.9	0.7	0.7	0.6	0.6	0.5	0.4
35-39 歳	1.8	2.1	1.5	1.2	0.9	0.8	0.9	0.7	0.7	0.6	0.5	0.5
40-44 歳	1.4	1.8	2.0	1.5	1.2	0.9	0.8	0.9	0.7	0.7	0.6	0.5
45-49 歳	1.5	1.4	1.7	2.0	1.5	1.2	0.9	0.8	0.8	0.7	0.6	0.6
50-54 歳	2.0	1.4	1.4	1.7	2.0	1.4	1.2	0.9	0.8	0.8	0.7	0.6
55-59 歳	2.6	1.9	1.4	1.4	1.7	2.0	1.4	1.2	0.9	0.8	0.8	0.7
60-64 歳	2.7	2.5	1.8	1.4	1.4	1.6	1.9	1.4	1.1	0.9	0.8	0.8
65-69 歳	2.0	2.6	2.4	1.7	1.3	1.3	1.5	1.8	1.3	1.1	0.8	0.7
70-74 歳	1.2	1.9	2.4	2.3	1.6	1.2	1.2	1.5	1.7	1.3	1.0	0.8
75-79 歳	0.7	1.0	1.6	2.2	2.1	1.5	1.1	1.1	1.3	1.6	1.1	0.9
80-84 歳	0.4	0.5	0.9	1.4	1.8	1.7	1.2	0.9	0.9	1.1	1.3	0.9
85 歳以上	0.3	0.4	0.6	0.9	1.4	1.9	2.1	1.8	1.4	1.2	1.3	1.5
合計	26.9	26.2	25.3	24.2	22.8	21.0	19.1	17.2	15.6	14.1	12.7	11.3

0-5 歳	1.3	1.1	0.9	0.8	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3
6-11 歳	1.5	1.3	1.2	1.1	0.9	0.8	0.7	0.7	0.6	0.5	0.5	0.4
12-14 歳	0.7	0.8	0.7	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2
65-74 歳	3.1	4.4	4.8	4.0	2.9	2.5	2.8	3.3	3.1	2.3	1.9	1.5
75 歳以上	1.4	2.0	3.1	4.4	5.3	5.1	4.5	3.9	3.7	3.9	3.7	3.4



※ 実績は、各年4月1日時点の住民基本台帳人口。

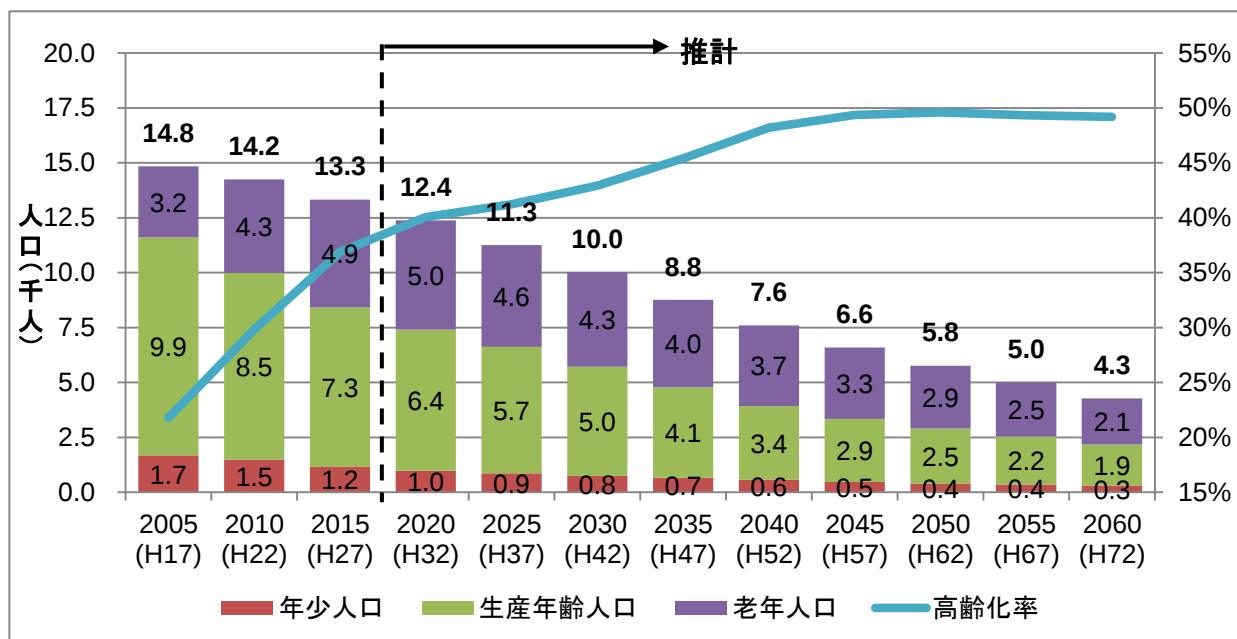
※ グラフ上部の数字は、各年における当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

○ 松が丘

単位：千人

年齢	実績			推計								
	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
0-4 歳	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
5-9 歳	0.6	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1
10-14 歳	0.7	0.6	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1
15-19 歳	0.7	0.7	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
20-24 歳	0.7	0.7	0.6	0.6	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
25-29 歳	0.9	0.6	0.5	0.5	0.5	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1
30-34 歳	1.0	0.8	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1
35-39 歳	1.0	1.0	0.7	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2
40-44 歳	0.9	1.0	0.9	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2
45-49 歳	0.7	0.9	1.0	0.9	0.6	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2
50-54 歳	1.0	0.7	0.9	0.9	0.9	0.6	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2
55-59 歳	1.4	0.9	0.7	0.8	0.9	0.8	0.6	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2
60-64 歳	1.6	1.3	0.8	0.7	0.8	0.9	0.8	0.6	0.4	0.4	0.3	0.3
65-69 歳	1.4	1.5	1.2	0.8	0.6	0.8	0.8	0.8	0.5	0.4	0.3	0.3
70-74 歳	0.9	1.3	1.4	1.2	0.7	0.6	0.7	0.8	0.7	0.5	0.4	0.3
75-79 歳	0.5	0.8	1.2	1.3	1.1	0.7	0.5	0.6	0.7	0.7	0.5	0.3
80-84 歳	0.2	0.4	0.7	1.0	1.1	0.9	0.6	0.5	0.6	0.6	0.6	0.4
85 歳以上	0.2	0.3	0.4	0.7	1.1	1.4	1.3	1.0	0.7	0.7	0.8	0.7
合計	14.8	14.2	13.3	12.4	11.3	10.0	8.8	7.6	6.6	5.8	5.0	4.3

0-5 歳	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1
6-11 歳	0.8	0.6	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1
12-14 歳	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
65-74 歳	2.3	2.8	2.6	1.9	1.4	1.3	1.5	1.5	1.3	0.9	0.7	0.6
75 歳以上	0.9	1.5	2.3	3.0	3.3	3.0	2.4	2.1	2.0	2.0	1.8	1.5



※ 実績は、各年 4 月 1 日時点の住民基本台帳人口。

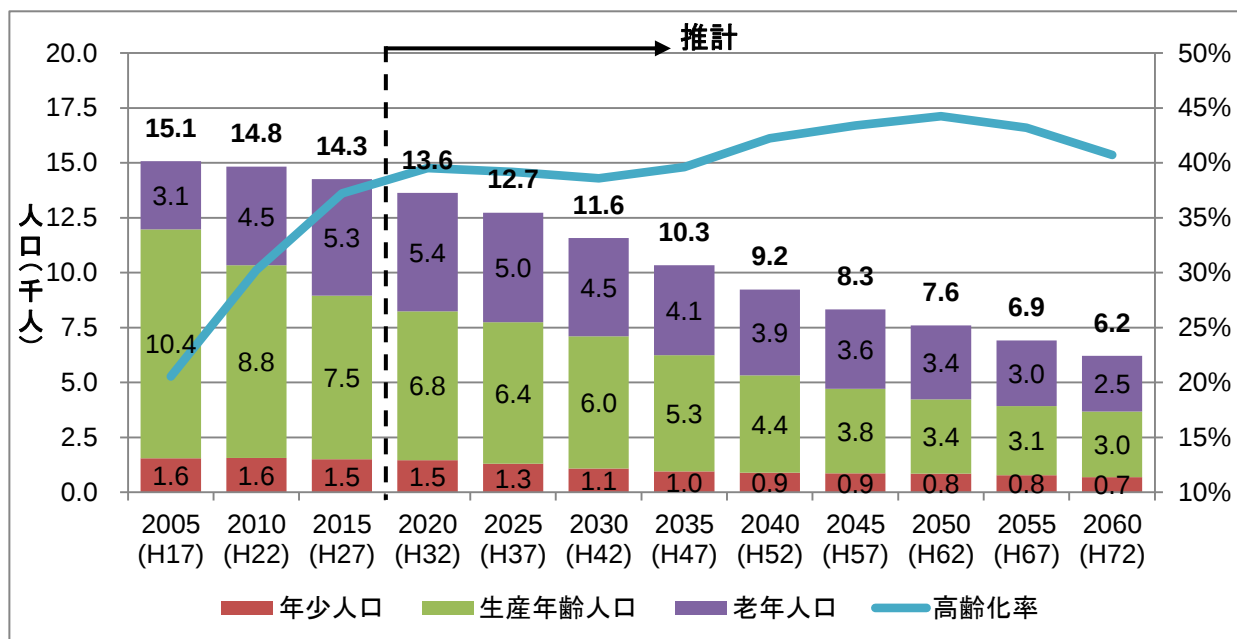
※ グラフ上部の数字は、各年における当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

○ 大穴

単位：千人

年齢	実績			推計								
	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
0-4 歳	0.4	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2
5-9 歳	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2
10-14 歳	0.6	0.6	0.5	0.6	0.6	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
15-19 歳	0.7	0.6	0.6	0.5	0.6	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3
20-24 歳	0.8	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3
25-29 歳	1.0	0.7	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2
30-34 歳	1.2	0.8	0.7	0.5	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2
35-39 歳	1.0	1.1	0.8	0.7	0.5	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3
40-44 歳	0.7	1.0	1.1	0.8	0.7	0.5	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4	0.3
45-49 歳	0.7	0.7	1.0	1.1	0.8	0.6	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4
50-54 歳	1.0	0.7	0.7	1.0	1.1	0.8	0.6	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4
55-59 歳	1.6	1.0	0.7	0.7	1.0	1.1	0.8	0.6	0.4	0.3	0.4	0.3
60-64 歳	1.9	1.5	0.9	0.6	0.7	0.9	1.0	0.8	0.6	0.4	0.3	0.4
65-69 歳	1.4	1.8	1.5	0.9	0.6	0.7	0.9	1.0	0.7	0.6	0.4	0.3
70-74 歳	0.8	1.3	1.7	1.4	0.8	0.6	0.6	0.8	0.9	0.7	0.5	0.4
75-79 歳	0.4	0.7	1.2	1.5	1.3	0.8	0.5	0.6	0.8	0.8	0.6	0.5
80-84 歳	0.3	0.3	0.6	1.0	1.3	1.1	0.6	0.4	0.5	0.6	0.7	0.5
85 歳以上	0.2	0.3	0.4	0.6	1.0	1.4	1.4	1.1	0.7	0.6	0.7	0.8
合計	15.1	14.8	14.3	13.6	12.7	11.6	10.3	9.2	8.3	7.6	6.9	6.2

0-5 歳	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2
6-11 歳	0.7	0.7	0.6	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3
12-14 歳	0.3	0.4	0.3	0.3	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
65-74 歳	2.2	3.1	3.1	2.2	1.4	1.2	1.5	1.8	1.6	1.3	1.0	0.7
75 歳以上	0.9	1.4	2.2	3.2	3.6	3.2	2.6	2.1	2.0	2.1	2.0	1.8



※ 実績は、各年 4 月 1 日時点の住民基本台帳人口。

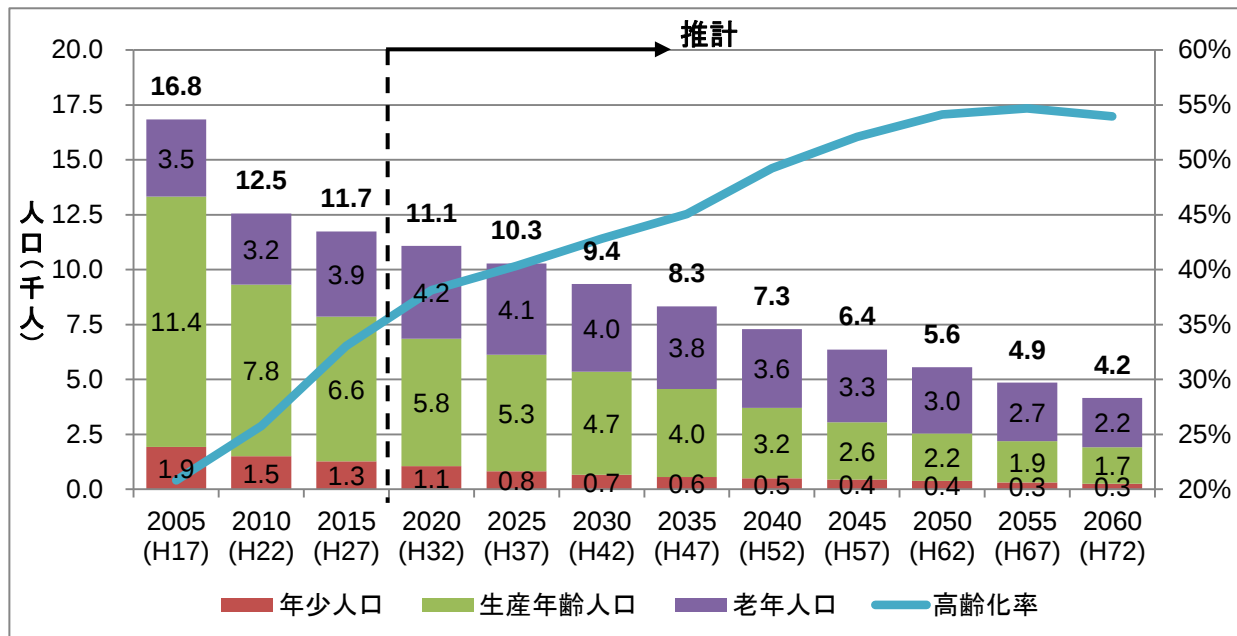
※ グラフ上部の数字は、各年における当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

○ 豊富

単位：千人

年齢	実績			推計								
	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
0-4 歳	0.6	0.5	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
5-9 歳	0.7	0.5	0.5	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
10-14 歳	0.7	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1
15-19 歳	0.8	0.5	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1
20-24 歳	1.0	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1
25-29 歳	1.1	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1
30-34 歳	1.4	0.8	0.6	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1
35-39 歳	1.0	1.0	0.7	0.6	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1
40-44 歳	0.9	0.8	0.9	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2
45-49 歳	0.8	0.7	0.7	0.9	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2
50-54 歳	1.2	0.6	0.7	0.7	0.9	0.7	0.5	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2
55-59 歳	1.6	0.9	0.6	0.7	0.7	0.9	0.7	0.5	0.3	0.3	0.3	0.2
60-64 歳	1.5	1.2	0.9	0.6	0.7	0.7	0.8	0.6	0.5	0.3	0.3	0.2
65-69 歳	1.2	1.0	1.1	0.8	0.6	0.6	0.7	0.8	0.6	0.5	0.3	0.2
70-74 歳	0.9	0.8	1.0	1.1	0.8	0.5	0.6	0.6	0.8	0.6	0.4	0.3
75-79 歳	0.5	0.6	0.8	1.0	1.0	0.8	0.5	0.6	0.6	0.7	0.6	0.4
80-84 歳	0.4	0.4	0.5	0.7	0.9	1.0	0.7	0.5	0.5	0.5	0.6	0.5
85 歳以上	0.5	0.4	0.5	0.6	0.8	1.1	1.3	1.1	0.8	0.7	0.7	0.8
合計	16.8	12.5	11.7	11.1	10.3	9.4	8.3	7.3	6.4	5.6	4.9	4.2

0-5 歳	0.7	0.6	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1
6-11 歳	0.8	0.6	0.6	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1
12-14 歳	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
65-74 歳	2.1	1.8	2.1	1.9	1.4	1.2	1.3	1.4	1.4	1.1	0.8	0.5
75 歳以上	1.4	1.4	1.8	2.3	2.8	2.8	2.5	2.2	1.9	2.0	1.9	1.7



※ 実績は、各年4月1日時点の住民基本台帳人口。

※ 2005(平成17)年の人口は、豊富地区から分離した現坪井地区の人口を含む。

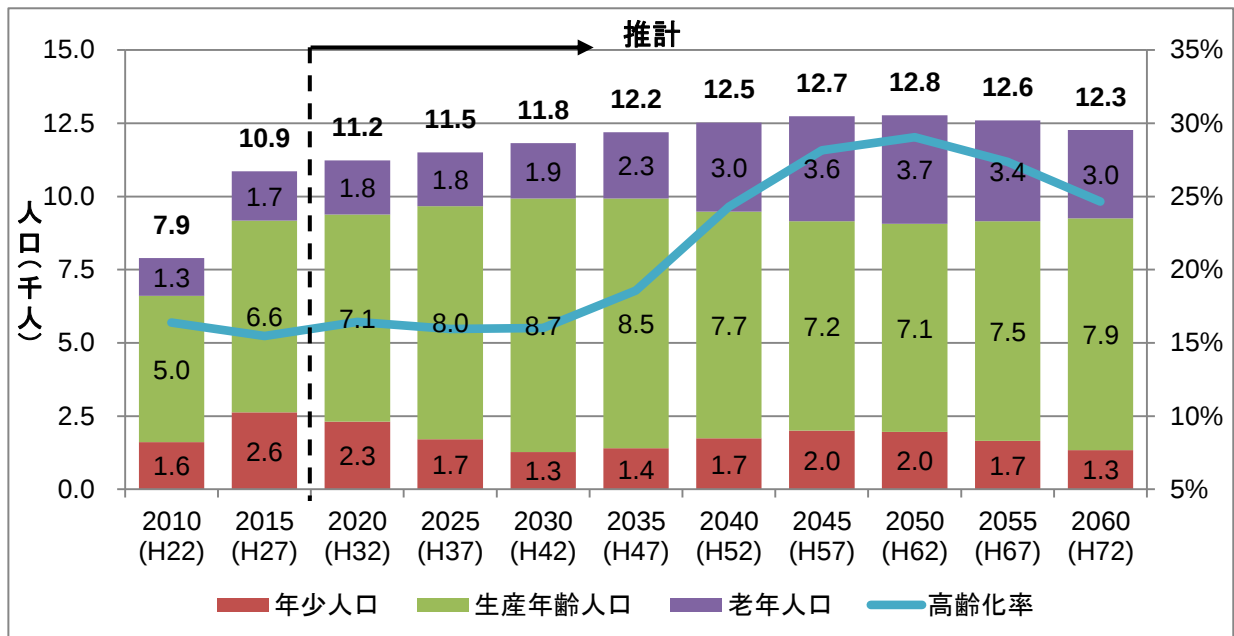
※ グラフ上部の数字は、各年における当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

○ 坪井

単位：千人

年齢	実績			推計								
	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)	2040 (H52)	2045 (H57)	2050 (H62)	2055 (H67)	2060 (H72)
0-4 歳	—	0.6	0.9	0.5	0.4	0.4	0.6	0.7	0.7	0.5	0.4	0.4
5-9 歳	—	0.7	1.0	0.9	0.5	0.4	0.4	0.6	0.7	0.7	0.5	0.4
10-14 歳	—	0.3	0.8	1.0	0.9	0.5	0.4	0.4	0.6	0.7	0.7	0.6
15-19 歳	—	0.3	0.4	0.8	1.0	0.9	0.5	0.4	0.5	0.6	0.7	0.7
20-24 歳	—	0.3	0.3	0.5	1.0	1.2	1.1	0.5	0.4	0.5	0.7	0.8
25-29 歳	—	0.4	0.4	0.4	0.6	1.1	1.3	1.2	0.6	0.5	0.5	0.7
30-34 歳	—	0.7	0.8	0.4	0.4	0.6	1.1	1.3	1.2	0.6	0.5	0.5
35-39 歳	—	1.0	1.2	0.8	0.4	0.4	0.6	1.1	1.3	1.2	0.6	0.5
40-44 歳	—	0.7	1.4	1.2	0.7	0.4	0.4	0.6	1.1	1.3	1.1	0.6
45-49 歳	—	0.4	0.9	1.4	1.1	0.7	0.4	0.4	0.6	1.1	1.3	1.1
50-54 歳	—	0.3	0.5	0.9	1.4	1.1	0.7	0.4	0.4	0.6	1.1	1.3
55-59 歳	—	0.4	0.3	0.5	0.9	1.3	1.1	0.7	0.4	0.4	0.6	1.1
60-64 歳	—	0.5	0.4	0.3	0.5	0.8	1.3	1.1	0.7	0.4	0.4	0.6
65-69 歳	—	0.5	0.5	0.4	0.3	0.4	0.8	1.3	1.0	0.7	0.4	0.4
70-74 歳	—	0.4	0.5	0.5	0.4	0.3	0.4	0.8	1.2	1.0	0.6	0.4
75-79 歳	—	0.2	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.4	0.7	1.1	0.9	0.6
80-84 歳	—	0.1	0.2	0.3	0.4	0.4	0.3	0.2	0.3	0.6	0.9	0.8
85 歳以上	—	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.4	0.3	0.4	0.6	0.9
合計	—	7.9	10.9	11.2	11.5	11.8	12.2	12.5	12.7	12.8	12.6	12.3

0-5 歳	—	0.8	1.0	0.6	0.5	0.5	0.7	0.8	0.8	0.7	0.5	0.5
6-11 歳	—	0.7	1.2	1.1	0.7	0.5	0.5	0.7	0.8	0.9	0.7	0.5
12-14 歳	—	0.2	0.4	0.6	0.6	0.3	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4
65-74 歳	—	0.9	1.0	0.9	0.7	0.7	1.2	2.0	2.2	1.7	1.0	0.7
75 歳以上	—	0.4	0.7	1.0	1.1	1.2	1.0	1.0	1.4	2.0	2.4	2.3



※ 実績は、各年4月1日時点の住民基本台帳人口。

※ 坪井地区は、2007年(平成19)年に誕生したため、2005(平成17)年のデータは無し。

※ グラフ上部の数字は、各年における当該地区の総人口。端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

船橋市人口ビジョン（素案）

発行：船橋市 平成 28 年 2 月発行

編集：船橋市企画財政部政策企画課

〒273-8501 船橋市湊町 2 丁目 10 番 25 号

電話番号 047-436-2932